

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産	5,000,000	(5,000,000)	(0)	-
小 計	5,000,000	(5,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	15,649,080	(0)	(0)	(15,649,080)
減価償却引当資産	6,050,146	(0)	(6,050,146)	-
小 計	21,699,226	(0)	(6,050,146)	(15,649,080)
合 計	26,699,226	(5,000,000)	(6,050,146)	(15,649,080)

5. 担保に供している資産

担保に供してゐる資産はない

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,096,500	2,096,491	9
機械及び装置	1,647,360	1,647,357	3
車両運搬具	1,030,549	1,030,548	1
ソフトウェア	1,275,750	1,275,750	0
その他固定資産			0
合 計	6,050,159	6,050,146	13

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	0
基本財産受取利息	499
経常外収益への振替額	
目標達成による指定解除額	0
合 計	499

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産明細書

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「3. 基本財産及び特定資産の増加額及びその残高」に記載のとおりである。

### 2 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	14,438,880	1,210,200			15,649,080
賞与引当金	634,401	747,913	634,401		747,913

# 財産目録

平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	手元現金	つり銭用現金及び当日売上金	374,792	
		普通預金	岩手中央農協飯岡支所 岩手銀行流通センター支店	運転資金として 運転資金として	35,349,595 1,685,211
	棚卸原材料	食事材料他	宿泊者、食堂利用者の材料として	342,730	
	売掛金	宿泊者	3月分宿泊代、食事代として	213,700	
	<b>流動資産合計</b>				<b>37,966,028</b>
(固定資産) 基本財産	預金	定期預金	岩手中央農協飯岡支所	運用益を法人全体の管理費に充てる ために保有している財産である 〈基本財産合計〉	5,000,000 5,000,000
		退職給付引当資産	定期預金 岩手銀行流通センター支店	職員に対する退職金の支払いに備えた引当資産である	15,649,080
特定資産	減価償却引当資産	定期預金 岩手銀行流通センター支店	備品等の購入に備えた積立資産であり、引当資産として管理されている預金である 〈特定資産合計〉	6,050,146 21,699,226	
	車両運搬具	軽自動車	金融機関へ売り上げの入金、事務連絡用に使用している	1	
その他固定資産	什器備品	冷凍冷蔵庫 他	宿泊者、食堂利用者の材料を保管に使用している	9	
	機械及び装置	洗浄機 他	食器等の洗浄用として使用している	3	
	ソフトウェア	パソコンソフト	公益目的保有財産であり、公益目的事業、収益事業及び管理業務で使用している	0	
	リサイクル預託金	(公財)日本自動車リサイクル促進センター	自動車リサイクル	27,780	
	<b>〈その他固定資産合計〉</b>				<b>27,793</b>
<b>固定資産合計</b>				<b>26,727,019</b>	
<b>資産合計</b>				<b>64,693,047</b>	
(流動負債)	買掛金	藤駒商店他	食材等仕入代	258,086	
	未払金	三和メンテナンス外	浄化槽管理維持費等の未払額	8,707,635	
	未払消費税等	盛岡税務署	消費税額等の未払額	1,991,300	
	前受金	盛岡・矢巾・紫波広域観光推進協議会 盛岡市	湯遊街道スタンプラリー商品券 指定管理料戻入	1,982,481	
	預り金	職員に対するもの	源泉所得税、住民税、社会保険料等	974,834	
	未払法人税等	国税庁等に対する未払い額	決算において確定した未払法人税等	330,500	
	賞与引当金	職員	次年度6月支払賞与の内、当年度積算分	747,913	
<b>流動負債合計</b>				<b>14,992,749</b>	
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えた引当金	15,649,080	
<b>固定負債合計</b>				<b>15,649,080</b>	
<b>負債合計</b>				<b>30,641,829</b>	
<b>正味財産</b>				<b>34,051,218</b>	

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 事業計画

##### I 事業方針

盛岡市都南つどいの森を護り育むとともに、安全で豊かな自然環境の中で、スポーツ、講習、体験及び老人福祉等に関する事業を行うことにより、市民の健康の増進及び青少年の健全育成並びに地域福祉の増進に寄与します。

##### II 事業計画

#### 1 盛岡市都南つどいの森及び盛岡市都南サイクリングターミナルにおける市民の健康の増進及び青少年の健全育成に関する事業（公益目的事業1）

##### （趣旨）

本事業は、盛岡市都南つどいの森の豊かで安全な自然環境の中で、森林浴とともに楽しむことができるスポーツや散策等の事業を行うことにより市民の健康増進を図ることと、森林公園が持つ大きな恵みを学び体験する事業を行うことにより青少年の健全な育成を図ることを目的として行う。

#### (1) 森林から得られる大きな恵みを学ぶ事業

- ア あかばやし探検隊
- イ 木工教室
- ウ 森林ビデオ学習

#### (2) 森林から得られる大きな恵みを楽しむ事業

- ア 岩魚のつかみ取り体験
- イ 岩魚のつり体験
- ウ レンタルサイクル事業
- エ つどいの森写真展
- オ つどいの森さくら祭り
- カ 山の日祭り
- キ つどいの森感謝祭
- ク 木工体験学習
- ケ 森林観察体験

#### (3) 健康増進事業

- ア グラウンドゴルフ大会

#### (4) 市民の健康の増進及び青少年の健全育成のための施設貸与事業

森林公園の中で行う散策や遊びを通して自然との共生の大切さを学ぶとともに、野外での宿泊や炊事を通して規律を学び自立心を養うことができるように、林間キャンプ場やキャビン等の施設を貸与する。

また、高中小学生のクラブ活動や子供会活動等の合宿又は会議への便宜を図

るため、盛岡市サイクリングターミナルの宿泊棟や会議室を貸与する。

2 盛岡市立都南老人福祉センターにおいて行う、老人が明るい生活を営む支えとなる事業（公益目的事業2）

（趣旨）

本事業は、盛岡市立都南老人福祉センターを利用する老人に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、地域福祉の増進を図ることを目的として行う。

(1) 老人の健康の増進に寄与する事業

ア 健康講座

イ 盛岡市長杯つどいの森グラウンドゴルフ大会

(2) 老人の生活に役立つ事業

ア 初心者陶芸教室

イ そば打ち体験

ウ 職の匠による講座

(3) 老人の健康の増進及び憩いのための施設貸与事業

老人福祉センターの入浴施設や機能訓練用具を用いた健康増進と体力維持に寄与するため、また、老人クラブ、趣味の会等で当センターを訪れる高齢者が、憩い、寛ぐことができるように施設の貸与を行う。

3 施設利用者の便宜を図るサービス提供事業（収益事業1）

(1) 総合案内施設における飲食提供事業

(2) バーベキューハウスにおける飲食提供事業

(3) 盛岡市都南サイクリングターミナル利用者への飲食提供事業

(4) 自動販売機及び売店営業事業

4 施設の管理運営に関する事業（収益事業2）

公益目的以外の目的で利用する一般利用者に対し、諸施設及び物品を貸与する。

5 法人運営に関する事業

(1) 事務局

事務局は、法令、定款及び諸規程等を遵守し総合的な事務を行うほか、各施設の効率的な運営が図られるよう連絡調整にあたる。

(2) 法人の運営

ア 理事会

定例理事会を3月及び5月に開催するほか、必要があると認めたときは

臨時理事会を開催する。

イ 評議員会

定時評議員会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

ウ 監査

理事が作成した計算書類及び事業報告並びに付属明細書の監査を行う。

エ 登記

常時正確な変更登記等を実施する。

オ 盛岡市及び関係団体との連携

指定管理者としての成果をあげるため、関係各課との相互の意志疎通に努める。

カ 関係団体との連携

盛岡市及び岩手県社会福祉協議会等の関係団体等との緊密な連携を図っていく。

(3) 施設の管理

ア 指定管理業務

盛岡市都南サイクリングターミナル、盛岡市立都南老人福祉センター及び盛岡市都南つどいの森の各施設について、設置目的を理解し、基本協定及び各施設の仕様書に基づき適正に指定管理者の責務を果たす。

また、平成30年度で指定管理の契約が満了となることから、次期指定管理の応募に対し、引き続き指定管理となるよう事務手続きを行う。

イ 利用者に対する待遇・サービスの向上

各施設が市民の皆様にも有効かつ平等に使用されるために、行事等を盛岡市広報に掲載するほか、ホームページによる宣伝を行う。

また、利用者のニーズの把握のためのアンケートを実施し、サービスの向上につなげる。

ウ 施設の効率的な運営

盛岡市都南サイクリングターミナル、盛岡市立都南老人福祉センター及び盛岡市都南つどいの森の各施設の事業については、利用者の多様性に対応できるよう、柔軟に職員の融通を行いながら対応する。

(4) 職員の資質向上と健康管理の充実

ア 職員の資質向上

公社職員としての必要な知識の向上を図るため、事務職員毎に職場内研修を実施するとともに、関係団体が開催する研修に参加し、資質の向上に努める。

## イ 福利厚生

職員の定期健康診断（胸部・循環器検診）、胃部検診（平成30年度中に満35歳以上になる職員対象）については、市が実施する際にこれに委託して行う。

## (5) 災害事故の未然防止

ア 火災その他の事故防止対策として、所轄消防機関との連携を密にするとともに、消防計画に基づく非常通報、避難訓練及び消火訓練を実施し、利用者の安全確保に万全を期する。

イ 消火設備及び避難設備等は、定期点検のほか随時点検を実施する。また利用者の施設内での事故防止のため、設備、備品等の巡回点検を行い万全を期する。

ウ 夜間等の施設事故防止のため、公社職員が直接警備を行っている施設を除き、夜間警備を業者委託する。

エ 「職員の安全と健康の確保は、お客様の安全安心の礎である。」を経営の基盤とし、職員全員参加による安全衛生活動を積極的に行い、業務を行うにあたっては、安全作業マニュアルを遵守し、労働災害や事故の発生防止に努めて参ります。

## (6) 広報・営業活動の推進

盛岡市広報を活用する。また、公社のホームページの充実を図るほか、施設のパフレットを作成し、関係機関に配布するとともに、積極的に広報・営業活動を行う。

## (2)収支予算の概要

## 平成30年度収支予算書(正味財産増減計算ベース)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	1	1	0
② 特定資産運用益			
退職給付引当資産受取利息	1	1	0
減価償却引当資産受取利息	1	1	0
③ 事業収益			
施設指定管理受託収入	87,721	87,721	0
サイクリングターミナル利用料金収入	9,233	9,179	54
つどいの森利用料金収入	5,864	5,957	△ 93
売上収入	21,973	23,224	△ 1,251
施設利用料収益	849	840	9
貸出使用料収益	321	312	9
販売手数料収益	133	80	53
④ 雑収益			
受取利息	1	1	0
雑収益	242	241	1
経常収益計	126,340	127,558	△ 1,218
(2) 経常費用			0
① 事業費	119,545	120,453	△ 908
期首棚卸高	586	322	264
原材料仕入高	8,675	9,508	△ 833
期末棚卸高	586	322	264
給料手当	30,916	30,858	58
臨時雇賃金	23,721	23,533	188
退職給付費用	1,230	796	434
福利厚生費	8,536	8,623	△ 87
旅費交通費	5	20	△ 15
通信運搬費	479	449	30
減価償却費	1	139	△ 138
消耗品費	2,133	2,145	△ 12
修繕費	1,360	1,360	0
印刷製本費	212	310	△ 98
燃料費	12,448	12,525	△ 77
光熱水費	9,532	9,387	145
賃借料	3,844	4,032	△ 188
保険料	204	152	52
報償費(諸謝金)	300	202	98
租税公課	4,261	4,160	101
支払負担金	525	389	136
委託費	8,411	9,097	△ 686
支払手数料	328	0	328
交際費	55	50	5
自動車関係費	470	646	△ 176
被服費	277	319	△ 42
医薬材料費	13	19	△ 6
広告宣伝費	525	500	25
原材料費	82	109	△ 27
備品購入費	535	200	335
雑費	467	925	△ 458



科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	6,408	6,718	△ 310
役員報酬	3,630	3,630	0
給料手当	741	743	△ 2
退職給付費用	0	416	△ 416
福利厚生費	307	317	△ 10
会議費	31	0	31
旅費交通費	7	7	0
通信運搬費	8	6	2
減価償却費	0	63	△ 63
消耗品費	36	36	0
印刷製本費	0	7	△ 7
賃借料	630	368	262
保険料	10	0	10
租税公課	256	404	△ 148
支払負担金	124	40	84
委託費	451	592	△ 141
支払手数料	51	0	51
自動車関係費	70	49	21
被服費	9	3	6
雑費	31	37	△ 6
報償費	16	0	16
經常費用計	125,953	127,171	△ 1,218
評価損益等調整前当期經常増減額	387	387	0
当期經常増減額	387	387	0
2. 經常外増減の部			0
(1) 經常外収益			0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			0
固定資産除却損			0
什器備品除却損	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	387	387	0
法人税、住民税及び事業税	387	387	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	32,300	34,590	△ 2,290
一般正味財産期末残高	32,300	34,590	△ 2,290
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000	5,000	0
指定正味財産期末残高	5,000	5,000	0
III 正味財産期末残高	37,300	39,590	△ 2,290

平成30年度収支予算内訳表(正味財産増減予算内訳表)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
基本財産受取利息振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
減価償却引当資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
事業収益	47,097	25,079	0	72,176	16,113	34,509	0	50,622	3,296	0	126,094
施設指定管理受託収益	36,159	25,019	0	61,178	0	23,247	0	23,247	3,296		87,721
サイクリングターミナル利用料収益	1,603	0	0	1,603	0	7,630	0	7,630	0		9,233
つどいの森利用料収益	3,275	0	0	3,275	0	2,589	0	2,589	0		5,864
売上収益	5,933	60	0	5,993	15,980	0	0	15,980	0		21,973
施設使用料収益	0	0	0	0	0	849	0	849	0		849
貸出使用料収益	127	0	0	127	0	194	0	194	0		321
販売手数料収益	0	0	0	0	133	0	0	133	0		133
雑収益	0	0	0	0	10	232	0	242	1		243
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	1		1
雑収益	0	0	0	0	10	232	0	242	0		242
経常収益計	47,097	25,079	0	72,176	16,123	34,741	0	50,864	3,300	0	126,340

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
(2) 経常費用											
事業費	47,955	27,882		75,837	14,366	29,342		43,708			119,545
期首棚卸高	0	0	0	0	586	0	0	586	0		586
原材料費	2,410	920	0	3,330	5,345	0	0	5,345	0		8,675
期末棚卸高	0	0	0	0	586	0	0	586	0		586
給料手当	11,624	10,167	0	21,791	4,469	4,656	0	9,125	0		30,916
臨時雇賃金	11,525	3,439	0	14,964	1,302	7,455	0	8,757	0		23,721
退職給付費用	461	531	0	992	0	238	0	238	0		1,230
福利厚生費	3,596	2,349	0	5,945	798	1,793	0	2,591	0		8,536
旅費交通費	1	1	0	2	3	0	0	3	0		5
通信運搬費	174	79	0	253	2	224	0	226	0		479
減価償却費	0	0	0	0	1	0	0	1	0		1
消耗品費	789	494	0	1,283	287	563	0	850	0		2,133
修繕費	550	121	0	671	34	655	0	689	0		1,360
印刷製本費	159	0	0	159	0	53	0	53	0		212
燃料費	2,596	4,156	0	6,752	418	5,278	0	5,696	0		12,448
光熱水料費	3,251	2,607	0	5,858	256	3,418	0	3,674	0		9,532
貸借料	1,365	777	0	2,142	134	1,568	0	1,702	0		3,844
保険料	85	24	0	109	46	49	0	95	0		204
報償費(諸謝金)	60	240	0	300	0	0	0	0	0		300
租税公課	2,465	121	0	2,586	488	1,187	0	1,675	0		4,261
支払負担金	290	103	0	393	57	75	0	132	0		525
委託費	5,431	1,256	0	6,687	117	1,607	0	1,724	0		8,411
支払手数料	139	51	0	190	93	45	0	138	0		328
交際費	0	0	0	0	55	0	0	55	0		55
自動車関係費	115	262	0	377	5	88	0	93	0		470
被服費	142	59	0	201	19	57	0	76	0		277
医薬材料費	5	3	0	8	0	5	0	5	0		13
広告宣伝費	116	42	0	158	165	202	0	367	0		525
備品購入費	457	0	0	457	0	78	0	78	0		535
原材料費	70	0	0	70	0	12	0	12	0		82
雑費	79	80	0	159	272	36	0	308	0		467

(単位:千円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
管理費									6,408		6,408
役員報酬									3,630		3,630
給料手当									741		741
退職給付費用									0		0
福利厚生費									307		307
会議費									31		31
旅費交通費									7		7
通信運搬費									8		8
減価償却費									0		0
消耗品費									36		36
印刷製本費									0		0
賃借料									630		630
保険料									10		10
租税公課									256		256
支払負担金									124		124
委託費									451		451
支払手数料									51		51
自動車関係費									70		70
被服費									9		9
雑費									31		31
報償費									16		16
經常費用計	47,955	27,882	0	75,837	14,366	29,342	0	43,708	6,408	0	125,953

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 858	△ 2,803	0	△ 3,661	1,757	5,399	0	7,156	△ 3,108	0	387
当期経常増減額	△ 858	△ 2,803	0	△ 3,661	1,757	5,399	0	7,156	△ 3,108	0	387
2. 経常外増減の部				0				0			0
(1) 経常外収益				0				0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
固定資産除却損											
什器備品除却損	0	0	0	0				0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額								0			0
他会計振替額	0	0	3,578	3,578	0	0	△ 3,578	△ 3,578	0		0
他会計振替額 過年度訂正額				0				0			0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 858	△ 2,803	3,578	△ 83	1,757	5,399	△ 3,578	3,578	△ 3,108	0	387
法人税、住民税及び事業税						315	0	315	72		387
当期一般正味財産増減額	△ 858	△ 2,803	3,578	△ 83	1,757	5,084	△ 3,578	3,263	△ 3,180	0	0
一般正味財産期首残高			13,893	13,893			8,926	8,926	9,481	0	32,300
一般正味財産期末残高	△ 858	△ 2,803	17,471	13,810	1,757	5,084	5,348	12,189	6,301	0	32,300
II 指定正味財産増減の部											
当期指定正味財産増減額				0				0	0	0	0
指定正味財産期首残高				0				0	5,000		5,000
指定正味財産期末残高				0				0	5,000	0	5,000
III 正味財産期末残高	△ 858	△ 2,803	17,471	13,810	1,757	5,084	5,348	12,189	11,301	0	37,300

資金調達及び設備投資の見込みについて

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

(1) 資金調達の見込みについて

平成30年度中に資金調達予定はありません。

(2) 設備投資のみこみについて

平成30年度中に設備投資予定はありません。

平成30年度第収支予算に係る注記

投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>【投資活動収支の部】</b>			
1. 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入			
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
① 特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出	1,230	1,212	18
減価償却引当資産取得支出	1	202	△ 201
② 固定資産取得支出			
什器備品取得支出	0	0	0
機械及び装置取得支出	0	0	0
車両運搬具取得支出	0	0	0
ソフトウェア取得支出	0	0	0
その他固定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	1,231	1,414	△ 183
投資活動収支差額	△ 1,231	△ 1,414	183
<b>【財務活動収支の部】</b>			
1. 財務活動収入			
① 財務収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
① 財務支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0

# 一般財団法人 盛岡市駐車場公社

## 1 総括事項

(1)名称 一般財団法人 盛岡市駐車場公社

(2)設立年月日 昭和46年12月11日

(3)資本金又は基本財産 金 3,000,000円

(4)市の出資額 金 3,000,000円

(5)役員の名  
評議員 佐藤誠司  
評議員 千葉正  
評議員 田山俊悦  
理事長 船水義一  
常務理事 千田敏  
理事 千葉伸行  
理事 中村正樹  
理事 藤澤和義  
監事 中村一  
監事 中野玲子

(平成30年4月1日現在)

## (6)事業の概要

公社は、盛岡市が設置する駐車場の管理運営に関する事業を行うことにより、駐車需要の緩和と道路交通の円滑化を図り、もって住民の利便に資するとともに、都市機能の維持及び増進に寄与することを目的とし、次の事業を行っている。

- (ア) 駐車場の業務運営
- (イ) 駐車場の施設及び設備の維持管理業務
- (ウ) 駐車場の使用料の収納に関する業務
- (エ) その他目的を達成するために必要な事業



1 平成29年度 一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I 事業の概況

1 運営管理の概況

盛岡市駐車場の第3期指定管理者として、駐車場3施設の管理運営業務及び駐車場使用料の収納事務を行った。事業運営に当たっては、駐車場の安全管理を徹底するとともに、利用者が安心して利用できるようサービスの向上に努めながら事業を推進した。

管理運営の指定を受けた3施設の平成29年度の指定管理料は98,265,137円、経常的運営費は96,551,065円となっており、前年度の経常的運営費96,162,846円と比較し、388,219円の増額となっている。主な増減内容は、光熱水費、給料手当で増額となり、修繕費、使用料で減額となっている。

2 駐車場の利用状況

利用台数は417,908台で、前年度の408,193台と比較して9,715台、2.4%の利用増となった。また、利用料金収入は219,119,800円で、前年度の213,973,830円と比較して5,145,970円、2.4%の増収となった。

岩手公園地下駐車場においては前年度と比較して台数並びに収入とも減となり、マリオス立体駐車場においては台数微減ながら収入は増になり、盛岡駅西口地区駐車場においては台数並びに収入とも順調に伸びたことから、3施設で増減はあるものの、総体としては台数並びに収入とも増となったところである。

(1) 駐車場の利用状況 (総括表)

(イ) 利用台数

(単位：台)

区 分	利用台数		前年度比	
	平成29年度	平成28年度	比較増減	前年度比
岩手公園地下駐車場	62,738	67,454	△4,716	△7.0%
マリオス立体駐車場	33,629	33,892	△263	△0.8%
盛岡駅西口地区駐車場	321,541	306,847	14,694	4.8%
合 計	417,908	408,193	9,715	2.4%

(ロ) 利用料金

(単位：円)

区 分	利用料金		前年度比	
	平成29年度	平成28年度	比較増減	前年度比
岩手公園地下駐車場	29,942,730	31,161,190	△1,218,460	△3.9%
マリオス立体駐車場	36,604,380	35,481,740	1,122,640	3.2%
盛岡駅西口地区駐車場	152,572,690	147,330,900	5,241,790	3.6%
合 計	219,119,800	213,973,830	5,145,970	2.4%

(2) 岩手公園地下駐車場（昭和46年12月10日開業）の利用状況

(イ) 利用台数

(単位：台)

区分	平成 29 年度	構成比	平成 28 年度	比較増減	
普通駐車	54,906	87.5%	60,548	△5,642	△9.3%
定期券駐車	7,832	12.5%	6,906	926	13.4%
合 計	62,738	100.0%	67,454	△4,716	△7.0%

(ロ) 利用料金

(単位：円)

区分	平成 29 年度	構成比	平成 28 年度	比較増減	
現 金	23,287,230	77.8%	25,488,190	△2,200,960	△8.6%
回数券	697,500	2.3%	513,000	184,500	36.0%
定期券	5,958,000	19.9%	5,160,000	798,000	15.5%
合 計	29,942,730	100.0%	31,161,190	△1,218,460	△3.9%

利用台数は62,738台で、前年度と比較し4,716台、7.0%の減となり、利用料金は29,942,730円で、前年度と比較し1,218,460円、3.9%の減収となった。ここ2、3年は増加傾向にあったが、29年度はそれ以前の利用状況と同程度となっている。市役所業務の利用者がやや減少したことと、岩手県民会館が29年12月から休館していることも影響したものと考えている。

(3) マリオス立体駐車場（平成9年10月1日開業）の利用状況

(イ) 利用台数

(単位：台)

区分	平成 29 年度	構成比	平成 28 年度	比較増減	
普通駐車	14,487	43.1%	13,471	1,016	7.5%
定期券駐車	19,142	56.9%	20,421	△1,279	△6.3%
合 計	33,629	100.0%	33,892	△263	△0.8%

(ロ) 利用料金

(単位：円)

区分	平成 29 年度	構成比	平成 28 年度	比較増減	
現 金	6,459,380	17.6%	6,009,740	449,640	7.5%
回数券	6,457,000	17.6%	5,928,000	529,000	8.9%
定期券	23,688,000	64.7%	23,544,000	144,000	0.6%
合 計	36,604,380	100.0%	35,481,740	1,122,640	3.2%

利用台数は33,629台で、前年度と比較し263台、0.8%の微減となったが、利用料金収入は、36,604,380円で、前年度と比較し1,122,640円、3.2%の増収となった。ここ2、3年は普通駐車の利用料金が減少していたが、29年度は回復している。また、定期駐車については、台数は出入庫車数が減少したものの契約車数はやや増えたため利用料金は増となっている。回数券の売上については増加傾向が続いている。

(4) 盛岡駅西口地区駐車場（平成9年12月27日開業）の利用状況

(イ) 利用台数

(単位：台)

区分	平成 29 年度	構成比	平成 28 年度	比較増減	
普通駐車	301,008	93.6%	287,445	13,563	4.7%
定期券駐車	20,533	6.4%	19,402	1,131	5.8%
合 計	321,541	100.0%	306,847	14,694	4.8%

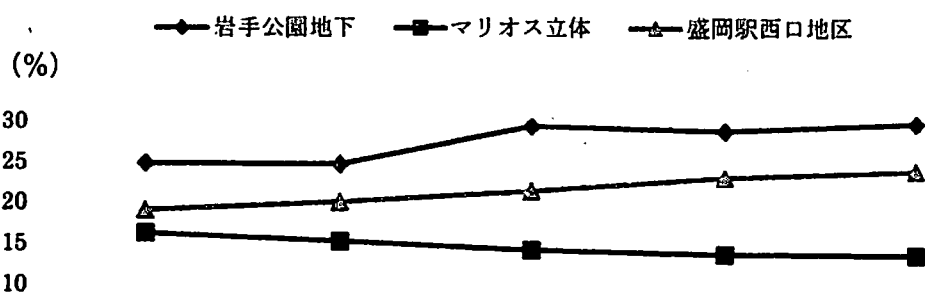
(ロ) 利用料金

(単位：円)

区分	平成 29 年度	構成比	平成 28 年度	比較増減	
現 金	140,182,690	91.9%	135,080,900	5,101,790	3.8%
定期券	12,390,000	8.1%	12,250,000	140,000	1.1%
合 計	152,572,690	100.0%	147,330,900	5,241,790	3.6%

利用台数は321,541台で、前年度に比較し14,694台、4.8%増となった。また、利用料金収入は、152,572,690円で、前年度と比較し5,241,790円、3.6%の増収となった。アイーナやマリオスにおけるイベントなどや、駅周辺における諸用務等においても広く利用されており、概ね順調に推移しているものと思われる。

(5) 駐車場の施設利用率の推移（過去5年間）



	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
岩手公園地下	24.8	24.7	29.4	28.8	29.7
マリオス立体	16.2	15.2	14.2	13.7	13.6
盛岡駅西口地区	19.0	20.0	21.4	23.1	23.9

施設利用率：総駐車場時間 / (収容台数 × 日数 × 営業時間)

## (6) 考察及び今後の対応

岩手公園地下駐車場については、市役所用務が主となっており、用務状況に応じて各年度により多少の増減はあるが、概ね数パーセントの範囲の中で変動している状況である。また、施設利用率の推移を見ると、平成27年度に駐車料金の上限枠を設定したことにより大きく増加したが、それ以降は同程度の数値に収まっており、こうした状況は今後も大きく変わることはないものと思われる。利用者からの意見及び評価は概ね良好と思われるが、より一層利用されやすい駐車場を目指していきたい。

マリオス立体駐車場については、マリオスに入居されている企業関係の利用者の定期券駐車車が主であり、長い期間利用される傾向にあることから大きく変動することはないと思われるが、各入居企業からの情報をより早く入手することで利用状況の増進を図りたい。また、普通駐車車に関しては、ここ10年ほどは安定的な利用状況となつてはいるものの、周辺駐車場の動向等を常に注視しながら、利用促進に努めて参りたい。

盛岡駅西口地区駐車場については、29年度も増加傾向が続いており、また施設利用率も上がり続けているので概ね順調に推移しているものと思われる。利用料金の伸び率についてはやや落ち着いてきたようにも思われるが、増加傾向は続くものと想定されることから、より一層の利便性向上に努めていきたい。

総体としては、影響が大きい西口地区駐車場に連動した動向を示しており、利用増の状況が継続しているところであり、今後とも効率的で適正な管理運営に努めることとしたい。

## II 管理事務の概況

### 1 評議員、役員及び職員の構成

(平成29年4月1日現在)

#### (1) 評議員、役員

役員名	氏名	摘要(公職)
評議員	千葉正	元盛岡交通安全協会長
評議員	田山俊悦	盛岡市議会議員
評議員	佐藤誠司	盛岡商工会議所事務局長
理事長	船水義一	盛岡市都市整備部長
常務理事	山影毅	盛岡市都市整備部次長
理事	千葉伸行	盛岡市議会議員
理事	中村正樹	盛岡大通商店街協同組合事務局長
理事	藤澤和義	盛岡市財政部長
監事	中村一	盛岡市議会議員
監事	中野玲子	盛岡市会計管理者

(2) 評議員、役員及び職員の構成

評議員、役員の構成		職員の構成	
区 分	員 数	区 分	員 数
評 議 員	3名	所 長	1名
理 事 長	1名	場 長	1名
常務理事	1名	管理主任	1名
理 事	3名	管理主事	1名
監 事	2名	管理技術員	4名
		管 理 員	14名
計	10名	計	22名

2 庶務の概況

(1) 会 議

(イ) 平成28年度収支決算に係る監査の開催

- ・日 時 平成29年5月16日(火) 午前10時
- ・場 所 盛岡市庁舎別館 404会議室
- ・監事による監査事項
  - 1 平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告並びに財務諸表について
  - 2 平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支決算明細書について
  - 3 平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社公益目的支出計画実施報告書等の提出について

(ロ) 第10回 理事会の開催

- ・日 時 平成29年5月24日(水) 午前10時
- ・場 所 盛岡市庁舎別館 403会議室
- ・議 事
  - 議案第1号 平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告及び決算について
  - 議案第2号 平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社公益目的支出計画実施報告書等の提出について
  - 議案第3号 評議員及び役員の候補者の決定について
  - 議案第4号 平成29年度一般財団法人盛岡市駐車場公社定時評議員会の開催について
- 報告事項 平成29年度第1回職務執行状況報告について

(ハ) 定時評議員会

- ・日 時 平成29年6月28日(水) 午前10時30分
- ・場 所 盛岡市庁舎別館 401会議室
- ・議 事
  - 議案第1号 平成29年度一般財団法人盛岡市駐車場公社決算について
  - 議案第2号 一般財団法人盛岡市駐車場公社評議員の選任について
  - 議案第3号 一般財団法人盛岡市駐車場公社理事の選任について

議案第4号 一般財団法人盛岡市駐車場公社監事の選任について

- 報告事項
- ・平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業報告について
  - ・平成28年度一般財団法人盛岡市駐車場公社公益目的支出計画実施報告書等の提出について
  - ・平成29年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業計画及び収支予算について

(二) 第11回 理事会の開催

- ・日 時 平成30年3月28日(水) 午後2時
- ・場 所 盛岡市庁舎別館 403会議室
- ・議 事

議案第1号 平成30年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業計画について

議案第2号 平成30年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算について

- 報告事項
- ・平成29年度第2回職務執行状況について
  - ・市営駐車場管理運営事業に係る平成29年度実績及び平成30年度予定について
  - ・マリオス立体駐車場3号機稼働停止事故について

(2) 事 務

- (イ) 公益目的支出計画における盛岡市への寄附の支出に係る事務処理
- (ロ) 駐車場利用実績及び経理状況の月例報告
- (ハ) 指定管理者に係る事務処理
- (ニ) その他必要とされる事務処理

Ⅲ 駐車場施設の管理状況

駐車場3施設に設置された諸設備の機能を確保するため、適切な維持管理及び保守点検等を実施した。

1 岩手公園地下駐車場

施設の改修については、LEDランプ設置、エレベーター部品交換、トイレ洋式便座交換、非常用照明交換、満空表示灯交換修繕などを実施した。

2 マリオス立体駐車場

施設の改修については、1号機ではカウンターウェイトガイドローラー、安全扉バッテリー、搬器バッファの交換、2号機では前述に加え案内入庫灯、台車連結用電磁開閉器の交換、

3、4号機では旋回装置ブレーキライニングの交換修繕などを実施した。

3 盛岡駅西口地区駐車場

施設の修繕等は特になかった。

正味財産増減計算書  
(平成29年4月1日から30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	255	639	△ 384
指定管理料収益	98,265,137	98,565,300	△ 300,163
雑収益	272,809	361,081	△ 88,272
雑収益	272,503	360,592	△ 88,089
預金利息	306	489	△ 183
経常収益計	98,538,201	98,927,020	△ 388,819
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	10,507,727	10,443,884	63,843
法定福利費	4,644,901	4,675,774	△ 30,873
賃借金	19,762,125	19,769,480	△ 7,355
消耗品費	1,186,005	1,172,843	13,162
燃料費	327,835	225,035	102,800
食糧費	0	0	0
印刷製本費	1,684,152	1,593,000	91,152
光熱水費	5,367,827	5,053,244	314,583
修繕費	4,269,780	4,476,005	△ 206,225
被服費	198,720	258,012	△ 59,292
通信搬送費	201,595	225,249	△ 23,654
損害保険料	215,040	215,040	0
手数料	501,115	407,097	94,018
広告費	68,040	68,040	0
委託費用	25,258,391	25,198,213	60,178
負担金	2,015,134	2,332,933	△ 317,799
租税公課	10,000	10,000	0
租税公課	3,095,514	3,112,120	△ 16,606
寄附金	270,000	340,000	△ 70,000
雑費	0	0	0
管理費			
役員報酬	130,000	130,000	0
給料手当	11,996,429	11,637,132	359,297
法定福利費	1,982,205	1,937,448	44,757
退職金	504,000	504,000	0
旅費交通費	24,920	26,920	△ 2,000
消耗品費	89,269	88,279	990
食糧費	2,435	2,470	△ 35
光熱水費	677,024	637,346	39,678
通信搬送費	107,125	119,694	△ 12,569
手数料	64,479	52,379	12,100
使負担金	147,024	170,211	△ 23,187
負担金	152,168	180,168	△ 28,000
租税公課	1,090,086	1,100,830	△ 10,744
雑費	0	0	0
経常費用計	96,551,065	96,162,846	388,219
当期経常増減額	1,987,136	2,764,174	△ 777,038

正味財産増減計算書  
(平成29年4月1日から30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	1,987,136	2,764,174	△ 777,038
一般正味財産期首残高	13,364,751	10,600,577	2,764,174
一般正味財産期末残高	15,351,887	13,364,751	1,987,136
II 指定正味財産増減の部			
受取地方公共団体補助金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	18,351,887	13,600,577	4,751,310



正味財産増減計算書内訳表  
(平成29年4月1日から30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	実施事業等 会計	その他 会計	法人 会計	内部取消 消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			255		255
指定管理料収益		80,366,137	17,899,000		98,265,137
雑収益		272,809			272,809
雑収益		272,503			272,503
預金利息		306			306
経常収益計	0	80,638,946	17,899,255		98,538,201
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当		10,507,727			10,507,727
法定福利費		4,644,901			4,644,901
賃借料		19,762,125			19,762,125
消耗品費		1,186,005			1,186,005
燃料費		327,835			327,835
食糧費		0			0
印刷製本費		1,684,152			1,684,152
光熱水費		5,367,827			5,367,827
修繕費		4,269,780			4,269,780
被服費		198,720			198,720
通信運搬費		201,595			201,595
損害保険料		215,040			215,040
手数料		501,115			501,115
広告費		68,040			68,040
委託費用		25,258,391			25,258,391
使担金		2,015,134			2,015,134
負担金		10,000			10,000
租税公課		3,095,514			3,095,514
寄附金	270,000	0			270,000
雑費		0			0
管理費					
役員報酬			130,000		130,000
給料手当			11,996,429		11,996,429
法定福利費			1,982,205		1,982,205
退職金			504,000		504,000
旅費交通費			24,920		24,920
消耗品費			89,269		89,269
食糧費			2,435		2,435
光熱水費			677,024		677,024
通信運搬費			107,125		107,125
手数料			64,479		64,479
使担金			147,024		147,024
負担金			152,168		152,168
租税公課			1,090,086		1,090,086
雑費			0		0
経常費用計	270,000	79,313,901	16,967,164		96,551,065
当期経常増減額	△ 270,000	1,325,045	932,091		1,987,136
他会計振替額	270,000	3,662,000	△ 3,932,000		0

正味財産増減計算書内訳表  
(平成29年4月1日から30年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	実施事業等 会計	その他 会計	法人 会計	内部取消 消去	合計
2. 経常外増減の部					
当期一般正味財産増減額	0	4,987,045	△ 2,999,909		1,987,136
一般正味財産期首残高	0	9,840,810	3,523,941		13,364,751
一般正味財産期末残高	0	14,827,855	524,032		15,351,887
II 指定正味財産増減の部					
受取地方公共団体補助金			0		0
当期指定正味財産増減額			0		0
指定正味財産期首残高			3,000,000		3,000,000
指定正味財産期末残高			3,000,000		3,000,000
III 正味財産期末残高	0	14,827,855	3,524,032		18,351,887

**貸借対照表**  
平成30年3月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	28,935,016	20,468,411	8,466,605
流動資産合計	28,935,016	20,468,411	8,466,605
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	31,935,016	23,468,411	8,466,605
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	9,213,756	6,779,546	2,434,210
立替金	3,450		3,450
預り金	4,365,923	324,114	4,041,809
流動負債合計	13,583,129	7,103,660	6,479,469
負債合計	13,583,129	7,103,660	6,479,469
<b>III 正味財産</b>			
1. 指定正味財産			
盛岡市出資金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	15,351,887	13,364,751	1,987,136
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	18,351,887	16,364,751	1,987,136
負債及び正味財産合計	31,935,016	23,468,411	8,466,605

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

・退職給付制度については、平成18年度から中小企業退職金共済制度を採用している。

#### (2) 消費税等の会計処理

・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
市出捐金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

### 3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
市出捐金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	-
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	-
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

4. その他

財務諸表の貸借対照表について

貸借対照表について、資産の部及び負債の部に係る明細は、次のとおりである。

4-1 貸借対照表明細書(資産の部)

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	内訳	備考
(資産) 現金	2,028,832	1,528,120 196,812 303,900	其他会計 法人会計 盛岡市駐車場使用料未納付残高
(資産) 預金	26,906,184	23,022,738 680,613 3,124,000 78,833	普通預金 岩手銀行本店 普通預金 岩手銀行本店 普通預金 岩手銀行本店 普通預金 東北銀行本店
	3,000,000	2,000,000 1,000,000	定期預金 岩手銀行本店(基本財産) 定期預金 東北銀行本店(基本財産)
資産合計	31,935,016		

4-2 貸借対照表明細(負債・正味財産の部)

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	内訳	備考
(負債) 未払金	9,213,756	1,468,170 19,722 748,988 2,017,800 4,959,076	3月分賃金・諸手当 3月分電話料金 社会保険料 消費税及び地方消費税(後期納付額) 保守点検委託料ほか
(負債) 立替金	3,450	3,450	盛岡市駐車場使用料未納付残高
(負債) 預り金	4,365,923	790,853 25,020 125,600 3,424,450	職員負担分社会保険料 " 源泉所得税 " 住民税 盛岡市駐車場使用料未納付残高
負債合計	13,583,129		
指定正味財産 期末残高	3,000,000	3,000,000	盛岡市出捐金(基本財産)
一般正味財産 期末残高	15,351,887	15,351,887	
正味財産合計	18,351,887		
合計	31,935,016		

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 事業計画

##### 平成30年度一般財団法人盛岡市駐車場公社事業計画

平成30年度における事業運営は、指定管理者として岩手公園地下駐車場、マリオス立体駐車場及び盛岡駅西口地区駐車場の管理運営を行うものとし、実施にあたっては、指定管理者として協定書に定められた事項を遵守し、盛岡市の所掌部署と緊密な連携を図りながら、次のことを重点に事業を推進する。

#### 記

- 1 駐車需要の向上を図るために円滑、安全かつ快適な駐車場運営を目標に、利用者に対するサービスに努める。
- 2 駐車場施設の適正な管理を図り、場内における事故防止に万全を期する。
- 3 指定管理者として、駐車場施設の効率的な運営を図り、運営管理費の適正な執行に資するため、体質改善や経費削減に努める。
- 4 一般財団法人として、盛岡市に対する特定寄附により、公益目的支出計画を実行する。

## (2)収支予算の概要

平成30年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	1,000	1,000
基本財産受取利息			1,000	1,000
事業収益	0	79,081,000	17,899,000	96,980,000
指定管理料収益		79,081,000	17,899,000	96,980,000
雑収益	0	301,000	0	301,000
預金利息		1,000	0	1,000
雑収益		300,000	0	300,000
経常収益計	0	79,382,000	17,900,000	97,282,000
(2) 経常費用				
事業費	300,000	79,082,000		79,382,000
給料手当		10,430,000		10,430,000
法定福利費		4,946,000		4,946,000
賃借金		20,262,000		20,262,000
消耗品費		1,101,000		1,101,000
燃料費		355,000		355,000
食糧費		1,000		1,000
印刷製本費		1,797,000		1,797,000
光熱水費		5,753,000		5,753,000
修繕費		3,846,000		3,846,000
被服費		232,000		232,000
通信運搬費		207,000		207,000
損害保険料		326,000		326,000
手数料料		395,000		395,000
広告費		69,000		69,000
委託費用		25,493,000		25,493,000
使用料金		755,000		755,000
負担金		10,000		10,000
租税公課		3,103,000		3,103,000
寄付金	300,000	0		300,000
雑費		1,000		1,000
管理費			17,900,000	17,900,000
役員報酬			190,000	190,000
給料手当			12,615,000	12,615,000
法定福利費			2,033,000	2,033,000
退職金共済費			720,000	720,000
旅費交通費			37,000	37,000
消耗品費			64,000	64,000
食糧費			4,000	4,000
光熱水費			745,000	745,000
通信運搬費			110,000	110,000
手数料			51,000	51,000
使用料金			192,000	192,000
負担金			150,000	150,000
租税公課			988,000	988,000
雑費			1,000	1,000
経常費用計	300,000	79,082,000	17,900,000	97,282,000

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合計
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 300,000	300,000	0	0
基本財産評価損益等				0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 300,000	300,000	0	0
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	300,000	△ 300,000	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高		9,840,810	3,523,941	13,364,751
一般正味財産期末残高	0	9,840,810	3,523,941	13,364,751
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産受取利息			1,000	1,000
一般正味財産への振替額			△ 1,000	△ 1,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			3,000,000	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	3,000,000	3,000,000
III 正味財産期末残高	0	9,840,810	6,523,941	16,364,751



平成30年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書事業別明細書  
実施事業等会計

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
事業収益	0	0	0	
指定管理料収益	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
預金利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	0	0	0	
(2) 経常費用				
事業費	300,000	300,000	0	
給料手当	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	
賃金	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
燃料費	0	0	0	
食糧費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	
修繕費	0	0	0	
被服費	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	
損害保険料	0	0	0	
手数料料	0	0	0	
広告費	0	0	0	
委託費	0	0	0	
使用料	0	0	0	
負担金	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
寄付金	300,000	300,000	0	・盛岡市への寄附
雑費	0	0	0	
管理費				
役員報酬				
給料手当				
法定福利費				
退職金共済費				
旅費交通費				
消耗品費				
食糧費				
光熱水費				
通信運搬費				
手数料料				
使用料				
負担金				
租税公課				
雑費				
経常費用計	300,000	300,000	0	

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 300,000	△ 300,000	0	
基本財産評価損益等				
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 300,000	△ 300,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	300,000	300,000		
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	0	0	0	

平成30年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書事業別明細書  
 その他会計

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
事業収益	79,081,000	80,366,000	△ 1,285,000	地下駐事前精算機リース料、
指定管理料収益	79,081,000	80,366,000	△ 1,285,000	地下駐保守点検料の減額
雑収益	301,000	301,000	0	
預金利息	1,000	1,000	0	
雑収益	300,000	300,000	0	自動販売機売上手数料
経常収益計	79,382,000	80,667,000	△ 1,285,000	
(2) 経常費用				
事業費	79,082,000	80,367,000	△ 1,285,000	
給料手当	10,430,000	10,430,000	0	嘱託職員報酬等
法定福利費	4,946,000	4,946,000	0	社会保険料等
賃金	20,262,000	20,262,000	0	臨時職員賃金
消耗品費	1,101,000	1,101,000	0	事務用品等
燃料費	355,000	355,000	0	灯油代
食糧費	1,000	1,000	0	来客用茶代
印刷製本費	1,797,000	1,797,000	0	磁気駐車券等
光熱水費	5,753,000	5,753,000	0	電気・水道料金
修繕費	3,846,000	3,846,000	0	電気設備等修繕料
被服費	232,000	232,000	0	作業服等
通信運搬費	207,000	207,000	0	電話、郵便料
損害保険料	326,000	326,000	0	損害保険料
手数料	395,000	395,000	0	健康診断・送金手数料等
広告費	69,000	69,000	0	新聞広告料
委託費	25,493,000	25,547,000	△ 54,000	消防設備保守点検等
使用料	755,000	1,986,000	△ 1,231,000	自動精算機使用料等
負担金	10,000	10,000	0	イベント協賛金
租税公課	3,103,000	3,103,000	0	消費税及び地方消費税
寄付金	0	0	0	
雑費	1,000	1,000	0	
管理費				
役員報酬				
給料手当				
法定福利費				
退職金共済費				
旅費交通費				
消耗品費				
食糧費				
光熱水費				
通信運搬費				
手数料				
使用料				
負担金				
租税公課				
雑費				
経常費用計	79,082,000	80,367,000	△ 1,285,000	

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
評価損益等調整前当期経常増減額	300,000	300,000	0	
基本財産評価損益等				
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	300,000	300,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	△ 300,000	△ 300,000	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	9,840,810	7,077,398	2,763,412	
一般正味財産期末残高	9,840,810	7,077,398	2,763,412	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息				
一般正味財産への振替額				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	9,840,810	7,077,398	2,763,412	

平成30年度一般財団法人盛岡市駐車場公社収支予算書事業別明細書  
法人会計

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	1,000	0	
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	
事業収益	17,899,000	17,899,000	0	
指定管理料収益	17,899,000	17,899,000	0	
雑収益	0	0	0	
預金利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	17,900,000	17,900,000	0	
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当				
法定福利費				
賃金				
消耗品費				
燃料費				
食糧費				
印刷製本費				
光熱水費				
修繕費				
被服費				
通信運搬費				
損害保険料				
手数料料				
広告費				
委託費				
使用料				
負担金				
租税公課				
寄付金				
雑費				
管理費	17,900,000	17,900,000	0	
役員報酬	190,000	190,000	0	評議員、理事、監事
給料手当	12,615,000	12,615,000	0	職員給与、諸手当等
法定福利費	2,033,000	2,033,000	0	社会保険料等
退職金共済費	720,000	720,000	0	中退共掛金
旅費交通費	37,000	37,000	0	研修旅費
消耗品費	64,000	64,000	0	事務用品等
食糧費	4,000	4,000	0	会議用茶代
光熱水費	745,000	745,000	0	電気、ガス、水道料金
通信運搬費	110,000	110,000	0	電話、郵便料
手数料	51,000	51,000	0	健康診断、送金手数料
使用料	192,000	192,000	0	複写機借上料等
負担金	150,000	150,000	0	商工会議所会費等
租税公課	988,000	988,000	0	消費税及び地方消費税
雑費	1,000	1,000	0	
経常費用計	17,900,000	17,900,000	0	

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
基本財産評価損益等				
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	3,523,941	3,523,179	762	
一般正味財産期末残高	3,523,941	3,523,179	762	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	
一般正味財産への振替額	△ 1,000	△ 1,000	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	6,523,941	6,523,179	762	

# 公益財団法人 盛岡市動物公園公社

## 1 総括事項

(1) 名称 公益財団法人 盛岡市動物公園公社

(2) 設立年月日 昭和63年3月29日

(3) 資本金又は基本財産 金 30,000,000円

(4) 市の出資額 金 30,000,000円

(5) 役員の名

理事長	船	水	義	一
理事	千	田		敏
理事	小	原	俊	彦
理事	坂	本		洋
理事	逢	坂	ひ	ろみ
理事	齊	藤	俊	一
監事	菊	地	克	昌
監事	中	野	玲	子
評議員	赤	井	幸	二
評議員	佐	藤	れ	え子
評議員	佐	藤	康	子

(平成30年4月1日現在)

## (6) 事業の概要

当社は、盛岡市動物公園の管理、動植物等に関する調査研究及び知識の普及等を行うことにより自然に対する認識を深め、情操を育み、もって住民の福祉の増進に寄与するため設立されたもので、平成24年4月1日に公益財団法人に移行し、定款第4条により、次の事業を行っております。

- (ア) 盛岡市動物公園の管理運営
- (イ) 動植物等の調査研究
- (ウ) 動植物等に関する知識の普及並びに催物等の企画及び実施
- (エ) 野生生物保全等に関する事業
- (オ) 盛岡市動物公園における物品及び飲食物販売事業
- (カ) 盛岡市動物公園におけるベビーカー貸出事業及び荷物預かり事業
- (キ) その他盛岡市動物公園に関連する収益事業

## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### (1) 事業実績

#### ア. 事業概要

平成29年度の事業計画に基づき、動物公園が家族ぐるみのレクリエーションの場として市民の利用を図り、動物の展示や各種催物などにより動物に親しんでもらうとともに、教育知識の普及、動物に関する調査研究を行った。また、関係機関と連携の下、野生生物保全に関する各種事業を実施した。

平成29年4月12日、当園生まれのキリンのメス（リンゴ）の東京都恩賜上野動物園への搬出、同年7月5日のキリンのメス（カリン）の出産があったが、一方その母親（ユズ）が、脚の疾患により、同年10月24日未明死亡し、今後の対応に生かすべき意見もさまざまいただいた。

平成29年5月25日、グレビーシマウマが出産するも、難産のため仔は死亡した。同年6月7日、秋田市大森山動物園からオスのカピバラ1頭を譲り受け、同年4月1日から公開していたメスと併せてペアでの飼育を開始した。ウェブサービス「いきものAZ」主催の、全国84頭のカワウソの人気を競う「カワウソウ選挙」にて、当園のカナダカワウソ「カエデ」が3位を獲得した。

平成28年11月から続いていた高病原性インフルエンザ監視重点区域設定の解除により、平成29年4月23日から鳥類の展示を再開した。

平成29年4月20日から、(株)ふるさと交通が当園の動物たちを車体にラッピングしたタクシーの運用を開始、また同年7月30日にスマートフォンなどで使える当園の「自分で作る動物図鑑」アプリが公開され、当園の利用者増に一役買っている。

道の駅や結婚式場で、小動物の触れ合いを実施した。また、これまで2月のみ行っていた冬の臨時開園を、1月にも2日間実施し、1,655人が来園した。一方7月に当園周辺でクマの目撃が相次ぎ、警戒態勢を敷いた。なお、予定していた「ホタルの夕べ」は、来園者の安全確保の観点から中止した。

平成29年度は、春のゴールデンウィークの好天、夏休みシーズンの低温、冬季臨時開園日の追加、3月の温暖などから、来園者総数は、170,165人と、平成28年度の158,751人から11,414人、率にして7.2パーセント上回ることとなった。また、動物公園使用料では、同年度比7.7パーセントの増収となった。

#### イ. 経営計画（第2次中期計画）の達成状況

経営計画における、入園者数と教育普及・研究事業等参加者数の目標数値に対する達成状況は、次のとおりである。



区分	目標値	達成値	達成率
入園者数	170,000人	170,165人	100.01%
催事等参加者数	136,000人	143,909人	105.82%

## ウ. 事業内容

### A. 飼育展示事業

当動物公園の基本事業であり、実物の動物を見せることにより、その実存を再認識させるとともに、それらを用いた知識の普及や情報の提供を行った。

- a. 動物の健全な飼育管理の維持
- b. 計画的な繁殖による、動物の補充
- c. 自然に近い状態の生態展示

日常業務において、動物展示場内にさまざまな器具や自然物を入れて行動を促し、及び日陰・視線遮断となる遮蔽物を設置するなどの工夫を行っている。

- d. 研究活動に供する動物や、自然保護活動の一環として保護収容された野生動物の飼育管理
- e. 極めて稀少な日本産の野生動物の生息域外保全（ツシマヤマネコの飼育・展示・普及啓発活動）
- f. 来園者に快適な観覧環境を提供するための施設・設備の維持管理

一般的な維持管理のほか、坂道シャトルカーを平成20年4月から9人乗り大型ワゴン車により運行し、主に高齢者や体の不自由な方々を対象にサービスを行っている。平成29年度利用者数は、26,837人で、入園者の15.77パーセントが利用している。また、5月の大型連休時には、不足する来園者の駐車スペースを補うため、盛岡競馬場駐車場を借り上げ、当動物公園との間にシャトルバスを運行し、来園者の便宜を図っている。平成29年度は、9,043人を運んでいる。

### B. 催し物等事業

明るく楽しい、魅力あふれる動物公園であるよう、自然や動物にちなんだ様々な催し物を企画し、実施した。

- a. 家族で楽しめ、動物に親しみや関心をもってもらうことを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした「動物公園まつり」、「春まつり」、「動物クイズ」などの事業を実施した。
- b. 動物とのふれあいの充実を図ることを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした「ウサギをだっこ」、「ポニー乗馬」、「各種餌やり・ふれあい体験」などの事業を実施した。
- c. 自然を素材に遊ぶ機会を提供するため、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした各種昆虫・植物の採集及び観察などの事業を実施した。なお、

「ホテルの夕べ」は、近隣でのクマ出没により中止した。

#### C. 教育普及事業

動物や自然に関する知識の普及と適切な情報提供により、「自然科学に対する興味喚起」と「自然環境に関する問題意識の啓発」を目的とするもので、その独創性や発展性を追求し、事業を展開した。

- a. 主に幼稚園、保育園及び小中学校を対象とした「ふれあい教室」、「ガイドツアー」などの体験学習を実施した。
- b. 学校教育との連携として、「飼育・獣医実習生の受け入れ」及び「サマースクール1日飼育係」を実施した。
- c. 動物公園愛好者を対象に、より深く動物や動物公園の知識を深め活動に参加してもらう「動物公園友の会」を運営した。
- d. 動物や自然に関する知識を普及するための「昆虫採集クラブ」を運営した。
- e. 動植物や自然一般の知識・話題の市民への情報提供（例 県や盛岡市などの行政機関、大学等の研究機関、マスメディア、一般市民からの要請を受けて行う、各種講座・講演会への講師派遣や、ラジオ等マスメディアへの出演等）
  - ・特別養護老人ホーム「なのりの杜」自然観察会講師派遣（6/28, 10/4）
  - ・盛岡市立北陵中学校進路学習講師派遣（9/11）
  - ・NHK盛岡放送局「まじえ5時」出演（9回）

#### D. 調査・研究事業

飼育展示及び教育普及事業の資質向上と自然保護活動の一端を担うことを目的として、飼育展示動物等に関する研究、各種研究会等への参加、各種情報の調査・収集を行った。

- a. データーの収集整理を行うとともに園内研究会を開催し、優れたものについて全国の研究会や学会誌等に発表
  - ・平成29年度の実績なし
- b. 全国の関係機関で開催する研究会・研修会等に参加し行う情報の収集及び情報交換
  - ・日本動物園水族館協会第9回北海道関東東北ブロック合同動物園技術者研究会ほか12件
- c. 研究活動を補助するための図書・学会誌・文献等の収集
  - ・「獣医畜産新報」誌ほか13件

#### E. 野生生物保全関連事業

地域貢献を目的とした「地域社会と自然環境保全」に関わる活動として、実施主体である関係機関からの依頼に協力した。

- a. 特別天然記念物カモシカの保護収容事業への協力
  - ・特別天然記念物カモシカ保護収容及び各種調査業務（盛岡市教育委員会歴史

文化課) ほか2業務

b. 天然記念物イヌワシの保全事業への協力

・天然記念物イヌワシ保護収容及び各種調査業務(盛岡市教育委員会歴史文化課)

c. ツキノワグマの有害獣対策及び保全事業への協力

・有害獣(ツキノワグマ)対策業務(盛岡市農政課)ほか2業務

d. 幼傷病野生鳥獣応急治療事業への協力

・幼傷病野生鳥獣応急治療業務(岩手県自然保護課)ほか4業務

e. ツキノワグマ保護管理対策及び調査事業への協力

・ツキノワグマ保護管理事業(岩手県自然保護課)ほか2業務

f. カモシカの保護管理対策及び調査事業への協力

・天然記念物カモシカ等保護収容及び各種調査業務(盛岡市教育委員会歴史文化課)ほか2業務

F. 収益事業

動物公園が広くレクリエーションの場として利用され、また、快適さ、便利さを提供するため入園者に対するサービスとして次の業務を行った。売店ではカワソ人気の盛り上がりに合わせてグッズ展開を行った。また、食堂では好評な週替わりメニューを継続しつつ、新規メニューの開発を行っている。

引き続きパスポート入園券所有者に対する割引サービスを実施し、リピーターの誘致を図った。

春の大型連休期間の好天に加え、夏休み期間の天候不良が逆に功を奏して、観光客を稼ぐことができた結果、売上高は4千万円を超えることができた。

a. 売店の経営(動物資料館前、アフリカ園レストハウスの2箇所)

b. レストハウスの運営(アフリカ園前、ピクトリアコーナーの2箇所)

c. 自動販売機の設置(24台)

d. 有料ベビーカーの貸出し

e. 有料コインロッカーの管理(1箇所)

エ. 関係機関への協力

大学による生命科学に関する次の調査研究について協力した。

調査研究機関	調査研究テーマ	調査研究内容	備考
岩手大学 農学部動物科学課程	飼育下野生動物 エンリッチメントのための行動 調査への協力	飼育動物の行動調査を行い、飼育環境の質向上の手法について研究するための、対象動物と場所等を提供する。(アフリカゾウほか)	平成15年度から継続

北里大学 獣医学部	野生動物の舌の 比較形態学的研 究への協力	同研究のため死亡動物の舌などの 分析用試料を提供する。	平成19年 度から継 続
岐阜大学 応用生物 科学部	ゾウの糞中の性 ステロイドホル モン代謝物含量 の動態と排泄後 の経時的変化に 関する研究への 協力	アフリカゾウの血液並びに糞中性 ステロイドホルモン動態を調査す るためのサンプルを提供した。	平成19年 度から継 続
岩手大学 農学部動 物科学課 程	ニホンイヌワシ の始原生殖細胞 に関する研究へ の協力	希少種の遺伝資源保存への当該技 術の応用を目的とし、繁殖に供す ることのない受精卵を提供した。	平成27年 度から継 続
慶應義塾 大学大学 大学院政 策・メデ ィア研究 科	ハチクマにおけ るハチ防除に係 る生態・行動学 的研究への協力	ハチの攻撃を抑えると言われる特 殊な羽毛の形態学的・分子生物学 的解析に供する分析用試料を提供 した。	平成27年 度から継 続
北里大学 獣医学部	飼育下野生動物 エンリッチメン トのための行動 調査と実習への 協力	飼育環境の質向上に関する飼育動 物の行動調査と学生実習のために 対象動物と場所等を提供した。	平成28年 度から継 続

## (2) 決算の状況

平成29年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,916,795	29,604,079	△1,687,284
現金手元有高	2,188,821	1,125,010	1,063,811
普通預金	25,727,974	28,479,069	△2,751,095
未収金	496,260	656,640	△160,380
売掛金	66,498	73,460	△6,962
棚卸資産	56,000	62,772	△6,772
流動資産合計	28,535,553	30,396,951	△1,861,398
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当預金普通預金	22,004,426	50,520,566	△28,516,140
退職給付引当預金定期預金	45,000,000	0	45,000,000
特定費用準備資金	24,155,750	29,009,737	△4,853,987
役職員給与等準備資金	6,899,000	10,143,000	△3,244,000
退職給付引当準備資金	12,027,737	18,866,737	△6,839,000
動物糞尿処分準備資金	5,229,013	0	5,229,013
特定資産合計	91,160,176	79,530,303	11,629,873
(3) その他固定資産			
什器備品	98,415	123,018	△24,603
ソフトウェア	306,930	385,294	△78,364
リース資産	930,528	1,861,056	△930,528
その他固定資産合計	1,335,873	2,369,368	△1,033,495
固定資産合計	122,496,049	111,899,671	10,596,378
資産の部合計	151,031,602	142,296,622	8,734,980

科 目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	22,530,371	22,183,212	347,159
未払法人税等	420,300	247,900	172,400
預り金	2,862,705	2,081,918	780,787
賞与引当金	9,929,837	10,394,051	△464,214
買掛金	1,202,316	1,045,290	157,026
流動負債合計	36,945,529	35,952,371	993,158
2. 固定負債			
長期未払金	930,528	1,861,056	△930,528
退職給付引当金	67,004,426	50,520,566	16,483,860
固定負債合計	67,934,954	52,381,622	15,553,332
負債の部合計	104,880,483	88,333,993	16,546,490
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	16,151,119	23,962,629	△7,811,510
一般正味財産合計	16,151,119	23,962,629	△7,811,510
(うち特定資産への充当額)	(24,155,750)	(29,009,737)	(△4,853,987)
正味財産の部合計	46,151,119	53,962,629	△7,811,510
負債及び正味財産合計	151,031,602	142,296,622	8,734,980

平成29年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

貸借対照表内訳表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	19,772,325	4,682,165	3,462,305		27,916,795
現金手元有高	1,426,600	762,221	0		2,188,821
普通預金	18,345,725	3,919,944	3,462,305		25,727,974
未収金	1,261,782	0	0	△765,522	496,260
売掛金	0	66,498	0		66,498
棚卸資産	0	56,000	0		56,000
流動資産合計	21,034,107	4,804,663	3,462,305	△765,522	28,535,553
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	30,000,000				30,000,000
基本財産合計	30,000,000	0	0	0	30,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当預金普通預金	14,073,169	1,919,774	6,011,483		22,004,426
退職給付引当預金定期預金	45,000,000	0	0		
特定費用準備資金	24,009,750	0	146,000	0	24,155,750
役職員給与等準備資金	6,753,000		146,000		6,899,000
退職給付引当準備資金	12,027,737				
動物糞尿処分準備資金	5,229,013				5,229,013
特定資産合計	83,082,919	1,919,774	6,157,483	0	46,160,176
(3) その他固定資産					
什器備品	98,415				98,415
ソフトウェア	306,930				306,930
リース資産	930,528				930,528
その他固定資産合計	1,335,873	0	0	0	1,335,873
固定資産合計	114,418,792	1,919,774	6,157,483	0	122,496,049
資産の部合計	135,452,899	6,724,437	9,619,788	△765,522	151,031,602

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	21,066,058	1,744,271	485,564	△765,522	22,530,371
未払法人税等	0	348,300	72,000		420,300
預り金	787,000	0	2,075,705		2,862,705
賞与引当金	9,100,801	0	829,036		9,929,837
買掛金	0	1,202,316	0		1,202,316
流動負債合計	30,953,859	3,294,887	3,462,305	△765,522	36,945,529
2. 固定負債					
長期未払金	930,528	0	0		930,528
退職給付引当金	59,073,169	1,919,774	6,011,483		67,004,426
固定負債合計	60,003,697	1,919,774	6,011,483	0	67,934,954
負債の部合計	90,957,556	5,214,661	9,473,788	△765,522	104,880,483
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	30,000,000				30,000,000
指定正味財産合計	30,000,000	0	0	0	30,000,000
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)				(30,000,000)
2. 一般正味財産	14,495,343	1,509,776	146,000	0	16,151,119
一般正味財産合計	14,495,343	1,509,776	146,000	0	16,151,119
(うち特定資産への充当額)	(24,009,750)	(0)	(146,000)		(24,155,750)
正味財産の部合計	44,495,343	1,509,776	146,000	0	46,151,119
負債及び正味財産合計	135,452,899	6,724,437	9,619,788	△765,522	151,031,602



平成29年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	123,000	123,000	0
基本財産受取配当金	0	0	0
特定資産運用益			
退職給付引当資産受取利息	484	413	71
事業収益			
指定管理料収益	265,077,607	264,774,493	303,114
受託収益	497,880	656,640	△ 158,760
物品販売収益	23,157,385	21,782,255	1,375,130
食堂売上収益	15,071,558	13,939,826	1,131,732
荷物預かり事業収益	15,800	16,700	△ 900
ベビーカー貸出収益	404,500	369,400	35,100
自販機手数料収益	2,104,340	2,076,041	28,299
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	20,823,000	20,823,000	0
受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	3,684	4,355	△ 671
雑収益	560,141	164,335	395,806
経常収益計	327,839,379	324,730,458	3,108,921

科 目	当年度	前年度	増減
(2) 經常費用			
事業費	313,225,646	305,511,237	7,714,409
給料手当	116,559,086	122,793,672	△ 6,234,586
賃金	19,434,893	17,832,610	1,602,283
退職給付費用(通常分)	6,833,963	3,584,988	3,248,975
退職給付費用(過年度分)	8,931,082	8,931,082	0
賞与引当金繰入額	9,100,801	9,578,858	△ 478,057
退職金共済費	5,211,000	5,232,000	△ 21,000
法定福利費	21,570,537	21,048,012	522,525
福利厚生費	301,260	302,616	△ 1,356
旅費交通費	650,630	557,720	92,910
通信運搬費	564,994	453,517	111,477
リース資産減価償却費	930,528	930,528	0
減価償却費	102,967	37,284	65,683
消耗什器備品費	6,443,414	4,631,348	1,812,066
修繕費	6,667,944	2,695,961	3,971,983
燃料費	5,633,542	4,617,661	1,015,881
食糧費	0	0	0
印刷製本費	921,804	1,533,800	△ 611,996
光熱水料費	14,712,063	13,637,591	1,074,472
自動車関係	2,926,008	3,828,594	△ 902,586
被服費	482,770	206,054	276,716
原材料費	382,261	534,336	△ 152,075
医薬材料費	3,298,091	4,264,432	△ 966,341
動物飼料費	20,388,438	21,235,297	△ 846,859
図書購入費	95,828	96,454	△ 626
諸謝金	20,000	20,000	0
研究調査費	0	550	△ 550
手数料	1,262,730	876,874	385,856
保険料	146,513	147,193	△ 680
広告料	671,760	410,400	261,360
委託費	20,607,206	19,836,510	770,696
使用料	356,115	349,156	6,959
賃借料	254,676	152,421	102,255
支払負担金	53,000	115,000	△ 62,000
交通対策費	3,402,537	2,006,114	1,396,423

科 目	当年度	前年度	増減
商品仕入高	14,801,599	13,735,057	1,066,542
材料仕入高	5,690,341	5,199,439	490,902
期末棚卸高	△ 56,000	△ 62,772	6,772
期首棚卸高	62,772	0	62,772
租税公課	13,808,493	14,160,880	△ 352,387
雑費	0	0	0
管理費	22,004,943	23,217,661	△ 1,212,718
役員報酬	3,680,403	3,870,160	△ 189,757
給料手当	9,076,266	9,429,319	△ 353,053
退職給付費用(通常分)	169,991	1,004,954	△ 834,963
退職給付費用(過年度分)	1,014,772	1,014,772	0
賞与引当金繰入額	829,036	815,193	13,843
退職金共済費	360,000	360,000	0
法定福利費	2,058,183	2,052,035	6,148
福利厚生費	30,542	30,494	48
会議費	1,170	0	1,170
旅費交通費	93,340	61,400	31,940
通信運搬費	12,680	12,067	613
消耗什器備品費	175,608	4,698	170,910
燃料費	303,480	240,840	62,640
光熱水料費	1,511,027	1,372,115	138,912
自動車関係	43,826	29,452	14,374
賃借料	136,217	307,140	△ 170,923
手数料	69,528	67,331	2,197
保険料	2,587	2,937	△ 350
委託費	1,755,571	1,806,666	△ 51,095
使用料	10,509	11,068	△ 559
支払負担金	255,000	255,000	0
租税公課	415,207	470,020	△ 54,813
			0
經常費用計	335,230,589	328,728,898	16,266,832

科 目	当年度	前年度	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,391,210	△ 3,998,440	△ 3,392,770
基本財産評価損益等			0
特定資産評価損益等			0
投資有価証券評価損益等			0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,391,210	△ 3,998,440	△ 3,392,770
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入益	0	0	0
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
中科目別記載			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,391,210	△ 3,998,440	△ 3,392,770
法人税、住民税及び事業税	420,300	538,100	△ 117,800
法人税等調整額			0
当期一般正味財産増減額	△ 7,811,510	△ 4,536,540	△ 3,274,970
一般正味財産期首残高	23,962,629	28,499,169	△ 4,536,540
一般正味財産期末残高	16,151,119	23,962,629	△ 7,811,510
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産受取利息	123,000	123,000	0
基本財産受取利息	123,000	123,000	
一般正味財産への振替額	△ 123,000	△ 123,000	0
一般正味財産への振替額	△ 123,000	△ 123,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	46,151,119	53,962,629	△ 7,811,510

平成29年度公益財団法人盛岡市動物公園公社

正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	123,000	0	0	123,000
基本財産受取利息	123,000	0	0	123,000
基本財産受取配当金				0
特定資産運用益	425	13	46	484
退職給付引当資産受取利息	425	13	46	484
事業収益	255,734,669	40,753,583	9,840,818	306,329,070
指定管理料収益	255,236,789	0	9,840,818	265,077,607
受託収益	497,880	0	0	497,880
物品販売収益	0	23,157,385	0	23,157,385
食堂売上収益	0	15,071,558	0	15,071,558
荷物預かり事業収益	0	15,800	0	15,800
ベビーカー貸出収益	0	404,500	0	404,500
自販機手数料収益	0	2,104,340	0	2,104,340
受取補助金等	8,676,061	0	12,146,939	20,823,000
受取地方公共団体補助金	8,676,061	0	12,146,939	20,823,000
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益	481,856	81,829	140	563,825
受取利息	3,492	52	140	3,684
雑収益	478,364	81,777	0	560,141
経常収益計	265,016,011	40,835,425	21,987,943	327,839,379

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
(2) 經常費用				
事業費	273,849,381	39,376,265		313,225,646
給料手当	112,440,567	4,118,519		116,559,086
賃金	10,925,441	8,509,452		19,434,893
退職給付費用(通常分)	6,563,259	270,704		6,833,963
退職給付費用(過年度分)	8,618,478	312,604		8,931,082
賞与引当金繰入額	9,100,801	0		9,100,801
退職金共済費	5,211,000	0		5,211,000
法定福利費	20,073,074	1,497,463		21,570,537
福利厚生費	291,180	10,080		301,260
旅費交通費	619,550	31,080		650,630
通信運搬費	564,994	0		564,994
リース資産減価償却費	930,528	0		930,528
減価償却費	102,967	0		102,967
消耗什器備品費	6,226,212	217,202		6,443,414
修繕費	6,667,944	0		6,667,944
燃料費	5,633,542	0		5,633,542
食糧費				0
印刷製本費	921,804	0		921,804
光熱水料費	12,228,941	2,483,122		14,712,063
自動車関係	2,926,008	0		2,926,008
被服費	482,770	0		482,770
原材料費	382,261	0		382,261
医薬材料費	3,298,091	0		3,298,091
動物飼料費	20,388,438	0		20,388,438
図書購入費	95,828	0		95,828
諸謝金	20,000	0		20,000
研究調査費				0
手数料	1,107,116	155,614		1,262,730
保険料	146,513	0		146,513
広告料	671,760	0		671,760
委託費	20,607,206	0		20,607,206
使用料	356,115	0		356,115
賃貸料	254,676	0		254,676
支払負担金	53,000	0		53,000
交通対策費	3,402,537	0		3,402,537

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
商品仕入高	0	14,801,599		14,801,599
材料仕入高	0	5,690,341		5,690,341
期末棚卸高	0	△ 56,000		△ 56,000
期首棚卸高	0	62,772		62,772
租税公課	12,536,780	1,271,713		13,808,493
雑費				0
管理費			22,004,943	22,004,943
役員報酬			3,680,403	3,680,403
給料手当			9,076,266	9,076,266
退職給付費用(通常分)			169,991	169,991
退職給付費用(過年度分)			1,014,772	1,014,772
賞与引当金繰入額			829,036	829,036
退職金共済費			360,000	360,000
法定福利費			2,058,183	2,058,183
福利厚生費			30,542	30,542
会議費			1,170	1,170
旅費交通費			93,340	93,340
通信運搬費			12,680	12,680
消耗什器備品費			175,608	175,608
燃料費			303,480	303,480
光熱水料費			1,511,027	1,511,027
自動車関係			43,826	43,826
賃借料			136,217	136,217
手数料			69,528	69,528
保険料			2,587	2,587
委託費			1,755,571	1,755,571
支払負担金			255,000	255,000
使用料			10,509	10,509
租税公課			415,207	415,207
				0
<b>經常費用計</b>	<b>273,849,381</b>	<b>39,376,265</b>	<b>22,004,943</b>	<b>335,230,589</b>
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 8,833,370	1,459,160	△ 17,000	△ 7,391,210
基本財産評価損益等				0
特定資産評価損益等				0
投資有価証券評価損益等				0
評価損益等計	0	0	0	0
<b>当期經常増減額</b>	<b>△ 8,833,370</b>	<b>1,459,160</b>	<b>△ 17,000</b>	<b>△ 7,391,210</b>

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
中科目別記載				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	728,499	△ 728,499	0	0
他会計振替額	728,499	△ 728,499		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,104,871	730,661	△ 17,000	△ 7,391,210
法人税、住民税及び事業税	0	348,300	72,000	420,300
法人税等調整額				0
法人税等調整額				0
当期一般正味財産増減額	△ 8,104,871	382,361	△ 89,000	△ 7,811,510
一般正味財産期首残高	22,600,214	1,127,415	235,000	23,962,629
一般正味財産期末残高	14,495,343	1,509,776	146,000	16,151,119
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	123,000	0	0	123,000
基本財産受取利息	123,000			123,000
一般正味財産への振替額	△ 123,000	0	0	△ 123,000
一般正味財産への振替額	△ 123,000			△ 123,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000			30,000,000
指定正味財産期末残高	30,000,000	0	0	30,000,000
III 正味財産期末残高	44,495,343	1,509,776	146,000	46,151,119



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…取得原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

リース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

ソフトウェア…定額法によっている。

什器備品…定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および中小企業退職金共済の見込額に基づき計上しております。

会計基準変更時差異 (79,566,845円) は、定額法により8年で費用処理しております。

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券(基)	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当預金普通預金	50,520,566	16,949,808	45,465,948	22,004,426
退職給付引当預金定期預金	0	45,000,000	0	45,000,000
特定費用準備資金(役員員給与等準備資金)	10,143,000		3,244,000	6,899,000
特定費用準備資金(退職給付引当準備資金)	18,866,737		6,839,000	12,027,737
特定費用準備資金(動物糞尿処分準備資金)	0	5,229,013		5,229,013
小 計	79,530,303	67,178,821	55,548,948	91,160,176
合 計	109,530,303	67,178,821	55,548,948	121,160,176

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券(基)	30,000,000	( 30,000,000 )	( 0 )	( - )
小 計	30,000,000	( 30,000,000 )	( 0 )	( - )
特定資産				
退職給付引当預金	67,004,426	( 0 )	( 0 )	( 67,004,426 )
特定費用準備資金	24,155,750	( 0 )	( 24,155,750 )	( 0 )
小 計	91,160,176	( 0 )	( 24,155,750 )	( 67,004,426 )
合 計	121,160,176	( 30,000,000 )	( 24,155,750 )	( 67,004,426 )

### 4. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

### 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却	当期末残高
リース資産			
自動券売機2台	4,652,640	3,722,112	930,528
小 計	4,652,640	3,722,112	930,528
ソフトウェア			
パスポートバーコードシステム	391,824	84,894	306,930
小 計	391,824	84,894	306,930
什器備品			
介助用電動車いす	340,000	241,585	98,415
小 計	340,000	241,585	98,415
合 計	5,384,464	4,048,591	1,335,873

### 6. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務保証債務はない。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	123,000
経常外収益への振替額	
小 計	123,000

8. 満期保有目的債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
27年第7回千葉県公債	30,000,000	30,678,000	678,000
小 計	30,000,000	30,678,000	678,000

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 公益財団 法人盛岡 市動物公 園公社運 営事業補 助金	盛岡市	0	20,823,000	20,823,000	0	一般正味財産

貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の付属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	30,000,000	0	0	30,000,000
	基本財産計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産	退職給付引当預金				
	普通預金	50,520,566	16,949,808	45,465,948	22,004,426
	定期預金	0	45,000,000	0	45,000,000
	特定費用準備資金				
	普通預金	18,866,737	12,128,013	6,839,000	24,155,750
	定期預金	10,143,000	0	10,143,000	0
	特定資産計	79,530,303	74,077,821	62,447,948	91,160,176

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付 引当金	50,520,566	16,949,808	465,948	0	67,004,426
貸与 引当金	10,394,051	9,929,837	10,394,051	0	9,929,837

財 産 目 録

平成30年3月31日

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金		運転資金として	1,401,821	
			盛岡市動物公園使用料未納付残高	787,000	
	預金	普通預金			
		岩手銀行茶畑支店	運転資金として	14,924,401	
		岩手銀行茶畑支店	運転資金として	1,297,600	
		岩手銀行茶畑支店	運転資金として	3,919,944	
		岩手銀行茶畑支店	従業員等の源泉所得税等	2,075,705	
		岩手銀行茶畑支店	岡部千裕退職金	263,282	
		大和ネクスト銀行	運転資金として	3,247,042	
	未収金	岩手県	公益目的事業・幼傷病野生鳥獣応急治療業務	17,280	
盛岡市		公益目的事業・野生鳥獣保護等業務受託	444,960		
日本放送協会		公益目的事業・NHKラジオ出演料	34,020		
売掛金	佐々正商事ほか8件	収益事業・自販機手数料3月分	66,498		
棚卸資産	777カ園レストハウス	収益事業・米ほか食堂食材5種	56,000		
流動資産合計				28,535,553	
(固定資産)	基本財産		うち、公益目的保有財産		
		投資有価証券	千葉県平成27年度第7回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を催物事業の財源として使用している	30,000,000
	特定資産	預金	普通預金		30,000,000
			岩手銀行茶畑支店	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	14,073,169
			岩手銀行茶畑支店	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,919,774
			岩手銀行茶畑支店	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	6,011,483
			岩手銀行茶畑支店	特定費用準備資金(退職給付引当準備資金)	12,027,737
					12,027,737
			岩手銀行茶畑支店	特定費用準備資金(役職員給与等準備資金)	6,899,000
			6,753,000		
	その他 固定資産	リース資産 ソフトウェア 什器備品	定期預金		
			大和ネクスト銀行	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	45,000,000
			自動券売機2台		930,528
バスポートバーコードシステム			公益目的保有財産であり、飼育展示事業に使用している	306,930	
	介助用車いす		98,415		
固定資産合計				122,496,049	
資産合計				151,031,602	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	3月分時間外手当 他76件	公益目的事業・従業員、消費税等の支払残高	21,029,035
	未払金	3月分時間外手当 他3件	収益事業・従業員、消費税等の支払残高	1,015,772
	未払金	3月分時間外手当 他15件	法人会計・従業員、消費税等の支払残高	485,564
	未払法人税			420,300
	買掛金	(株)モリレイ他16 件	収益事業販売物品・食材等仕入代	1,202,316
	預り金	役員・従業員に対す るもの	源泉所得税、社会保険料等	2,075,705
	預り金		盛岡市動物公園使用料未納付残高	787,000
	賞与引当金		支給見込額の当期負担分	9,929,837
流動負債合計				36,945,529
(固定負債)	長期未払金	自動券売機2台	リース資産に対応する負債	930,528
	退職給付引 当金	従業員に対するもの	従業員に対する退職金の支払いに備えたもの	67,004,426
固定負債合計				67,934,954
負債合計				104,880,483
正味財産				46,151,119

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 事業計画

本動物公園は、動物はもとより、広く自然環境に対する基本的な認識を深めることにより、市民がその教養を高める「社会教育施設」として、また、市民生活における有意義な余暇利用の需要を満たすことができる「レクリエーションの核となる施設」として設置されたものである。

近年、多くの種の存続が危ぶまれており、「種の保存」や「自然環境保全」、「環境教育」の重要性がさげばれているなか、本動物公園においては、野生動物に関する専門施設としての社会的使命と、定款第3条に掲げる目的を果たすため及び来園者のニーズに応えた魅力ある事業の運営を着実に遂行するため、平成30年度の事業計画を次のとおり定める。

#### ア 事業運営の基本方針

- (ア) 公益財団法人として市民の期待に応えるため公益目的事業を盛岡市と協働して積極的に展開するとともに、事務事業の効率化や経営改善を図るほか、各種事業に係る財源の確保及び経営安定化のため収益事業の拡大を目指すものとする。
- (イ) 動物公園が社会教育の場及びレクリエーションの場として、広範な市民に利用されるよう、施設並びに利便性を改善するとともに、情報発信による積極的なPRに努め、施設の十分な活用を図る。
- (ウ) 動物公園が有する専門的機能を十分活用し、動物及びそれらを取りまく自然環境に関する調査・研究活動を行う。
- (エ) 動物展示や各種催し物、園内での自然観察会等を通して動物や自然に親しんでいただくとともに、それらの知識の普及を図る。
- (オ) 盛岡市の施策や動物公園の設置趣旨及び平成26年度から30年度までの「公益財団法人盛岡市動物公園公社経営計画」に掲げる数値目標の達成に向け、随時検証しながら効率的な運営に努めるとともに、策定の可否を含め次期「経営計画」を検討するものとする。

#### イ 事業の内容

##### (ア) 公益目的事業

##### A. 飼育展示事業

動物公園の基本事業となるもので、実物の動物を見せることにより、その実在を再認識させるとともに、それらを用いた知識の普及や情報の提供を行

う。

- a. 動物の健全な飼育管理の維持
- b. 計画的な繁殖による、動物の補充
  - ・ 8月にグレビーシマウマの出産が見込まれるので、これに備える。
  - ・ アフリカゾウの繁殖を実現するために、繁殖周期の把握、適正なペアリングを行う。また、ライオンの繁殖を目指す。
  - ・ ニホンイヌワシの血統管理のため他園から導入したオスによる繁殖を、また他園から導入したアルパカのオスにより繁殖を目指す。
- c. 自然に近い状態の生態展示
  - ・ 自然に近い状態の生態を再現するべく日常的に業務を実施するとともに、動物ガイド等の催物を通して動物の生態に関する来園者の理解を深めるほか、その種ならではの行動を引き出す環境エンリッチメントを展開する。
  - ・ 生体展示を補完するものとして、パネル資料、剥製、骨格標本の展示、図書類の開架閲覧を行う。
- d. 研究活動に供する動物や、自然保護活動の一環として保護収容された野生動物の飼育管理
- e. 極めて稀少な日本産の野生動物の生息域外保全
  - ・ ツシマヤマネコの飼育展示及びツシマヤマネコデーやツシマヤマネコパネル展を実施する。
- f. 来園者に快適な観覧環境を提供するための施設・設備の維持管理
  - ・ 盛岡市動物公園の指定管理者として、飼育舎、遊具等の施設管理、園内の清掃その他施設・設備の保守点検及び坂道シャトルカーの運行等の管理業務を行う。
- g. 条例で定められている入園料等動物公園使用料の徴収・納付及びそれらに付随する来園者案内サービス

## B. 催物等事業

明るく楽しい、魅力あふれる動物公園であるよう、自然や動物にちなんだ様々な催し物を企画する。

- a. 家族で楽しむ、動物に親しみや関心をもってもらうことを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした事業を実施する。  
(例) 動物クイズ、動物ガイド、動物公園まつり(春、秋)、動物に関する工作会等
- b. 動物とのふれあいの充実を図ることを目的に、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした事業を実施する。  
(例) ウサギをだっこ、ポニー乗馬、餌をあげよう、飼育体験、動物



の素材を使った工作会等

- c. 自然を素材に遊ぶ機会を提供するため、大人、子供、家族連れ、及び一般来園者を対象とした事業を実施する。

(例) 自然観察ガイド、園内の植物や昆虫などを使った工作会、ホテルの夕べ、野遊びフェスティバル、昆虫採集大会等

### C. 教育普及事業

動物や自然に関する知識の普及と適切な情報提供により、「自然科学に対する興味の喚起」と「自然環境に関する問題意識の啓発」を目的とするもので、その独創性や発展性を追求し事業を展開する。

- a. 主に幼稚園、保育園及び小中学校を対象とした体験学習

・飼育員による動物のガイド、動物教室、自然観察、動物の貸出し、ふれあい教室、講習会等を実施する。

- b. 学校教育との連携

・飼育・獣医実習生の受入れ、講習会、ガイド、動物の貸出し、ふれあい教室を実施する。

- c. 動物公園愛好者を対象に、より深く動物や動物公園の知識を深め活動に参加してもらう会員組織の運営

・動物公園友の会

- d. 動物や自然に関する知識を普及するためのクラブ活動の運営

・昆虫採集クラブ

- e. 動植物や自然一般の知識・話題の市民への情報提供

・岩手県や盛岡市などの行政機関、大学等の研究機関、マスメディア、一般市民等からの依頼による各種講座・講演会への講師派遣や、ラジオ等マスメディアへの出演等を行う。

### D. 調査・研究事業

飼育展示及び教育普及事業の資質向上と自然保護活動の一端を担うことを目的として、飼育展示動物等に関する研究、各種研究会等への参加、各種情報の調査・収集を行う。

- a. データーの収集整理を行うとともに園内研究会を開催し、優れたものについて全国の研究会や学会誌等に発表

・ゾウ会議、日本動物園水族館協会飼育技術者研究会等

- b. 全国の関係機関で開催する研究会・研修会等に参加し行う情報の収集及び情報交換

- c. 研究活動を補助するための図書・学会誌・文献等の収集

### E. 野生生物保全関連事業

地域貢献を目的とした「地域社会と自然環境保全」に関わる活動として、

実施主体である関係機関からの依頼に協力する。

- ① 幼傷病鳥獣救護事業
- ② 特別天然記念物カモシカの保護収容事業
- ③ カモシカの保護管理対策及び調査事業
- ④ 天然記念物イヌワシの保全事業
- ⑤ ツキノワグマの有害獣対策並びに保全事業
- ⑥ ツキノワグマ保護管理対策並びに調査事業

#### (イ) 収益事業

動物公園を利用する入園者に対して，“快適さ・便利さ”を提供するための業務を行う。収益事業施設に対するリピーターの利用の促進を図るため、売店及び食堂でパスポート入園券の提示者に対する割引販売（1割引）を行う。

- ① 売店の運営（動物資料館前，アフリカ園レストハウスの2箇所）
- ② レストハウスの運営（アフリカ園前，ビクトリアコーナーの2箇所）
- ③ 自動販売機の設置（23台）
- ④ 有料ベビーカーの貸出し（つどいの広場前1箇所）
- ⑤ 有料コインロッカーの管理（つどいの広場前1箇所）

#### (ウ) 広報宣伝活動

動物公園の利用促進のためのポスターや動物教室利用案内等を制作し，県内幼稚園・保育園，小・中学校等に配布するとともに，市内児童館や県内道の駅等でのポスター掲示を依頼する。

ホームページの管理運営に加え，ツイッター，フェイスブック等SNSも活用し，インターネット上の情報発信を積極的に行う。

来園者増加策として，新聞・ラジオ・フリーペーパー等の有償広告を実施し，小学校低学年以下の子供を持つ家庭への積極的なPRを図る。

#### (エ) 平成30年度目標数値について

平成30年度における目標数値は，入園者数を17万人，催事参加者数を13万6,000人（入園者数の80パーセント）とする。

## (2) 収支予算の概要

## 平成30年度公益財団法人盛岡市動物公園公社収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	123,000	0	0	123,000
基本財産受取利息	123,000			123,000
基本財産受取配当金	0			0
特定資産運用益	0	0	0	0
退職給付引当資産受取利息				0
事業収益	255,438,000	39,349,000	9,842,000	304,629,000
指定管理料収益	255,134,000		9,842,000	264,976,000
受託収益	304,000			304,000
物品販売収益		22,672,000		22,672,000
食堂売上収益		14,112,000		14,112,000
荷物預かり事業収益		17,000		17,000
ベビーカー貸出収益		392,000		392,000
自販機手数料収益		2,156,000		2,156,000
受取補助金等	7,768,000	0	13,055,000	20,823,000
受取地方公共団体補助金	7,768,000		13,055,000	20,823,000
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金				0
雑収益	2,000	27,000	0	29,000
受取利息	2,000	1,000		3,000
雑収益	0	26,000		26,000
経常収益計	263,331,000	39,376,000	22,897,000	325,604,000

科目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
(2) 經常費用				
事業費	280,282,000	38,271,000		318,553,000
給料手当	122,804,000	4,440,000		127,244,000
賃金	9,529,000	8,510,000		18,039,000
退職給付費用(通常分)	7,918,000	271,000		8,189,000
退職給付費用(過年度分)	8,619,000	313,000		8,932,000
賞与引当金繰入額	9,113,000			9,113,000
退職金共済費	5,232,000			5,232,000
法定福利費	21,347,000	1,548,000		22,895,000
福利厚生費	279,000	11,000		290,000
旅費交通費	624,000	5,000		629,000
通信運搬費	592,000			592,000
リース資産減価償却費	931,000			931,000
減価償却費	103,000			103,000
消耗什器備品費	2,271,000	100,000		2,371,000
修繕費	600,000	100,000		700,000
燃料費	6,419,000	10,000		6,429,000
食糧費	0	5,000		5,000
印刷製本費	1,018,000	10,000		1,028,000
光熱水料費	11,884,000	2,613,000		14,497,000
自動車関係	2,791,000			2,791,000
被服費	501,000			501,000
原材料費	548,000			548,000
医薬材料費	1,500,000			1,500,000
動物飼料費	21,236,000			21,236,000
図書購入費	126,000			126,000
諸謝金	20,000			20,000
研究調査費	30,000			30,000
手数料	1,205,000	88,000		1,293,000
保険料	144,000			144,000
広告料	800,000	10,000		810,000
委託費	24,848,000			24,848,000
使用料	341,000			341,000
貸借料	163,000			163,000
支払負担金	77,000			77,000
交通対策費	3,991,000			3,991,000
商品仕入高		14,511,000		14,511,000

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
材料仕入高		4,415,000		4,415,000
盛岡市寄付金				0
租税公課	12,678,000	1,306,000		13,984,000
雑費		5,000		5,000
管理費			22,971,000	22,971,000
役員報酬			3,711,000	3,711,000
給料手当			9,262,000	9,262,000
賃金			0	0
退職給付費用(通常分)			171,000	171,000
退職給付費用(過年度分)			1,015,000	1,015,000
賞与引当金繰入額			843,000	
退職金共済費			360,000	360,000
福利厚生費				0
法定福利費			2,173,000	2,173,000
福利厚生費			31,000	31,000
会議費			9,000	9,000
旅費交通費			126,000	126,000
通信運搬費			13,000	13,000
消耗什器備品費			5,000	5,000
燃料費			438,000	438,000
光熱水料費			1,438,000	1,438,000
自動車関係			72,000	72,000
賃借料			36,000	36,000
手数料			106,000	106,000
保険料			3,000	3,000
委託費			1,831,000	1,831,000
使用料			11,000	11,000
支払負担金			255,000	255,000
租税公課			1,057,000	1,057,000
雑費			5,000	5,000
経常費用計	280,282,000	38,271,000	22,971,000	341,524,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△16,951,000	1,105,000	△74,000	△15,920,000
基本財産評価損益等				0
特定資産評価損益等				0
投資有価証券評価損益等				0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△16,951,000	1,105,000	△74,000	△15,920,000

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
中科目別記載				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
中科目別記載				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	553,000	△553,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	△16,398,000	552,000	△74,000	△15,920,000
法人税、住民税及び事業税		320,000	72,000	392,000
法人税等調整額				0
当期一般正味財産増減額	△16,398,000	232,000	△146,000	△16,312,000
一般正味財産期首残高	9,266,330	1,458,280	146,000	10,870,610
一般正味財産期末残高	△7,131,670	1,690,280	0	△5,441,390
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	360,000			360,000
一般正味財産への振替額	△360,000			△360,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000			30,000,000
指定正味財産期末残高	30,000,000	0	0	30,000,000
III 正味財産期末残高	22,868,330	1,690,280	0	24,558,610

平成30年度収支予算書事業別明細書  
公益目的事業会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	123,000	123,000	0	
基本財産受取利息	123,000	123,000	0	
基本財産受取配当金	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	
事業収益	255,438,000	255,213,000	225,000	
指定管理料収益	255,134,000	254,909,000	225,000	
受託収益	304,000	304,000	0	野生動物保護関連業務
物品販売収益	0	0	0	
食堂売上収益	0	0	0	
荷物預かり事業収益	0	0	0	
ペピーカー貸出収益	0	0	0	
自販機手数料収益	0	0	0	
受取補助金等	7,768,000	7,881,000	△ 113,000	
受取地方公共団体補助金	7,768,000	7,881,000	△ 113,000	退職金関連費用充当分
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	2,000	2,000	0	
受取利息	2,000	2,000	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	263,331,000	263,219,000	112,000	

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
(2) 経常費用				
事業費	280,282,000	271,239,000	9,043,000	
給料手当	122,804,000	128,653,000	△ 5,849,000	職員・非常勤職員
賃金	9,529,000	9,172,000	357,000	事務補助、料金徴収等
退職給付費用(通常分)	7,918,000	6,593,000	1,325,000	H29退職負債増加分
退職給付費用(過年度分)	8,619,000	8,619,000	0	H24基準負債計上額
賞与引当金繰入額	9,113,000		9,113,000	
退職金共済費	5,232,000	5,232,000	0	中退共積立金
法定福利費	21,347,000	21,152,000	195,000	
福利厚生費	279,000	297,000	△ 18,000	
旅費交通費	624,000	582,000	42,000	日動水技術者研究会等
通信運搬費	592,000	591,000	1,000	電話・各種輸送費
リース資産減価償却費	931,000	931,000	0	自動券売機
減価償却費	103,000	25,000	78,000	寄贈車椅子
消耗什器備品費	2,271,000	2,053,000	218,000	来園者用WiFi環境整備等
修繕費	600,000	600,000	0	
燃料費	6,419,000	6,414,000	5,000	灯油、A重油
食糧費	0	0	0	
印刷製本費	1,018,000	890,000	128,000	リーフレット等
光熱水料費	11,884,000	11,772,000	112,000	電気水道ガス
自動車関係	2,791,000	2,791,000	0	車両燃料、点検費等
被服費	501,000	488,000	13,000	作業服等
原材料費	548,000	548,000	0	
医薬材料費	1,500,000	1,492,000	8,000	獣医業務
動物飼料費	21,236,000	21,236,000	0	
図書購入費	126,000	126,000	0	専門図書・雑誌等
諸謝金	20,000	20,000	0	絵画コンテスト審査員謝礼
研究調査費	30,000	30,000	0	文献複写費用等
手数料	1,205,000	1,097,000	108,000	為替、健診費等
保険料	144,000	144,000	0	損害保険料
広告料	800,000	1,400,000	△ 600,000	ラジオCM等
委託費	24,848,000	21,348,000	3,500,000	動物糞尿処分
使用料	341,000	419,000	△ 78,000	複写機使用料等
賃借料	163,000	163,000	0	照明器具等
支払負担金	77,000	76,000	1,000	研究会参加費等
交通対策費	3,991,000	3,808,000	183,000	大型連休対応
租税公課	12,678,000	12,477,000	201,000	消費税等
経常費用計	280,282,000	271,239,000	9,043,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,951,000	△ 8,020,000	△ 8,931,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 16,951,000	△ 8,020,000	△ 8,931,000	



(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	553,000	438,000	115,000	収益等事業会計より振替
税引前当期一般正味財産増減額	△ 16,398,000	△ 7,582,000	△ 8,816,000	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
法人税等調整額				
当期一般正味財産増減額	△ 16,398,000	△ 7,582,000	△ 8,816,000	
一般正味財産期首残高	9,266,330	19,260,330	△ 9,994,000	
一般正味財産期末残高	△ 7,131,670	11,678,330	△ 18,810,000	△ 7,131,670
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0	
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	22,868,330	41,678,330	△ 18,810,000	

平成30年度収支予算書事業別明細書  
収益事業等会計

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
基本財産受取配当金	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	
事業収益	39,349,000	38,815,000	534,000	
指定管理料収益	0	0	0	
受託収益	0	0	0	
物品販売収益	22,672,000	22,620,000	52,000	売店2カ所
食堂売上収益	14,112,000	13,630,000	482,000	食堂2カ所
荷物預かり事業収益	17,000	17,000	0	コインロッカー
ベビーカー貸出収益	392,000	392,000	0	
自販機手数料収益	2,156,000	2,156,000	0	飲料等
受取補助金等	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	27,000	27,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	26,000	26,000	0	NTTドコモ基地局電気使用料
経常収益計	39,376,000	38,842,000	534,000	
(2) 経常費用				
事業費	38,271,000	37,967,000	304,000	
給料手当	4,440,000	4,395,000	45,000	職員1名
賃金	8,510,000	8,542,000	△ 32,000	売店・食堂臨時補助員
退職給付費用(通常分)	271,000	266,000	5,000	H30退職負債増加分
退職給付費用(過年度分)	313,000	313,000	0	H24基準負債計上額
法定福利費	1,548,000	1,546,000	2,000	
福利厚生費	11,000	11,000	0	
旅費交通費	5,000	5,000	0	日帰り旅費
消耗什器備品費	100,000	100,000	0	
修繕費	100,000	100,000	0	
燃料費	10,000	10,000	0	
食糧費	5,000	5,000	0	
印刷製本費	10,000	10,000	0	
光熱水料費	2,613,000	2,565,000	48,000	電気水道ガス
手数料	88,000	88,000	0	
広告料	10,000	10,000	0	
委託費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
支払負担金	0	0	0	
商品仕入高	14,511,000	14,295,000	216,000	
材料仕入高	4,415,000	4,415,000	0	
盛岡市寄付金	0	0	0	
租税公課	1,306,000	1,286,000	20,000	消費税等
雑費	5,000	5,000	0	
経常費用計	38,271,000	37,967,000	304,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	1,105,000	875,000	230,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	1,105,000	875,000	230,000	

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	△ 553,000	△ 438,000	△ 115,000	公益目的事業会計へ振替
税引前当期一般正味財産増減額	552,000	437,000	115,000	
法人税、住民税及び事業税	320,000	262,000	58,000	
法人税等調整額				
当期一般正味財産増減額	232,000	175,000	57,000	
一般正味財産期首残高	1,458,280	1,283,280	175,000	
一般正味財産期末残高	1,690,280	1,458,280	232,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,690,280	1,458,280	232,000	

平成30年度収支予算書事業別明細書  
法人会計

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
基本財産受取配当金	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
退職給付引当資産受取利息	0	0	0	
事業収益	9,842,000	10,067,000	△ 225,000	
指定管理料収益	9,842,000	10,067,000	△ 225,000	
受託収益	0	0	0	
物品販売収益	0	0	0	
食堂売上収益	0	0	0	
荷物預かり事業収益	0	0	0	
ペピーカー貸出収益	0	0	0	
自販機手数料収益	0	0	0	
受取補助金等	13,055,000	12,942,000	113,000	
受取地方公共団体補助金	13,055,000	12,942,000	113,000	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	22,897,000	23,009,000	△ 112,000	
(2) 経常費用				
管理費	22,971,000	23,021,000	△ 50,000	
役員報酬	3,711,000	3,911,000	△ 200,000	評議員、理事、監事
給料手当	9,262,000	9,814,000	△ 552,000	職員1、非常勤職員1
賃金	0	0	0	
退職給付費用(通常分)	171,000	158,000	13,000	H30退職負債増加分
退職給付費用(過年度分)	1,015,000	1,015,000	0	H24基準負債計上額
貸与引当金繰入額	843,000	0	843,000	
退職金共済費	360,000	360,000	0	
法定福利費	2,173,000	2,128,000	45,000	
福利厚生費	31,000	31,000	0	
会費	9,000	9,000	0	理事会、評議員会
旅費交通費	126,000	91,000	35,000	日動水総会旅費
通信運搬費	13,000	13,000	0	
消耗什器備品費	5,000	8,000	△ 3,000	
燃料費	438,000	437,000	1,000	資料館暖房費
光熱水料費	1,438,000	1,455,000	△ 17,000	電気水道ガス
自動車関係	72,000	79,000	△ 7,000	
賃借料	36,000	308,000	△ 272,000	複合機配賦額
手数料	106,000	101,000	5,000	
保険料	3,000	3,000	0	
委託費	1,831,000	1,769,000	62,000	経理業務、ボイラー保守
使用料	11,000	14,000	△ 3,000	
支払負担金	255,000	255,000	0	日動水年会費等
租税公課	1,057,000	1,057,000	0	
雑費	5,000	5,000	0	
経常費用計	22,971,000	23,021,000	△ 50,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 74,000	△ 12,000	△ 62,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 74,000	△ 12,000	△ 62,000	

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額				
税引前当期一般正味財産増減額	△ 74,000	△ 12,000	△ 62,000	
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0	
法人税等調整額				
当期一般正味財産増減額	△ 146,000	△ 84,000	△ 62,000	
一般正味財産期首残高	146,000	230,000	△ 84,000	
一般正味財産期末残高	0	146,000	△ 146,000	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	0	146,000	△ 146,000	

# 公益財団法人 岩手育英会

## 1 総括事項

- (1) 名称 公益財団法人 岩手育英会
- (2) 設立年月日 明治31年10月25日 (法人登記 大正14年9月10日)
- (3) 資本金又は基本財産 金 94,256,049円
- (4) 市の出資額 金 68,000,000円

- (5) 役員の名
- |      |        |
|------|--------|
| 代表理事 | 千葉 仁一  |
| 評議員  | 藤澤 和義  |
| 評議員  | 菊地 誠   |
| 評議員  | 田中 吉兵衛 |
| 評議員  | 佐藤 義見  |
| 評議員  | 及川 晃貴  |
| 理事   | 戸田 洋子  |
| 理事   | 小野 信太郎 |
| 理事   | 北條 浩之  |
| 監事   | 小瀬川 潤  |
| 監事   | 大倉 慎澄  |

(平成30年4月1日現在)

## (6) 事業の概要

岩手県に本籍を置く大学生、短大生で学費に乏しい者へ、修学に要する費用の支援を行うことにより、その学業を成就させることを目的とする。

奨学金貸与開始年度の直前の2月から3月までの間の岩手育英会の定める期間に奨学生を募集し、選考の上決定した奨学生に奨学金の貸与及び給付をしている。

(ア) 奨学金貸与事業

(イ) 奨学金給付事業

## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### (1) 事業実績

平成29年度は、応募者が5名であったので、奨学生選考委員会を開催し、4名を新貸与者として採用した。平成29年度の貸与者総数は14名となり、県外の大学生11名に月額30,000円、県内の大学生3名に月額15,000円を貸与した。償還については、償還義務者22名のうち20名から総額3,509,000円(前年総額3,593,000円)の償還があった。

平成29年度中に完済した者が2名であった。

## (2)決算の状況

平成29年度収支決算書  
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実績額	予算額	差異	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	599,146	1,011,808	412,662	国債利息等
基本財産運用収入	599,146	1,011,808	412,662	
② 事業収入	3,509,000	3,773,600	264,600	
貸与奨学金返還収入	3,509,000	3,773,600	264,600	償還者22名中20名からの返還
③ 補助金収入	195,000	195,000	0	
補助金収入	195,000	195,000	0	盛岡市補助金
④ 寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
⑤ 雑収入	220	4,000	3,780	
受取利息	220	4,000	3,780	運用財産預金利息
事業活動収入計	4,303,366	4,984,408	681,042	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	5,099,922	5,516,108		
奨学金貸与支出	4,500,000	4,500,000	0	月額30,000円×11名×12月 月額15,000円×3名×12月
臨時雇賃金	138,996	135,000	△ 3,996	臨時雇賃金@7,020×19.8日分
法定福利費	437	900	463	臨時職員の労働保険料
消耗品費	184	9,000	8,816	事務用品購入費
口座振替手数料	19,224	25,920	6,696	奨学金の償還を口座振替にした場合の手数料 1件108円(17名×1月+16名×1月+15名×5月 +14名×5月)
口座振込手数料	37,152	36,288	△ 864	毎月奨学金を振込む際の手数料 その他振込手数料
通信費	3,929	9,000	5,071	はがき・切手代
入学一時金	400,000	800,000	400,000	
② 管理費支出	194,444	194,700		
臨時雇賃金	15,444	15,000	△ 444	臨時雇賃金@7,020×2.2日分
法定福利費	49	100	51	臨時職員の労働保険料
支払報酬	129,600	129,600	0	会計関係帳票等作成報酬
消耗品費	20	1,000	980	事務用品購入費
広告宣伝費	19,440	19,000	△ 440	公益法人情報公開共同サイト利用料
会議費	2,052	3,500	1,448	会議室使用料等
租税公課	22,000	22,000	0	法人県民税
通信費	437	1,000	563	はがき・切手代
雑費	5,402	3,500	△ 1,902	残高証明等手数料等
事業活動支出計	5,294,366	5,710,808	416,442	
事業活動収支差額	△ 991,000	△ 726,400	264,600	



科 目	実績額	予算額	差異	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
① 固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 固定資産取得支出	0	0	0	
基本財産組入支出	0	0	0	
② 投資有価証券取得支出	86,594	0	△ 86,594	
投資有価証券取得支出	86,594	0	△ 86,594	国債購入額と額面金額との差額を原価償却
投資活動支出計	86,594	0	△ 86,594	
投資活動収支差額	△ 86,594	0	86,594	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
① 借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 1,077,594	△ 726,400	351,194	
前期繰越収支差額	10,969,950	10,577,560	△ 392,390	
次期繰越収支差額	9,892,356	9,851,160	△ 41,196	

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	599,146	623,778	△ 24,632
受取補助金			
受取補助金	195,000	195,000	0
雑収益			
受取利息	220	1,491	△ 1,271
経常収益計	794,366	820,269	△ 25,903
(2) 経常費用			
① 事業費	599,922	592,940	6,982
入学一時金	400,000	400,000	0
臨時雇賃金	138,996	135,630	3,366
法定福利費	437	466	△ 29
通信費	3,929	4,606	△ 677
消耗品費	184	4,610	△ 4,426
口座振替手数料	19,224	19,980	△ 756
口座振込手数料	37,152	27,648	9,504
② 管理費	194,444	227,329	△ 32,885
臨時雇賃金	15,444	15,070	374
法定福利費	49	52	△ 3
通信費	437	512	△ 75
消耗品費	20	513	△ 493
租税公課	22,000	22,000	0
支払報酬	129,600	156,600	△ 27,000
広告宣伝費	19,440	19,440	0
会議費	2,052	7,624	△ 5,572
雑費	5,402	5,518	△ 116
経常費用計	794,366	820,269	△ 25,903
当期経常増減額	0	0	0
<b>2 経常外増減の部</b>			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
貸倒損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	39,369,151	39,369,151	0
一般正味財産期末残高	39,369,151	39,369,151	0
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	466,206	440,967	25,239
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金			0
一般正味財産への振替額	△ 599,146	△ 623,778	24,632
当期指定正味財産増減額	△ 132,940	△ 182,811	49,871
指定正味財産期首残高	99,684,787	99,867,598	△ 182,811
指定正味財産期末残高	99,551,847	99,684,787	△ 132,940
<b>III 正味財産期末残高</b>	138,920,998	139,053,938	△ 132,940

正味財産増減計算書内訳表  
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息振替額	599,146	0	599,146
受取補助金			
受取補助金	556	194,444	195,000
雑収益			
受取利息	220	0	220
<b>経常収益計</b>	<b>599,922</b>	<b>194,444</b>	<b>794,366</b>
(2) 経常費用			
① 事業費	599,922		599,922
入学一時金	400,000		
臨時雇賃金	138,996		138,996
法定福利費	437		437
通信費	3,929		3,929
消耗品費	184		184
口座振替手数料	19,224		19,224
口座振込手数料	37,152		37,152
② 管理費		194,444	194,444
臨時雇賃金		15,444	15,444
法定福利費		49	49
通信費		437	437
消耗品費		20	20
租税公課		22,000	22,000
支払報酬		129,600	129,600
広告宣伝費		19,440	19,440
会議費		2,052	2,052
雑費		5,402	5,402
<b>経常費用計</b>	<b>599,922</b>	<b>194,444</b>	<b>794,366</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
貸倒損失	0		0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
一般正味財産期首残高			39,369,151
一般正味財産期末残高			39,369,151
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	466,206		466,206
一般正味財産への振替額	△ 599,146		△ 599,146
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 132,940</b>	<b>0</b>	<b>△ 132,940</b>
指定正味財産期首残高			99,684,787
指定正味財産期末残高			99,551,847
<b>III 正味財産期末残高</b>			<b>138,920,998</b>

貸借対照表  
平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	143,280	143,262	18
流動資産合計	143,280	143,262	18
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産預金	20,440,784	40,784	20,400,000
投資有価証券	73,815,265	94,301,859	△ 20,486,594
基本財産合計	94,256,049	94,342,643	△ 86,594
(2)特定資産			
奨学金貸与金	23,869,400	22,878,400	991,000
奨学金貸与資金	14,581,748	15,219,174	△ 637,426
奨学金給付資金	6,200,121	6,600,059	△ 399,938
特定資産合計	44,651,269	44,697,633	△ 46,364
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	138,907,318	139,040,276	△ 132,958
資産合計	139,050,598	139,183,538	△ 132,940
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	129,600	129,600	0
流動負債合計	129,600	129,600	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	129,600	129,600	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
出資金	98,840,784	98,840,784	0
基本財産運用益	711,063	844,003	△ 132,940
指定正味財産合計	99,551,847	99,684,787	△ 132,940
(うち基本財産への充当額)	94,256,049	94,342,643	△ 86,594
(うち特定資産への充当額)	5,295,798	5,342,144	△ 46,346
2. 一般正味財産	39,369,151	39,369,151	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	39,355,471	39,355,489	△ 18
正味財産合計	138,920,998	139,053,938	△ 132,940
負債及び正味財産合計	139,050,598	139,183,538	△ 132,940

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっております。なお、取得価額と債券金額との差額については、償却原価法によっております。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
基本財産預金	40,784	20,400,000	0	20,440,784
投資有価証券	94,301,859	5,133	20,491,727	73,815,265
小計	94,342,643	20,405,133	20,491,727	94,256,049
<b>特定資産</b>				
奨学金貸与金	22,878,400	4,500,000	3,509,000	23,869,400
奨学金貸与資金	15,219,174	4,256,940	4,894,366	14,581,748
奨学金給付資金	6,600,059	62	400,000	6,200,121
小計	44,697,633	8,757,002	8,803,366	44,651,269
合計	139,040,276	29,162,135	29,295,093	138,907,318

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
基本財産預金	20,440,784	( 20,440,784 )	( )	-
投資有価証券	73,815,265	( 73,815,265 )	( )	-
小計	94,256,049	( 94,256,049 )	( )	-
<b>特定資産</b>				
奨学金貸与金	23,869,400	( )	( 23,869,400 )	( )
奨学金貸与資金	14,581,748	( )	( 14,581,748 )	( )
奨学金給付資金	6,200,121	( 5,295,798 )	( 904,323 )	( )
小計	44,651,269	( 5,295,798 )	( 39,355,471 )	( 0 )
合計	138,907,318	( 99,551,847 )	( 39,355,471 )	( 0 )

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第50回30年利付国債	53,960,705	52,659,300	△ 1,301,405
第51回30年利付国債	19,854,560	17,902,000	△ 1,952,560
		0	0
合計	73,815,265	70,561,300	△ 3,253,965

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 選手育成会運営費補助事業補助金	盛岡市	0	195,000	195,000	0	-
合計		0	195,000	195,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額 基本財産運用益	599,146
合計	599,146

7. 属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載していることより、内容省略。

(2) 引当金の明細

なし

財産目録  
平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	定期預金 岩手銀行	運転資金として	143,280
流動資産合計				143,280
(固定資産)	基本財産	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	40,784
		普通預金	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	20,400,000
	投資有価証券	第50回30年利付国債	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	53,960,705
		第51回30年利付国債	公益目的保有財産であり、運用益は全て公益目的事業の財源として使用している。	19,854,560
特定資産	奨学金貸与金	奨学金貸与金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	23,869,400
	奨学金貸与資金	普通預金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	14,581,748
	奨学金給付資金	普通預金	奨学金の貸与・給付事業の用に供している。	6,200,121
固定資産合計				138,907,318
資産合計				139,050,598
(流動負債)	未払金	会計事務所に対するもの	会計事務所に対するものは法人会計に係るものである。	129,600
流動負債合計				129,600
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				129,600
正味財産				138,920,998

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### I 事業計画

##### 1 概要

岩手県に本籍を置く学費に乏しい学生の勉学を成就させることを目的とし、以下のとおり奨学金貸与事業活動を実施する。

##### 2 事業内容

###### (1) 奨学金貸与事業

ア 奨学生の採用は、県外学生のみの場合、4名程度とする。(ただし、県内学生は、県外学生1人に対し2人とする。)

この場合、県外学生1人につき月額30,000円(県内学生の場合は、1人につき月額15,000円)を貸与し、平成30年度の貸与者総数は17人で、貸与総額は5,760,000円となる見込みである。

イ 奨学金貸与終了後の償還義務者に対し、平成30年8月と平成31年2月に償還状況通知を送付し貸与奨学金の償還に努め、償還予定者21名から年間で3,127,800円の償還がある見込みである。

ウ 事業費は例年通り必要最低限とする。

エ 財産の運用については、引き続き国債を保有することで運用していく。

###### (2) 奨学金給付事業

ア 給付の対象は、採用が決定した新規入学奨学生のうち、入学一時金の給付を希望する者とする。

イ 入学一時金の給付額は一人当たり100,000円とする。平成30年度の給付額は最大で800,000円となる見込みである。

##### 3 会議等

(1) 奨学生選考委員会を平成30年4月下旬に開催し、平成30年度新規奨学生を選考する。

(2) 定期の理事会及び評議員会を平成30年6月に開催し、平成29年度決算等について審議する。

(3) 定期の理事会及び評議員会を平成31年2月に開催し、平成31年度予算及び平成31年度事業計画について審議する。

(4) 必要に応じて理事会を開催し、今後の事業内容等について審議する。また、同様に評議員会等を開催し、審議する。



II 収支予算の概要

収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(損益ベース)

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益(指定正味財産から振替)	1,020,444	1,011,808	8,636	
②寄付金収入	0	0	0	
③受取補助金	195,000	195,000	0	
④受取利息	1,000	4,000	△ 3,000	
経常収益計	1,216,444	1,210,808	5,636	
(2)経常費用				
①事業費				
臨時雇賃金	132,678	135,000	△ 2,322	
法定福利費	900	900	0	
消耗品費	9,000	9,000	0	
口座振替手数料	25,920	25,920	0	
口座振込手数料	44,064	36,288	7,776	
通信費	9,000	9,000	0	
入学一時金	800,000	800,000	0	
事業費合計	1,021,562	1,016,108	5,454	
②管理費				
臨時雇賃金	14,742	15,000	△ 258	
法定福利費	100	100	0	
支払報酬	129,600	129,600	0	
消耗品費	1,000	1,000	0	
広告宣伝費	19,440	19,000	440	
会議費	3,500	3,500	0	
租税公課	22,000	22,000	0	
通信費	1,000	1,000	0	
雑費	3,500	3,500	0	
管理費合計	194,882	194,700	182	
経常費用計	1,216,444	1,210,808	5,636	
当期経常増減額	0	0	0	
経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	39,420,455	39,420,455	0	
一般正味財産期末残高	39,420,455	39,420,455	0	
指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	552,800	552,800	0	
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	△ 1,020,444	△ 1,011,808	△ 8,636	
当期指定正味財産増減額	△ 467,644	△ 459,008	△ 8,636	
指定正味財産期首残高	98,531,457	98,990,465	△ 459,008	
指定正味財産期末残高	98,063,813	98,531,457	△ 467,644	
正味財産期末残高	137,484,268	137,951,912	△ 467,644	

収支予算書内訳表  
平成30年4月1日から平成31年3月31日まで  
(損益ベース)

(単位:円)

科目	予算額	予算額の振り分け		前年度予算額
		公益目的事業会計	法人会計	
経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益(指定正味財産から振替)	1,020,444	1,020,444	0	1,011,808
②寄付金収入	0	0	0	0
③受取補助金等(指定正味財産から振替)	195,000	118	194,882	195,000
④受取利息	1,000	1,000	0	4,000
経常収益計	1,216,444	1,021,562	194,882	1,210,808
(2)経常費用				
①事業費				
臨時雇賃金	132,678	132,678	0	135,000
法定福利費	900	900	0	900
消耗品費	9,000	9,000	0	9,000
口座振替手数料	25,920	25,920	0	25,920
口座振込手数料	44,064	44,064	0	36,288
通信費	9,000	9,000	0	9,000
入学一時金	800,000	800,000	0	800,000
事業費合計	1,021,562	1,021,562	0	1,016,108
②管理費				
臨時雇賃金	14,742	0	14,742	15,000
法定福利費	100	0	100	100
支払報酬	129,600	0	129,600	129,600
消耗品費	1,000	0	1,000	1,000
広告宣伝費	19,440	0	19,440	19,000
会議費	3,500	0	3,500	3,500
租税公課	22,000	0	22,000	22,000
通信費	1,000	0	1,000	1,000
雑費	3,500	0	3,500	3,500
管理費合計	194,882	0	194,882	194,700
経常費用計	1,216,444	1,021,562	194,882	1,210,808
当期経常増減額	0	0	0	0
経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0			0
一般正味財産期首残高	39,420,455			39,420,455
一般正味財産期末残高	39,420,455			39,420,455
指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	552,800			552,800
受取補助金等	0			0
一般正味財産への振替額	△ 1,020,444			△ 1,011,808
当期指定正味財産増減額	△ 467,644			△ 459,008
指定正味財産期首残高	98,531,457			98,990,465
指定正味財産期末残高	98,063,813			98,531,457
正味財産期末残高	137,484,268			137,951,912

# 公益財団法人 盛岡市体育協会

## 1 総括事項

- (1) 名称 公益財団法人 盛岡市体育協会
- (2) 設立年月日 平成24年4月1日
- (3) 資本又は基本財産 金 101,194,000円
- (4) 市の出資額 金 58,000,000円
- (5) 役員氏名
- |      |         |     |         |
|------|---------|-----|---------|
| 会長   | 長 澤 茂   | 副会長 | 宍 戸 豊 治 |
| 専務理事 | 鷹 嘴 徹   | 理事  | 志 賀 達 哉 |
| 理事   | 小 原 正 弘 | 理事  | 藤 村 孝 史 |
| 理事   | 鈴 木 俊 祐 | 理事  | 藤 原 洋 治 |
| 理事   | 高 橋 徹   | 理事  | 高 橋 克 宏 |
| 理事   | 関 口 等   | 理事  | 吉 田 勇 夫 |
| 理事   | 高 橋 武   | 理事  | 佐々木 幸 彦 |
| 理事   | 阿 部 富美雄 | 理事  | 中 野 剛   |
| 監事   | 川 口 節 雄 | 監事  | 小笠原 努   |
| 監事   | 篠 谷 隆   |     |         |

(平成30年4月1日現在)

## (6) 事業の概要

盛岡市における体育・スポーツの一層の振興を図ることにより、市民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に資するとともに、盛岡市における体育・スポーツ諸団体の育成に寄与することを目的として各種事業を行う。

- (ア) スポーツに対する意識の向上に関する事業
- (イ) 市民の体力の向上を図る事業
- (ウ) ジュニアスポーツの振興に関する事業
- (エ) 健康増進及び体育・スポーツの振興のためのスポーツ大会及びスポーツ教室に関する事業
- (オ) 施設の管理運営に関する事業
- (カ) その他この法人の目的を達成するための事業

## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### (1) 事業実績

#### 1 スポーツに対する意識の向上に関する事業

全国大会等出場者を支援するとともに、スポーツに対する意欲、関心の高揚を図るため下記の事業を行った。

- [1] 第72回国民体育本大会・第73回冬季大会へ211名の選手等を派遣した。
- [2] 第69回岩手県民体育大会・第70回冬季大会へ908名を派遣し、544名に助成金を交付した。
- [3] 全国大会へ出場する選手へ「全国大会盛岡市代表選手激励費」を交付し支援した。
- [4] オリンピック・パラリンピックなど国際大会へ出場する選手へ激励費を交付した。
- [5] 市民を対象に「スポーツ講演会」を開催しスポーツ振興を図った。
- [6] 「スポーツ振興功労者表彰式」において、顕著な功績を挙げた者に対し表彰を行った。

#### 2 市民の体力の向上を図る事業

加盟団体を支援するとともに、市民スポーツ・生涯スポーツの振興、競技力の向上を図った。

- [1] 加盟団体が実施するスポーツ振興事業、競技力向上事業への支援を行った。
- [2] 高齢者対象の事業へ支援を行うとともに、AEDの無料貸出を行い生涯スポーツ環境の整備に努めた。
- [3] 次世代の児童・生徒の基礎体力と運動能力の向上を図るとともに、「盛岡市次世代体力・運動能力向上プロジェクト」の推進に努めた。

#### 3 ジュニアスポーツの振興に関する事業

スポーツ少年団が実施する事業を推進した。

- [1] 市内小学校の全児童及び中学1・2年生の生徒へ団員募集案内を配布してスポーツ少年団の啓発に努め、156団、3,278名の団員及び746名の指導者の登録があった。
- [2] 盛岡市スポーツ少年団事業として、指導者研修会、リーダーキャンプ、綱引大会の開催及び種目別交流事業、スポーツ少年団認定員養成講習会受講者及びジュニア・リーダースクール参加者への助成を行った。

#### 4 健康増進及び体育・スポーツ振興のためのスポーツ大会及びスポーツ教室に関する事業

市民が主体的にスポーツに楽しめる環境づくりを行った。

- [1] 第69回盛岡市民体育大会を開催し39競技に19,997名が参加した。

- [2] 16施設の指定管理者として、適正かつ効率的な運営に努め1,066,405名の利用があった。
- [3] スポーツに親しむ機会の提供とスポーツ人口の底辺拡大を図るためスポーツ教室等を9施設で176事業を開催し、延べ72,698名が参加した。
- [4] 体育の日に盛岡市との共催で「市民総参加スポーツの集い」を実施し、2,752名の参加があった。

## 5 スポーツツーリズムの推進

- [1] 盛岡広域スポーツコミッションの一員として、合宿相談会等の各種イベントに参加した。
- [2] 盛岡市が推進する、東京2020オリンピック・パラリンピック、2019ラグビーワールドカップ釜石開催の事前キャンプ誘致や、実施に向けた対応（カナダ国を相手としたホストタウン事業等）を積極的に支援した。
- [3] 盛岡市や関連団体と協力して、テニスの国際大会であるデビスカップを盛岡タカヤアリーナで受け入れた。

## 6 法人の組織強化と充実

- [1] 加盟団体会議の開催、県体育協会への役員派遣により、関係団体との連携を強化するとともに盛岡市と協働で市のスポーツ施策を推進した。
- [2] 職員研修を実施し職員の資質向上を図った。

## 7 その他

- [1] 施設利用者の利便性向上を図るため、自動販売機設置や電話・FAX・コピー機の貸し出しを行った。
- [2] 公共施設としてあらゆるニーズに応えるため各種事業へ施設を開放した。
- [3] 「第54回盛岡市スポーツ人の集い」を開催し関係者との交流を図った。

## 収支計算書 (増減計算方式)

平成 29年 4月 1日 から平成 30年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	流 用 額	流用後予算額	決 算 額	差 異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用収入	1,442,000	0	1,442,000	1,441,652	348
②特定資産運用収入	3,000	0	3,000	206	2,794
③事業収入	609,606,000	0	609,606,000	611,739,197	△ 2,133,197
④補助金等収入	36,274,000	0	36,274,000	36,416,040	△ 142,040
⑤負担金収入	3,811,000	0	3,811,000	3,810,400	600
⑥寄附金収入	8,000	0	8,000	8,000	0
⑦雑収入	356,000	0	356,000	366,887	△ 10,887
経常収益計	651,500,000	0	651,500,000	653,782,382	△ 2,282,382
(2) 経常費用					
①事業費支出	607,150,000	144,000	607,294,000	604,512,301	2,781,699
②管理費支出	41,644,000	△ 90,000	41,554,000	42,965,181	△ 1,411,181
経常費用計	648,794,000	54,000	648,848,000	647,477,482	1,370,518
当期経常増減額	2,706,000	△ 54,000	2,652,000	6,304,900	△ 3,652,900
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	6	△ 6
当期経常外増減額	0	0	0	△ 6	6
税引前当期一般正味財産増減額	2,706,000	0	2,706,000	6,304,894	△ 3,598,894
法人税、住民税及び事業税	72,000	0	72,000	3,566,800	△ 3,494,800
当期一般正味財産増減額	2,634,000	0	2,634,000	2,738,094	△ 104,094
一般正味財産期首残高	134,429,000	0	134,429,000	134,428,482	518
一般正味財産期末残高	137,063,000	0	137,063,000	137,166,576	△ 103,576
II 指定正味財産増減の部					
①基本財産運用収入	1,241,000	0	1,241,000	1,240,951	49
②一般正味財産への振替額	1,241,000	0	1,241,000	1,240,951	49
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	87,083,000	0	87,083,000	87,083,000	0
指定正味財産期末残高	87,083,000	0	87,083,000	87,083,000	0
III 正味財産期末残高	224,146,000	0	224,146,000	224,249,576	△ 103,576

## 正味財産増減計算書〔内訳表〕

平成 29年 4月 1日 から平成 30年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1,441,652	0	0	1,441,652
② 特定資産運用収益	166	20	20	206
③ 事業収益	570,313,639	41,425,558	0	611,739,197
④ 受取補助金等	1,819,040	0	34,597,000	36,416,040
⑤ 受取負担金	2,850,400	0	960,000	3,810,400
⑥ 受取寄附金	8,000	0	0	8,000
⑦ 雑収益	18,433	0	348,454	366,887
経常収益計	576,451,330	41,425,578	35,905,474	653,782,382
(2) 経常費用				
① 事業費	591,126,075	13,386,226	0	604,512,301
② 管理費	0	0	42,965,181	42,965,181
経常費用計	591,126,075	13,386,226	42,965,181	647,477,482
当期経常増減額	△ 14,674,745	28,039,352	△ 7,059,707	6,304,900
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	6	0	0	6
当期経常外増減額	△ 6	0	0	△ 6
他会計振替額	15,400,000	△ 22,400,000	7,000,000	0
税引前当期一般正味財産増減額	725,249	5,639,352	△ 59,707	6,304,894
法人税、住民税及び事業税	0	3,494,800	72,000	3,566,800
当期一般正味財産増減額	725,249	2,144,552	△ 131,707	2,738,094
一般正味財産期首残高	96,363,123	31,253,007	6,812,352	134,428,482
一般正味財産期末残高	97,088,372	33,397,559	6,680,645	137,166,576
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
① 基本財産運用益	1,240,951	0	0	1,240,951
② 一般正味財産への振替額	1,240,951	0	0	1,240,951
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	87,083,000	0	0	87,083,000
指定正味財産期末残高	87,083,000	0	0	87,083,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>184,171,372</b>	<b>33,397,559</b>	<b>6,680,645</b>	<b>224,249,576</b>

貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	1,877,428	1,176,612	700,816
普通預金	123,884,854	110,989,983	12,894,871
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
未収金	5,504,033	583,359	4,920,674
前払金	1,805,820	2,059,498	△ 253,678
貯蔵品	3,499,425	3,004,533	494,892
立替金	0	2,762	△ 2,762
流動資産合計	186,571,560	167,816,747	18,754,813
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
投資有価証券	100,928,738	100,987,088	△ 58,350
普通預金	265,262	206,912	58,350
基本財産合計	101,194,000	101,194,000	0
<b>(2) 特定資産</b>			
退職給付引当資産	656,710	656,710	0
減価償却引当資産	9,421,225	14,642,974	△ 5,221,749
リース費用準備資金	0	20,113,920	△ 20,113,920
車両運搬具取得資金	2,360,000	786,667	1,573,333
特定資産合計	12,437,935	36,200,271	△ 23,762,336
<b>(3) その他固定資産</b>			
什器備品	2,756,480	845,982	1,910,498
構築物	72,969	91,211	△ 18,242
機械装置	5,923,126	1	5,923,125
リース資産	19,139,544	6,016,248	13,123,296
リサイクル預託金	4,540	4,540	0
その他固定資産合計	27,896,659	6,957,982	20,938,677
固定資産合計	141,528,594	144,352,253	△ 2,823,659
<b>資産合計</b>	<b>328,100,154</b>	<b>312,169,000</b>	<b>15,931,154</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	65,256,674	68,336,096	△ 3,079,422
預り金	4,972,722	2,509,870	2,462,852
未払消費税等	2,936,000	5,211,600	△ 2,275,600
未払法人税等	3,566,800	1,394,800	2,172,000
賞与引当金	7,978,838	7,188,904	789,934
流動負債合計	84,711,034	84,641,270	69,764
<b>2. 固定負債</b>			
長期未払金	19,139,544	6,016,248	13,123,296
固定負債合計	19,139,544	6,016,248	13,123,296
<b>負債合計</b>	<b>103,850,578</b>	<b>90,657,518</b>	<b>13,193,060</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
地方公共団体補助金	63,000,000	63,000,000	0
加盟団体負担金	8,010,000	8,010,000	0
一般企業寄附金	16,073,000	16,073,000	0
指定正味財産合計	87,083,000	87,083,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 87,083,000 )	( 87,083,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	( 14,111,000 )	( 14,111,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 12,437,935 )	( 36,200,271 )	( △ 23,762,336 )
正味財産合計	224,249,576	221,511,482	2,738,094
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>328,100,154</b>	<b>312,169,000</b>	<b>15,931,154</b>



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的債権……償却原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準  
最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
償却方法は、定率法による直接法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

特になし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券(基)	100,987,088	0	58,350	100,928,738
普通預金(基)	206,912	58,350	0	265,262
小計	101,194,000	58,350	58,350	101,194,000
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産 公益目的事業会計	639,300	0	0	639,300
退職給付引当資産 収益事業等会計	17,410	0	0	17,410
減価償却引当資産 公益目的事業会計	11,714,384	1,907,553	6,084,958	7,536,979
減価償却引当資産 収益事業等会計	1,464,295	238,446	760,618	942,123
減価償却引当資産 法人会計	1,464,295	238,446	760,618	942,123
リース費用準備資金 公益目的事業会計	20,113,920	0	20,113,920	0
車両運搬具取得資金 公益目的事業会計	629,333	1,258,667	0	1,888,000
車両運搬具取得資金 収益事業等会計	78,667	157,333	0	236,000
車両運搬具取得資金 法人会計	78,667	157,333	0	236,000
小計	36,200,271	3,957,778	27,720,114	12,437,935
合計	137,394,271	4,016,128	27,778,464	113,631,935

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
投資有価証券(基)	100,928,738	87,028,588	13,900,150	—
普通預金(基)	265,262	54,412	210,850	—
小計	101,194,000	87,083,000	14,111,000	0
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産 公益目的事業会計	639,300	0	639,300	0
退職給付引当資産 収益事業等会計	17,410	0	17,410	0
減価償却引当資産 公益目的事業会計	7,536,979	0	7,536,979	—
減価償却引当資産 収益事業等会計	942,123	0	942,123	—
減価償却引当資産 法人会計	942,123	0	942,123	—
リース費用準備資金 公益目的事業会計	0	0	0	0
車両運搬具取得資金 公益目的事業会計	1,888,000	0	1,888,000	0
車両運搬具取得資金 収益事業等会計	236,000	0	236,000	0
車両運搬具取得資金 法人会計	236,000	0	236,000	0
小計	12,437,935	0	12,437,935	0
合計	113,631,935	87,083,000	26,548,935	0

## 財務諸表に対する注記

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
構築物	567,000	494,031	72,969
機械装置	9,247,500	3,324,374	5,923,126
器具備品	10,555,063	7,798,583	2,756,480
ソフトウェア	1,412,250	1,412,250	0
リース資産	34,182,216	15,042,672	19,139,544
合計	55,964,029	28,071,910	27,892,119

6. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第148回 利付国債(20年)	100,928,738	118,368,800	17,440,062
合計	100,928,738	118,368,800	17,440,062

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	1,240,951
経常外収益への振替額	0
合計	1,240,951

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管 手元保管	施設利用料等売上 運転資金として	1,197,428 680,000
現金合計			1,877,428
預金	普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所 定期預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	運転資金として 運転資金として	123,884,854 50,000,000
預金合計			173,884,854
未収金	みちのくキャンティーン (株) 他 岩手労働局 当協会従業員 NPO法人盛岡市水泳協会 旭ファイバークラス (株) 他 岩手ビッグブルズ 他 岩手県沿岸広域健康局 グローバルライフ 盛岡中央卸売市場 三枚目助五郎本宮店 スポ少情報交換会参加者 見前地区体育振興会	自動販売機手数料 労働保険料精算金 雇用保険料戻入他 共通券精算金 施設利用料 その他事業収入 (雑事サポート収入) 自主事業参加料収入 自主事業保険料戻入 自主事業施設利用料戻入 スポ少事業に係る食糧費戻入 スポ少事業に係る雑収入 加盟団体負担金	392,217 13,011 195,440 67,100 3,546,429 1,233,900 2,000 2,160 7,776 12,000 12,000 20,000
未収金合計			5,504,033
前払金	日本水泳連盟 他 日本体育施設協会 日本赤十字社岩手県支部 コマツ岩手	自主事業傷害保険料 スポーツファシリティーズ保険 資格継続研修参加料 ホイルローダー一括償料	344,840 1,398,900 1,600 60,480
前払金合計			1,805,820
貯蔵品	照明器具、文房具、薬品など	施設運営用品として	3,499,425
貯蔵品合計			3,499,425
<b>流動資産合計</b>			<b>186,571,560</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
投資有価証券	第148回利付国債 (20年) 野村證券盛岡支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業財源として使用している うち、公益目的保有財産額 100% 100,928,738円	100,928,738
普通預金	岩手銀行盛岡市役所出張所	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業財源として使用している うち、公益目的保有財産額 100% 265,262円	265,262
基本財産合計			101,194,000
<b>特定資産</b>			
退職給付引当資産	普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	職員退職給付引当金の引当資産として管理している	656,710
減価償却引当資産	普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	機械装置、什器備品、構築物の減価償却引当金見合の引当資産として管理している	9,421,225
車両運搬具取得資金	普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所	軽自動車1台、軽トラック1台を取得するための資金として管理している うち、公益目的保有財産額 80% 1,888,000円	2,360,000
特定資産合計			12,437,935
<b>その他固定資産</b>			
什器備品	盛岡体育館 他 13点	当協会事業実施のために必要な資産 AED、ランニングマシン 他 うち、公益目的保有財産額 80% 2,205,184円	2,756,480
構築物	盛岡市総合アリーナ 1台	体育施設の貸与等に使用している 防球ネット うち、公益目的保有財産額 80% 58,377円	72,969
機械装置	盛岡南公園球技場 他 2台	体育施設の貸与等に使用している エアレーター、ホイルローダー うち、公益目的保有財産額 80% 4,738,502円	5,923,126
リース資産	盛岡体育館 他 2式 盛岡体育館 他 38台 盛岡市アイスリンク 1台	体育施設の貸与等に使用している トレーニング機器 うち、公益目的保有財産額 100% 17,879,616円 当協会事業実施のために必要な資産 パーソナルコンピューター うち、公益目的保有財産額 80% 939,514円 当協会事業実施のために必要な資産 デジタル複写機 うち、公益目的保有財産額 80% 68,428円	17,879,616 1,174,392 85,536
リサイクル預託金	滝民運動公園総合体育館	当協会事業実施のために必要な資産 滝民地区体育施設の管理上必要な 盛岡市所有の軽トラックのリサイクル預託金	4,540
その他固定資産合計			27,896,659
<b>固定資産合計</b>			<b>141,528,594</b>
<b>資産合計</b>		うち、公益目的保有財産額計 128,971,621円	<b>328,100,154</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金	事業に対する未払額	事業・管理費に供する経費の未払い分	65,256,674
預り金	職員等に対するもの	源泉所得税、社会保険料、住民税	4,972,722
未払消費税等	消費税額等に対する未払額	消費税額等の未払い分	2,936,000
未払法人税等	法人税額等に対する未払額	法人税額等の未払い分	3,566,800
賞与引当金	職員等に対するもの	平成30年6月支給予定賞与の平成29年度対応分	7,978,838
<b>流動負債合計</b>			<b>84,711,034</b>
<b>(固定負債)</b>			
長期未払金	リース資産に対するもの	リース資産に伴うリース債務	19,139,544
<b>固定負債合計</b>			<b>19,139,544</b>
<b>負債合計</b>			<b>103,850,578</b>
<b>正味財産</b>			<b>224,249,576</b>

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### I 事業方針

体育・スポーツの一層の振興を図ることにより、市民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に資するとともに、盛岡市における体育・スポーツ諸団体の育成に寄与します。また、各競技団体が実施する事業を支援し、競技力の向上を図ります。

現指定管理の最終年度も計画書に沿って着実に事業を推進し、さらなる効率的運営に努めます。また、次期指定管理者に確実に指定されるよう、12年間の実績を基に対象施設へ応募して参ります。

#### II 重点目標

- 1 スポーツに対する意識の向上
- 2 市民の体力の向上
- 3 ジュニアスポーツの振興
- 4 健康増進及び体育・スポーツの振興
- 5 スポーツツーリズムの推進
- 6 法人の組織強化と充実

#### III 事業計画

- 1 スポーツに対する意識の向上【公益目的事業1】
  - (1) 盛岡市代表選手派遣事業
    - 1) 国際大会盛岡市代表選手派遣事業
    - 2) 国民体育大会盛岡市代表選手派遣事業
    - 3) 全国大会盛岡市代表選手派遣事業
    - 4) 岩手県民体育大会盛岡市代表選手派遣事業
  - (2) スポーツ振興功労者表彰
  - (3) スポーツ講演会
- 2 市民の体力の向上【公益目的事業1】
  - (1) 加盟団体支援事業
    - 1) 共催・後援等支援事業
    - 2) 共催事業助成事業
    - 3) 選手強化費助成事業
    - 4) 運営補助金助成事業
  - (2) 生涯スポーツ振興事業
    - 1) 生涯スポーツ振興事業助成事業
    - 2) AED(自動体外式除細動器)貸出事業
  - (3) 次世代体力・運動能力向上事業
    - 1) 動きづくり
    - 2) スポーツクラブ
    - 3) スポーツ医・科学勉強会

3 ジュニアスポーツの振興【公益目的事業1】

(1) スポーツ少年団の育成事業

1) 募集支援

- ① 団員募集案内を作成し市内小中学校へ配布
- ② ホームページによる登録単位団の紹介

2) 指導者育成

- ① スポーツ少年団認定員養成事業
- ② 指導者研修会

3) リーダー養成

- ① リーダーキャンプ
- ② 日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール参加者支援
- ③ 岩手県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール参加者支援

4) 種目別交流費助成事業

5) 綱引大会

4 健康増進及び体育・スポーツ振興【公益目的事業2】

(1) 第70回盛岡市民体育大会40競技の開催

(2) スポーツ教室、スポーツ大会及び利用促進事業

	スポーツ教室 事業	スポーツ大会 事業	利用促進事業	計
盛岡体育館	体操教室等 45事業	フットサル大会 2事業	***	47事業
総合アリーナ	ベビーダンス教室 4事業	フットサル大会等 3事業	卓球でリフレッシュ 1事業	8事業
市立武道館	幼児体育教室等 3事業	***	***	3事業
南公園球技場	サッカークラブ等 4事業	サッカー大会 4事業	障がい者教室等 2事業	10事業
太田テニスコート	テニス教室 2事業	***	***	2事業
網取スポーツセンター	***	ソフトテニス大会 1事業	施設無料開放 1事業	2事業
総合プール	水泳教室等 24事業	水泳公認記録会等 2事業	新春初泳ぎ等 3事業	29事業
渋民運動公園	フラダンス教室等 7事業	フットサル交流会 1事業	バスケットボール大会等 2事業	10事業
生出スキ	スキー教室等	***	スキー場まつり	4事業

一場	2事業		等 2事業	
アイスリンク	カーリング教室 等 43事業	カーリング大会 等 11事業	真夏のミッドナイト営業 3事業	57事業
計	134事業	24事業	14事業	172事業

(3) 施設（指定管理施設）貸与事業

- 1) 盛岡体育館
- 2) 盛岡市総合アリーナ（盛岡タカヤアリーナ）
- 3) 盛岡市立武道館
- 4) 盛岡市弓道場
- 5) 盛岡南公園球技場（いわぎんスタジアム）
- 6) 盛岡市立太田テニスコート
- 7) 盛岡市立網取スポーツセンター
- 8) 盛岡市営野球場
- 9) 盛岡市太田橋野球場
- 10) 盛岡市立総合プール
- 11) 盛岡市都南中央公園プール
- 12) 盛岡市波民運動公園
- 13) 盛岡市玉山運動場
- 14) 盛岡市立生出スキー場
- 15) 盛岡市アイスリンク（みちのくコカ・コーラボトリングリンク）

(4) 体育の日「市民総参加スポーツの集い」事業

- 1) 施設無料開放及び各種事業の実施

5 スポーツツーリズムの推進

盛岡広域8市町が相互に連携・協調して取り組む盛岡広域スポーツコミッションの構成団体の一員として、スポーツツーリズムの推進に協力します。

- (1) 啄木の里ふれあいマラソン大会の主管団体としての役割の継続
- (2) 施設の適正な管理を通じた「Tokyo2020オリンピック」や「ラグビーワールドカップ2019」の事前キャンプ誘致及び実施，並びに競技団体等が主催する大会や合宿等への支援

6 法人の組織強化と充実

- (1) 専門委員会活動の充実
  - 1) 表彰委員会
  - 2) 盛岡市スポーツ人の集い実行委員会
  - 3) 盛岡市民体育大会実行委員会
- (2) 円滑で効率的な施設の管理運営

- 1) 利用者とのコミュニケーションを重視し「明るく、より親切に」をモットーにした管理運営
  - 2) 施設設備の充実
  - 3) 施設の効率的な利用促進
  - 4) 施設賠償責任保険への加入
  - 5) 利用者ニーズの把握
- (3) 経営基盤の安定強化
- 1) 関係団体・機関との連携強化
    - ① 加盟団体との連携強化
    - ② 盛岡市との連携強化
  - 2) 経営企画本部による経営改善
    - ① 事業の推進及び啓発
    - ② 職員の資質向上
    - ③ 管理施設の効果的運営に関する調査・研究
    - ④ 利用者サービスの充実
    - ⑤ 営業活動の促進
  - 3) 信頼性の確保
    - ① 施設利用者の安全確保及び施設設備の安全管理
    - ② 公共性及び公平性に基づく施設の有効活用
    - ③ コンプライアンスの徹底
    - ④ モニタリングの実施
  - 4) 次期指定管理への応募

7 施設利用者へのサービス提供に関する事業【収益事業1】

施設利用者や事業の参加者への利便の供与及び公益目的事業実施に伴う財源確保のため、自動販売機を設置するほかコピー機や電話、FAX等を貸し出します。

8 施設の管理運営に関する事業【収益事業2】

- (1) スポーツ以外のイベント・催事等への施設貸与事業
- (2) スポーツ関係以外の会議室等貸与事業

9 スポーツ人の集い開催事業【その他事業1】

スポーツに関する話題や知識を共有、情報交換し、盛岡市におけるスポーツの普及振興、競技力の向上を図るため「盛岡市スポーツ人の集い」を開催します。

## IV 収支予算の概要

## 収支予算書内訳表

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業等	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,442,000	0	0	1,442,000
特定資産運用益	1,000	1,000	1,000	3,000
事業収益	561,507,000	44,000,000	0	605,507,000
受取補助金等	1,895,000	0	34,597,000	36,492,000
受取負担金	3,024,000	0	960,000	3,984,000
受取寄附金	16,000	0	0	16,000
雑収益	23,000	0	408,000	431,000
経常収益計	567,908,000	44,001,000	35,966,000	647,875,000
(2) 経常費用				
事業費	576,593,000	31,220,000	0	607,813,000
管理費	0	0	42,285,000	42,285,000
経常費用計	576,593,000	31,220,000	42,285,000	650,098,000
当期経常増減額	△ 8,685,000	12,781,000	△ 6,319,000	△ 2,223,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	6,767,000	△ 12,781,000	6,014,000	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,918,000	0	△ 305,000	△ 2,223,000
法人税、住民税及び事業税	0	0	72,000	72,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,918,000	0	△ 377,000	△ 2,295,000
一般正味財産期首残高	96,363,000	33,959,000	6,741,000	137,063,000
一般正味財産期末残高	94,445,000	33,959,000	6,364,000	134,768,000
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
基本財産運用益	1,241,000	0	0	1,241,000
基本財産運用収入	1,241,000	0	0	1,241,000
一般正味財産への振替額	1,241,000	0	0	1,241,000
一般正味財産への振替額	1,241,000	0	0	1,241,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	87,083,000	0	0	87,083,000
指定正味財産期末残高	87,083,000	0	0	87,083,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>181,528,000</b>	<b>33,959,000</b>	<b>6,364,000</b>	<b>221,851,000</b>



# 公益財団法人盛岡市文化振興事業団

## 1 総括事項

- (1) 名称 公益財団法人盛岡市文化振興事業団
- (2) 設立年月日 平成9年10月15日  
(平成25年10月1日公益財団法人移行)
- (3) 資本金又は基本財産 金 100,000,000円
- (4) 市の出資額 金 100,000,000円
- (5) 役員氏名
- |      |     |     |
|------|-----|-----|
| 理事長  | 三浦  | 宏   |
| 専務理事 | 獅子内 | 建二  |
| 理事   | 小野寺 | 明美  |
| 理事   | 菊池  | 直   |
| 理事   | 倉持  | 裕幸  |
| 理事   | 玉山  | 麻美  |
| 理事   | 佐々木 | 正利  |
| 理事   | 長野  | 祐子  |
| 理事   | 室月  | あさ子 |
| 監事   | 中村  | 俊行  |
| 監事   | 渡邊  | 武裕  |
- (平成30年4月1日現在)

## (6) 事業の概要

当事業団は、盛岡市における文化及び歴史並びに教育の振興を図り、あわせて市民の自主的な地域文化活動の支援に努め、もって市民の心豊かな生活の実現に寄与することを目的とし、定款第4条の規定に基づき、次の事業を行っています。

- (ア) 音楽、舞踊、演劇、美術その他の芸術文化に関する鑑賞事業
- (イ) 文化、歴史及び社会教育に関する教育普及事業
- (ウ) 市民が行う文化活動の育成及び支援に関する事業
- (エ) 文化、教育等に関する調査研究、情報の収集及び提供事業
- (オ) 歴史、芸術、民俗等に関する資料収集、調査研究、保管、展示等の事業
- (カ) 生涯学習、社会教育の推進及び活動の支援に関する事業
- (キ) 文化及び社会教育関係施設等の管理運営事業
- (ク) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### I 事業実績

平成25年10月1日から、より公益性を重視した公益財団法人としての再スタートを切り、盛岡市から文化会館・公民館及び博物館施設11施設の管理者として指定を受け、基本方針や事業計画を定めて、市民の心豊かな生活の実現に寄与するよう努めてきました。

公益財団法人として4年目となった平成29年度は、事業団設立20周年の節目に当たり、文化会館・公民館施設と博物館施設の連携事業やWEB上で20周年特設ページを公開するなど、特徴的な記念事業を実施し、成功裡に終了したところです。

また、当事業団の目的に沿った事業企画や管理運営を持続的に行うべく、各施設間で連携を図りながら、施設を利用される方や来館される方々に満足していただけるよう、さらなるサービス向上に努めたほか、施設・設備の維持管理に当たっては、効率的かつ効果的に稼働できるよう、定期的な保守点検を実施するとともに、日常的な安全管理の徹底に努めました。

文化会館においては、コンサートや演劇等の芸術鑑賞事業などを積極的に展開するとともに、博物館施設においては、所蔵する貴重な資料を展示する企画展などを開催したほか、公民館においては、市民の多様なニーズと学習需要に対応した各種講座等を実施し、大きな成果を収めたものと考えているところです。

なお、平成30年度に盛岡市民文化ホールが開館20周年、原敬記念館が開館60周年を迎えることから、29年度において記念事業の検討を行い、調整・準備を進めました。

#### (1) 公益目的事業1 「芸術文化の振興及び社会教育の推進を図る事業」

市民や地域の方々に優れた芸術文化の提供と芸術文化活動の支援を行い、芸術文化の振興と文化の薫り高い街・盛岡にふさわしい魅力あるまちづくりの推進に寄与し、芸術文化と地域社会との懸け橋となるよう事業を展開していきました。また、盛岡市における社会教育の振興を図るため、実際生活に即した教育、学術及び文化に関する各種事業を実施するとともに社会教育関係団体・グループなどの主体的学習活動を支援することにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に努めていきます。さらに、市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点として各施設の積極的な活用を促しました。

#### (2) 公益目的事業2 「博物館の管理及び調査・研究・展示等に関する事業」

博物館事業として、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等、個々の博物館の設置目的等に関連する資料を収集、保管、展示・活用し、これらの資料の調査研究を実施するとともに、市民等の利用に供し、教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行いました。

### (3) 収益事業

公立文化施設及び社会教育施設において、関連書籍等の販売や自動販売機等の設置を行い、利用者や事業参加者が芸術文化・社会教育・生涯学習への理解を深め、関心を喚起する環境を整備し、かつ快適な利用環境のサービス向上を図りました。当事業団が公益目的事業としているもの以外の催事である、学会や研究大会、各学校の入学式や卒業式、企業の社内研修や会議等、公共施設としての役割や設置目的に支障なく施設貸与が可能な利用に対して貸館事業を実施しました。

### (4) 共通事業 「文化に関する情報収集、提供事業」

- ・情報誌「ぼけっと」を作成し、配布しました。
- ・盛岡劇場「演劇らいぶらりー」の蔵書を整備し、充実しました。
- ・市民文化ホール窓口に、芸術文化関係書籍等を整備し、来館者に公開しています。
- ・公益財団法人盛岡市文化振興事業団ホームページの充実を図り、施設情報、イベント情報等を市民に提供しました。

### (5) その他事業 「芸術鑑賞友の会（mフレンズ）事業」

友の会事業は、芸術文化振興の趣旨のもとに鑑賞者の拡大や観客の醸成を目指すものであり、当事業団の公益目的事業を補完し、サービスの向上を図る事業として実施しました。

### (6) その他

#### ア 「受託等の事業」

盛岡市からの委託により、放課後や週末等に学校や地域の施設を活用する「盛岡市放課後子ども教室事業」を実施し、地域住民とともに勉強やスポーツ、文化芸術活動等の機会を子どもたちに提供しました。

#### イ 「公益財団法人岩手県文化振興事業団岩手県民会館との連携事業」

広く市民にチケット購入の便宜を図り鑑賞機会を増やすため、公益財団法人岩手県文化振興事業団岩手県民会館と、双方の主催事業について入場券の販売を行いました。

#### ウ 「文化に関する調査研究事業」

全国公立文化施設協会、岩手県内公立文化施設協議会に加盟し、他の文化施設との交流を図った。

エ 「盛岡市文化会館， 博物施設及び公民館管理運営事業」

盛岡市の指定管理団体として，盛岡市民文化ホール，盛岡市都南文化会館，盛岡劇場及び盛岡市渋民文化会館の文化会館4館，盛岡市先人記念館，原敬記念館，石川啄木記念館及び盛岡てがみ館の博物館施設4館並びに河南公民館，都南公民館及び渋民公民館の施設，設備等を盛岡市と締結した管理運営に関する基本協定に基づき，適切かつ効率的な管理を行うとともに，利用者・来館者の要望に応えながら管理運営を実施しました。

オ 「職員研修事業」

事業団職員の資質を高めるため，各種研修会を開催したほか，他団体が主催する研修会等に職員を参加させました。

カ 「施設利用状況」

各施設の実利用人数は以下のとおりとなります。

文化会館4館	: 435,265人
公民館3館	: 137,583人
博物施設4館	: 39,138人

II 決算の状況

様式2

法人名：公益財団法人 盛岡市文化振興事業団

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産利息等	10,016	25,000	△ 14,984
基本財産運用益計	10,016	25,000	△ 14,984
② 特定資産運用益			
減価償却引当資産利息等	2,445	5,684	△ 3,239
オルガン大規模保守引当資産利息等	330	750	△ 420
退職給付引当資産等利息等	2,869	6,503	△ 3,634
特定資産運用益計	5,644	12,937	△ 7,293
③ 受取会費			
友の会会費	1,084,000	1,306,000	△ 222,000
受取会費計	1,084,000	1,306,000	△ 222,000
④ 事業収益			
施設管理事業	693,738,984	686,468,397	7,270,587
施設利用事業	80,471,099	75,603,580	4,867,519
事業収入	61,730,405	61,951,837	△ 221,432
事業収益計	835,940,488	824,023,814	11,916,674
⑤ 受取補助金等			
盛岡市補助金	88,441,392	89,665,000	△ 1,223,608
芸術鑑賞事業費補助金	13,126,000	13,126,000	0
文化会館活動事業費補助金	7,992,000	7,992,000	0
情報誌発行業務補助金	1,296,000	1,296,000	0
盛岡市助成金	0	3,900,000	△ 3,900,000
受取助成金	150,000	4,547	145,453
芸術文化振興基金助成金	182,000	314,000	△ 132,000
受取補助金等計	111,187,392	116,297,547	△ 5,110,155
⑥ 受取負担金等			
受取負担金収入	100,000	120,000	△ 20,000
受取負担金等計	100,000	120,000	△ 20,000
⑦ 受取寄付金等			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金等計	0	0	0
⑧ 雑収益			
受取利息	3,260	5,211	△ 1,951
雑収益	854	404,990	△ 404,136
雑収益計	4,114	410,201	△ 406,087
経常収益計	948,331,654	942,195,499	6,136,155
(2) 経常費用			
① 事業費			
報酬	143,786,535	138,835,021	4,951,514
職員給料	34,915,480	31,243,688	3,671,792
職員手当等	21,013,620	21,356,974	△ 343,354
退職給付費用	1,369,827	1,607,282	△ 237,455
福利厚生費	38,511,126	36,785,136	1,725,990
賃金	13,963,204	18,264,508	△ 4,301,304
報償費	9,297,318	12,880,951	△ 3,583,633
旅費交通費	3,957,275	1,499,780	2,457,495
交際費	14,252	16,721	△ 2,469
通信運搬費	4,795,790	4,355,754	440,036
保険料	843,981	720,879	123,102
手数料	1,351,251	1,763,472	△ 412,221
広告料	3,383,780	4,194,320	△ 810,540
車両運搬具減価償却費	623,226	545,193	78,033
什器備品減価償却費	291,574	419,577	△ 128,003
消耗什器備品費	1,148,047	3,594,614	△ 2,446,567
消耗品費	9,292,923	10,447,039	△ 1,154,116
修繕費	11,034,441	11,394,822	△ 360,381
印刷製本費	12,746,186	12,236,810	509,376
燃料費	24,645,435	20,672,270	3,973,165
光熱水料費	163,897,831	163,700,621	197,210
食糧費	1,029,336	818,972	210,364
自動車関係費	510,566	197,760	312,806

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
委託料	368,977,486	354,168,775	14,808,711
貸貸借料	3,035,748	3,543,849	△ 508,101
原材料費	0	0	0
負担金及び補助金	4,874,200	19,702,139	△ 14,827,939
公課費	15,472,006	14,607,292	864,714
期首たな卸高	679,338	642,473	36,865
期末たな卸高	△ 574,601	△ 679,338	104,737
事業費計	894,887,181	889,537,354	5,349,827
②管理費			
役員報酬	4,126,978	4,227,352	△ 100,374
報酬	5,808,672	5,779,872	28,800
職員給料	13,728,320	16,048,960	△ 2,320,640
職員手当等	7,967,414	8,806,960	△ 839,546
退職給付費用	1,280,026	644,148	635,878
福利厚生費	6,982,291	7,431,487	△ 449,196
貸金	504,016	115,584	388,432
報償費	0	15,200	△ 15,200
旅費交通費	7,800	14,400	△ 6,600
交際費	22,000	22,000	0
通信運搬費	206,412	198,945	7,467
手数料	287,912	455,401	△ 167,489
車両運搬具減価償却費	39,780	34,800	4,980
什器備品減価償却費	82,239	118,342	△ 36,103
その他固定資産減価償却費	35,460	491,098	△ 455,638
ソフトウェア減価償却費	277,200	277,200	0
消耗品費	242,813	297,469	△ 54,656
印刷製本費	86,362	41,764	44,598
光熱水料費	327,613	329,009	△ 1,396
食糧費	19,900	23,727	△ 3,827
委託料	1,533,600	1,533,600	0
貸貸借料	271,741	268,840	2,901
支払負担金	31,000	32,000	△ 1,000
公課費	9,194	12,508	△ 3,314
期首たな卸高	24,277	25,389	△ 1,112
期末たな卸高	△ 35,538	△ 24,277	△ 11,261
管理費計	43,867,482	47,221,778	△ 3,354,296
経常費用計	938,754,663	936,759,132	1,995,531
当期経常増減額	9,576,991	5,436,367	4,140,624
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① その他経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① その他経常外費用			
雑損失	0	0	0
過年度返還金	0	169,092	△ 169,092
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	169,092	△ 169,092
当期経常外増減額	0	△ 169,092	169,092
税引前当期一般正味財産増減額	9,576,991	5,267,275	4,309,716
法人税、住民税及び事業税	1,647,300	707,700	939,600
当期一般正味財産増減額	7,929,691	4,559,575	3,370,116
一般正味財産期首残高	137,139,418	132,579,843	4,559,575
一般正味財産期末残高	145,069,109	137,139,418	7,929,691
II 指定正味財産増減の部			
基本財産受取利息	10,016	25,000	△ 14,984
基本財産運用益振替	10,016	25,000	△ 14,984
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	245,069,109	237,139,418	7,929,691

## 貸借対照表総括表

平成30年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	193,127,882	182,091,619	11,036,263
未収金	4,015,196	4,897,850	△ 882,654
前払金	314,071	201,862	112,209
たな卸資産	356,000	378,500	△ 22,500
貯蔵品	254,139	325,115	△ 70,976
仮払金	0	0	0
流動資産合計	198,067,288	187,894,946	10,172,342
<b>2. 固定資産</b>			
(1)基本財産			
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
減価償却引当資産	25,768,311	24,418,831	1,349,480
オルガン大規模保守特定資産	3,600,000	3,300,000	300,000
退職手当引当資産	24,599,564	28,657,861	△ 4,058,297
盛岡市民文化ホール開館20周年 記念事業積立資産	9,000,000	6,000,000	3,000,000
特定資産合計	62,967,875	62,376,692	591,183
(3)その他固定資産			
車両運搬具	1,138,899	788,034	350,865
什器備品	1,105,467	1,479,280	△ 373,813
リサイクル預託金	36,020	28,040	7,980
ソフトウェア	46,200	323,400	△ 277,200
その他の固定資産	0	35,460	△ 35,460
リース資産	0	0	0
その他固定資産合計	2,326,586	2,654,214	△ 327,628
固定資産合計	165,294,461	165,030,906	263,555
<b>資産合計</b>	<b>363,361,749</b>	<b>352,925,852</b>	<b>10,435,897</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	79,544,675	74,651,092	4,893,583
未払消費税等	4,408,400	3,881,500	526,900
貸与引当金	5,280,797	6,513,761	△ 1,232,964
前受金	898,000	1,851,220	△ 953,220
預り金	0	0	0
仮受金	3,561,204	231,000	3,330,204
流動負債合計	93,693,076	87,128,573	6,564,503
<b>2. 固定負債</b>			
長期未払金	0	0	0
退職給付引当金	24,599,564	28,657,861	△ 4,058,297
固定負債合計	24,599,564	28,657,861	△ 4,058,297
<b>負債合計</b>	<b>118,292,640</b>	<b>115,786,434</b>	<b>2,506,206</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
地方公共団体補助金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>			
一般正味財産	145,069,109	137,139,418	7,929,691
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	38,368,311	33,718,831	4,649,480
正味財産合計	245,069,109	237,139,418	7,929,691
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>363,361,749</b>	<b>352,925,852</b>	<b>10,435,897</b>

## 財産目録

平成30年 3月31日 現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	(単位：円) 金額
<b>(流動資産)</b>				
現金	手元保管		施設利用料等売上	1,202,345
預金	普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所		運転資金として	191,925,537
現預金合計				193,127,882
未収金	事業団職員 他		3月分社会保険料本人負担分等	4,015,196
前払金	社説高遠印刷等		平成30年度芸術鑑賞友の会会員証等	314,071
貯蔵品	切手他		施設運営用として	254,139
たな卸資産	冊子		販売用として	356,000
たな卸資産計				610,139
<b>流動資産合計</b>				<b>198,067,288</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
定期預金	岩手銀行盛岡市役所出張所		公益目的保有財産額100% 100,000,000円	100,000,000
基本財産合計				100,000,000
<b>特定資産</b>				
退職手当引当資産	定期預金及び普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所		職員に対する退職金の支払に対する積立資産	24,599,564
減価償却引当資産	定期預金 岩手銀行盛岡市役所出張所		車両運搬具、什器備品の減価償却引当金見合の引当資産として管理している	25,768,311
特定費用準備資産	普通預金 岩手銀行盛岡市役所出張所		盛岡市民文化ホール開館20周年記念事業に係る積立資産 公益目的保有財産額100% 9,000,000円	9,000,000
オルガン大規模保守特定資産	定期預金 岩手銀行盛岡市役所出張所		オルガン大規模保守に使用する資産	3,600,000
特定資産合計				62,967,875
<b>その他固定資産</b>				
車両運搬具	盛岡市民文化ホール他 4台		当事業団事業実施のために必要な資産 車両 うち、公益目的保有財産額82% 933,897円	1,138,899
什器備品	盛岡市民文化ホール他 22点		当事業団事業実施のために必要な資産 パソコン、プロジェクター等 うち、公益目的保有財産額68% 751,720円	1,105,467
ソフトウェア	事務局		当事業団ホームページ作成費用 全額管理運営の用に供している	46,200
リース資産(器具備品)	盛岡市民文化ホール他		当事業団事業実施のために必要な資産 施設予約システム うち、公益目的保有財産額82% 0円	0
リース資産(ソフトウェア)	事務局		公益法人会計用ソフトウェア 全額管理運営の用に供している	0
リサイクル預託金	盛岡市民文化ホール他 4台		当事業団事業実施のために必要な資産 車両4台分リサイクル預託金	36,020
その他有形固定資産	事務局		当事業団管理運営に必要な資産 全額管理運営の用に供している	0
その他固定資産計				2,326,586
<b>固定資産合計</b>				<b>165,294,461</b>
<b>資産合計</b>				<b>363,361,749</b>
うち、公益目的保有財産額110,685,817円				
<b>(流動負債)</b>				
未払金	事業・管理に対する未払額		事業・管理費に供する経費の未払い分	79,544,675
前受金	事業に対する前受額		平成30年度芸術鑑賞事業入場料等	898,000
預り金	退職職員等に対するもの		3月分社会保険料本人負担分等	0
仮受金	受託販売に対する仮受額		受託販売未精算分	3,561,204
賞与引当金	職員等に対するもの		職員に対する賞与の支払に備えたもの	5,280,797
未払消費税	消費税に対する未払額		消費税の未払額	4,408,400
<b>流動負債合計</b>				<b>93,693,076</b>
<b>(固定負債)</b>				
長期未払金(リース債務)	リース資産に対するもの		リース資産償却の残存価格	0
退職給付引当資産	職員等に対するもの		職員に対する退職金の支払に備えたもの	24,599,564
<b>固定負債合計</b>				<b>24,599,564</b>
<b>負債合計</b>				<b>118,292,640</b>
<b>正味財産</b>				<b>245,069,109</b>



### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 事業計画

##### ア 【公益目的事業】

###### ①公益1 「芸術文化の振興及び社会教育の推進を図る事業」

市民や地域の方々に優れた芸術文化の提供と芸術文化活動の支援を行い、芸術文化の振興と文化の薫り高い街・盛岡にふさわしい魅力あるまちづくりの推進に寄与し、芸術文化と地域社会との懸け橋となるよう事業を展開していきます。また、盛岡市における社会教育の振興を図るため、実際生活に即した教育、学術及び文化に関する各種事業を実施するとともに社会教育関係団体・グループなどの主体的学習活動を支援することにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に努めていきます。さらに、市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点として各施設の積極的な活用を促します。

###### ②公益2 「博物館の管理及び調査・研究・展示等に関する事業」

博物館事業として、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等、個々の博物館の設置目的等に関連する資料を収集、保管、展示・活用し、これらの資料の調査研究を実施するとともに、市民等の利用に供し、教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行います。

##### イ 【収益事業】

###### ①収益1 「物品販売等に関する事業」

公立文化施設及び社会教育施設において、関連書籍等の販売や自動販売機等の設置を行い、利用者や事業参加者が芸術文化・社会教育・生涯学習への理解を深め、関心を喚起する環境を整備し、かつ快適な利用環境のサービス向上を図ります。

###### ②収益2 「公益目的事業以外への施設貸与事業」

当事業団が公益目的事業としているもの以外の催事である、学会や研究大会、各学校の入学式や卒業式、企業の社内研修や会議等、公共施設としての役割や設置目的に支障なく施設貸与が可能な利用に対して貸館事業を実施します。

##### ウ 【その他事業】

###### ①その他1 「友の会に関する事業」

友の会事業は、芸術文化振興の趣旨のもとに鑑賞者の拡大や観客の醸成を目指すものであり、当事業団の公益目的事業を補完し、サービスの向上を図る事業として実施します。

②その他2 「受託等の事業」

盛岡市からの委託により、放課後や週末等に学校や地域の施設を活用する「盛岡市放課後子ども教室事業」を実施し、地域住民とともに勉強やスポーツ、文化芸術活動等の機会を子どもたちに提供します。

## (2) 収支予算の概要

平成30年度収支予算書  
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	10,000	40,000	△ 30,000	
2 会費収入	1,230,000	1,230,000	0	
3 事業収入	822,399,000	835,030,000	△ 12,631,000	
4 補助金等収入	119,124,000	120,654,000	△ 1,530,000	
5 寄附金収入	0	0	0	
6 雑収入	1,000	1,000	0	
7 特定資産取崩収入	9,000,000	0	9,000,000	
当期収入合計 (A)	951,764,000	956,955,000	△ 5,191,000	
前期繰越収支差額	△ 13,000,000	△ 18,000,000	5,000,000	
収入合計 (B)				
II 支出の部				
1 事業費	861,047,000	865,240,000	△ 4,193,000	
2 管理費	92,917,000	94,515,000	△ 1,598,000	
3 予備費	3,000,000	3,100,000	△ 100,000	
4 その他	7,800,000	12,100,000	△ 4,300,000	
当期支出合計 (C)	964,764,000	974,955,000	△ 10,191,000	
当期収支差額 (A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0	

# たまやま振興株式会社

## 1 総括事項

- (1) 名称 たまやま振興株式会社
- (2) 設立年月日 平成9年 9月5日
- (3) 資本金又は基本財産 金 55,000,000円
- (4) 市の出資額 金 47,500,000円
- (5) 役員の名
- |         |         |
|---------|---------|
| 代表取締役会長 | 谷 藤 裕 明 |
| 代表取締役社長 | 福 田 稔   |
| 取締役     | 長 澤 秀 則 |
| 取締役     | 岩 崎 隆   |
| 取締役     | 工 藤 定 幸 |
| 取締役     | 千 葉 進   |
| 取締役     | 佐々木 由 勝 |
| 取締役     | 村 山 悦 男 |
| 監査役     | 小 原 俊 彦 |
| 監査役     | 今 野 孝 一 |

(平成30年4月1日現在)

## (6) 事業の概要

盛岡市総合交流ターミナル「ユートランド姫神」の管理運営

- (ア) 野菜・淡水魚・山菜等盛岡市玉山地域物産加工, 卸及び小売販売業
- (イ) 盛岡市玉山地域の地場産業振興のための調査, 研究並びにその資料の販売事業
- (ウ) 温泉利用による保養所の運営, 管理事業
- (エ) 飲食店, 宿泊施設の運営, 管理及び一般観光案内に関する事業
- (オ) 各種催し物のためのイベント施設の運営, 貸借, 管理事業
- (カ) イベント企画, 製作, 運営事業
- (キ) 食料品, 酒, たばこ, 日用品雑貨の卸及び小売販売業
- (ク) 前各号に付帯又は関連する一切の業務

## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### (1) 事業実績(第21期, 平成29年4月1日～平成30年3月31日)

第21期は、11月からリニューアル工事が始まったことから、11月6日から宿泊と郷土食部門を休業し、12月18日からは全館休業となりました。

そのため売上及び利用者とも目標を大きく下回り、経費についても大幅に減少となっております。以下部門毎の内容を報告致します。

クアハウス部門は、回数券の販売が好調で、それに伴い『入浴ポイントカード』利用者も増えて常連客増となりました。また、『JAF会員優待施設』に登録を行ったことから利用者も増加となりました。

産直・売店部門は、月毎の増減が激しく、特に9月は産直・工房・業者共に売上が増加となりましたが、10月には葉物野菜の出荷減で売上が減少となり、全体として微減となっております。

宿泊・宴会部門は、9月まではスポーツ団体・ビジネス客の利用などもあり売上増となっておりますが、10月以降については、昨年は国体特需があったため大幅減となりました。

郷土食部門では、慢性的な人員不足により郷土食の休業が29日間あったことも要因となり、売上減となっております。

4月から休業前の10月までは、純売上高で昨年度より増額となっておりますが、経費面においても重油単価の上昇や人件費の増額などで昨年度より増額となっております。

今年度の当館のPR及び営業活動として、ビール祭り・ユートランドまつりの開催を致しました。10月には、利用客数が500万人を達成したことからセレモニーを開催し、テレビ・新聞等で取り上げられました。また、休業期間を利用し、県内全域の道の駅や三陸鉄道・いわて銀河鉄道各駅へのチラシ配布などを実施したところであります。

休業中の従業員については、講師を招いての研修会の開催や全客室の障子、襖の張替え、眺望ラウンジのテーブル・椅子・手すり及び湯上りラウンジのテーブルの塗装のほか、敷地内の木の伐採・剪定などを行ったところであります。

経営面につきましては、全体の売上実績は、昨年度対比約41,402千円減額の約75,843千円となっております。

一方、経営面では、29年4月より従量価格改定により水道料金は削減されましたが、重油については、単価が上昇し、電気料金については、契約電力がアップされております。人件費は、休業補償分も含め微減となっております。

なお、入湯税納付額は5,858,550円/年です。

以上の取組みにより売上実績75,843千円、利用者数実績134,839人となり、その結果、売上及び営業外収益で105,606千円、売上原価並びに一般管理費及び営業外費用で108,763千円となり、経常損失3,157千円から特別損失及び法人税・住民税を差し引き当期純損失は、3,342千円となりました。

なお、平成29年度指定管理料は総額31,087,000円です。

(2)決算の状況 損益計算書(会社法に基づく株式会社等)  
平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	金 額	
1 売上高	75,843,310	
クアハウス売上	34,117,890	
郷土食売上	8,116,951	
宿泊売上	25,519,815	
産直売店他売上	8,088,654	
2 売上原価	13,646,628	
期首たな卸高	262,102	
産直売店他仕入高	1,051,689	
当期製品製造原価	12,467,396	
合 計	13,781,187	
期末たな卸高	134,559	
売上総利益(損益)		62,196,682
3 販売費及び一般管理費	95,117,045	
営業損失		32,920,363
4 営業外収益	29,762,928	
受取利息	77	
雑収入	29,762,851	
5 営業外費用	0	
経常損失		3,157,435
6 特別利益	0	
7 特別損失	40,000	
固定資産除却損		
役員退職慰労金		
税引前当期純損失		3,157,435
法人税、住民税及び事業税	185,000	
当期純損失		3,342,435

貸借対照表(会社法に基づく株式会社等)

平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金	1,422,788	
売掛金	252,295	
たな卸資産	2,010,999	
未収入金	1,242,963	
その他	228,003	
流動資産合計		5,157,048
2 固定資産		
有形固定資産	663,935	
機械及び装置	642,232	
工具、器具及び備品	3	
建物付属設備	21,700	
有形固定資産合計		663,935
無形固定資産	0	
投資その他の資産	37,120	
固定資産合計		701,055
3 繰延資産	0	
資産合計		5,858,103
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
買掛金	244,621	
未払金	5,577,719	
未払費用	0	
その他	4,614,680	
流動負債合計		10,437,020
2 固定負債	0	
負債合計		10,437,020
<b>III 純資産の部</b>		
株主資本		
(資本金)	55,000,000	
(資本剰余金)	0	
(利益剰余金)	△ 59,578,917	
純資産の部合計		△ 4,578,917
負債・純資産の部合計		5,858,103

株主資本等変動計算書(会社法に基づく株式会社等)  
平 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

株主資本					
資本金	前期末残高				55,000,000
	当期変動額				0
	当期末残高				<u>55,000,000</u>
利益剰余金					
利益準備金	前期末残高				1,310,000
	当期変動額				0
	当期末残高				<u>1,310,000</u>
その他利益剰余金					
役員退職慰労積立金	当期首残高				1,840,000
	当期変動額		役員退職慰労積立金の取崩		0
	当期末残高				1,840,000
繰越利益剰余金	前期末残高				<u>△ 59,386,482</u>
	当期変動額		役員退職慰労積立金の取崩		0
	当期末残高		当期純損失		<u>△ 3,342,435</u>
					<u>△ 62,728,917</u>
利益剰余金合計	前期末残高				<u>△ 57,546,482</u>
	当期変動額		役員退職慰労積立金の取崩		0
	当期末残高		当期純損失		<u>△ 3,342,435</u>
					<u>△ 60,888,917</u>
株式資本合計	前期末残高				<u>△ 1,236,482</u>
	当期変動額				<u>△ 3,342,435</u>
	当期末残高				<u>△ 4,578,917</u>
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	前期末残高				0
	当期変動額				0
	当期末残高				<u>0</u>
純資産合計	前期末残高				<u>△ 1,236,482</u>
	当期変動額		役員退職慰労積立金の取崩		0
	当期末残高		当期純損失		<u>△ 3,342,435</u>
	当期末残高				<u>△ 4,578,917</u>
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	前期末残高				
	当期変動額				
	当期末残高				
純資産合計	前期末残高				
	当期変動額				
	当期末残高				



## 個別注記表(会社法に基づく株式会社等)

平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記	
(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法による原価法を採用しております。	
(2) 固定資産の原価償却の方法	
① 有形固定資産 定率法又は旧定率法を採用しております。 ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法を採用しております。	
(3) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。	
2. 貸借対照表に関する注記	
(1) 有形固定資産の減価償却累計額	2,414,603円
3. 株主資本等変動計算書に関する注記	
発行済株式総数	1,100株
4. 一株当たり情報に関する注記	
(1) 一株当たり純資産額は、-4,162.65円であります。	
(2) 一株当たり当期純損失は、3,038.57円であります。	

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 事業計画(第22期, 平成30年4月1日～平成31年3月31日)

##### 基本方針

1. 市民等の保健保養の場, 憩いの場, 交流の場として, 満足度の高い施設運営に取り組む。
2. 地域内企業の一員として, 地域内住民, 企業等と連携し, 地域の活性化に向けて取り組む。
3. 部門毎の経営改善を図り, 健全経営に努める。
4. 施設の設置目的にあるように, 農村資源を活用し, 都市との交流を積極的に推進する。

##### 基本計画

開設して20年経過したことから, 昨年度リニューアル工事を実施し, 内装も明るく, きれいになったほか, 2段ベッドの客室や研修宿泊室などへの模様替えに加え, 新たにパーベキューハウスやコインランドリー室の新設など多様に利用できる施設へ変身しました。

管理運営している当社としては, 施設の改修と並行して20年間使用している浴衣・帯・ルーム・キーホルダーの新調などお客様へのサービス向上に向けた取組みを実施いたします。

経営面においては, 新装となった施設を有効に活用し, 特に, 合宿や登山客の誘致など宿泊客の増加に向けた営業活動など積極的に対策を講じて参ります。誘客に向けた魅力あるプログラムと情報発信は有効な手段であることから, 盛岡市地域おこし協力隊との連携による体験プログラムを作成し, 地域の魅力を発信して参ります。

当施設のPRや施設案内・料金等についての情報発信については, 昨年度更新したホームページを有効に活用し誘客に努めて参ります。同時にSNS(フェイスブック等)による情報発信も進めて参ります。

料金関係につきましては, リニューアルを機に宿泊料金を全面的に見直すこととし, 利用者の多いビジネスマン向けとして新たにビジネスプランを設定するなど他の類似施設を参考に改定して参ります。

現在, 堅調に推移しておりますクアハウスにつきましては, 現在4,800円の回数券料金を, 5月から5,000円に値上げしております。

郷土食につきましては, 昨年度は人員不足により29日休業したことから, 今年度は新たに正社員1人採用したところであります。メニューにつきましては, 地産地消を基に新メニューの開発や朝食のバイキング形式への取組みを行うほか, 全面的な価格の見直しも行います。

今年度は, 開設20周年記念事業を実施することとしており, リニューアルオープンに合わせて実施した桜まつりや, これまでも実施してきたビール祭り・ユートランド祭り・夢あかりのイベントを実施するほか, リーフレットを改訂し作成することとしております。

昨年度策定した経営改善計画を基本に, 月毎に部門別の目標額を定め前年同期との比較検討を毎月の定例会議で行うなど経営改善に努め, 必要な指定管理料を継続して受けながら資本金の回復を図って参ります。

## 事業計画[具体的な取組]

### クアハウス

- ・回数券の値上げ(5月から 4,800円 → 5,000円)
- ・他団体企画の割引制度の活用
- ・宿泊客への入浴時間延長の検討

### 郷土食

- ・地産地消の推進
- ・メニューの随時見直し(第1回4/8実施)
- ・パーベキューハウスの利用促進

### 産直・売店

- ・産直いずみ会との連携による農産物の種類, 量, 質の確保
- ・農産物の品切れへの対策
- ・増設された花卉施設の有効活用

### ホテル(日帰り含む)

- ・インターネットなどで宿泊料金の弾力的な運用
- ・各種団体の保養施設としての契約拡大
- ・浴衣, 帯の新調
- ・ルームキーホルダーの新調

### PR・営業活動

- ・ホームページの有効活用(SNS)
- ・年齢層ごとの各種団体へのPR活動
- ・登山専門誌等への広告掲載の検討
- ・盛岡市地域おこし協力隊との連携によるPR活動の実施
- ・ふるさと納税の返礼品に登録(宿泊券)
- ・盛岡市及び観光関係団体との連携によるPR活動
- ・法事客の誘致に向けた葬儀店への営業活動

### イベント開催

- ・桜まつり(4月29日)
- ・ビール祭り(7月27, 28日)
- ・ユートランド祭り(9月下旬)
- ・雪あかり(2月)

### その他

- ・盛岡市との連携による健康教室等の開催
- ・眺望ラウンジの利用推進(ギャラリー等)
- ・館内及び敷地内の環境整備
- ・従業員の研修等による質的向上への取組
- ・劣化が進んでいる備品等の更新への取組
- ・食工房の今後のあり方の検討

## 第22期 売上及び利用者見込

	売上(単位:千円)	人数(単位:人)	客単価見込
クアハウス	52,700	117,400	449 円
郷土食	13,500	20,300	665 円
宿泊・宴会	44,900	8,850	5,073 円
産直・売店	11,200	59,100	189 円
計	122,300	205,650	

## (2) 収支予算の概要

平成30年度収支予算書  
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 収入の部				
1 基本財産運用収入	-	-	-	
2 事業収入	122,300,000	126,304,000	△ 4,004,000	
3 補助金収入	-	-	-	
4 雑収入	10,691,000	0	10,691,000	
当期収入合計(A)	132,991,000	126,304,000	6,687,000	
前期繰越収支差額				
収入合計(B)	132,991,000	126,304,000	6,687,000	
II 支出の部				
1 事業費	22,916,000	21,820,000	1,096,000	
2 管理費	110,075,000	104,484,000	5,591,000	
3 予備費	-	-	-	
4 その他	-	-	-	
当期支出合計(C)	132,991,000	126,304,000	6,687,000	
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0	

# 株式会社盛岡地域交流センター

## 1 総括事項

(1) 名称	株式会社盛岡地域交流センター
(2) 設立年月日	平成4年2月20日
(3) 資本金	金2,600,000,000円
(4) 市の出資額	金 690,300,000円
(5) 役員の名	代表取締役社長 谷 藤 裕 明 専務取締役 東 藤 郁 夫 常務取締役 渡 辺 武 裕 取 締 役 佐 野 成 信 取 締 役 砂子田 智 取 締 役 田 口 幸 雄 取 締 役 栗 田 均 取 締 役 柴 田 克 洋 取 締 役 村 上 尚 登 取 締 役 熊 谷 祐 三 取 締 役 久 保 憲 雄 取 締 役 谷 村 邦 久 常勤監査役 佐 藤 和 彦 監 査 役 藤 尾 善 一 監 査 役 佐 藤 利 久 監 査 役 早 坂 靖 志

(平成30年4月1日現在)

## (6) 事業の概要

- ア 不動産の賃貸及び管理
- イ 情報交流の促進並びに産業振興のための会議施設等の運営及び管理
- ウ 情報交流の促進並びに産業振興のための各種催事、展示会等の企画運営

## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### (1) 事業報告

#### 会社の状況に関する重要な事項

##### ア 事業の経過及びその成果

平成29年度の我が国経済をみますと、海外経済が回復を示す中、輸出や生産が増加する一方で、個人消費や民間設備投資の持ち直しなどにより民需が改善を示すなど、年度を通しての景況感は「緩やかな回復が続いている」とされています。しかし、2%のインフレターゲットは達成されておらず景気回復の実感が乏しい中、政府は「新しい経済政策パッケージ」や29年度補正予算を閣議決定しつつ各種政策の推進により経済の好循環を実現しようとしています。これによりGDP実質成長は年率で1.5%（速報値）と回復基調にあります。ただし、米国の自国第一主義を起因とする保護主義の高まりや中東情勢の不安定など、海外経済や金融資本市場に不安材料を抱えております中で、自律的且つ持続的な地域社会の形成等を目的とした経済政策がいち早く実効性のあるものとなるよう期待されております。

東北の賃貸オフィス市場における主要都市の空室率は、表1「東北主要都市及び当社の空室率推移表」のとおり、各都市共に小刻みな動きを示しております。

東北地域全体としては、新規供給が極めて少なく、概ね安定したマーケットが続いております。新規開設や拡張移転、或いはグレードアップ目的の移転等の動きが見えており、電力会社の大口解約により上昇した郡山市以外の5都市は軒並み空室率が低下しています。

仙台市は、平成23年度以降、順調に空室の消化が進んでおり、同市の助成制度を活用した新規開設や拡張移転、郊外からの立地改善移転等により3.6%の空室率とタイトな需給状況が続いております。

このような状況にあって平成29年度は1件の新規供給がありましたが、それも関連会社を集約しての大口移転により竣工時点でほぼ埋まってしまったことから、ニーズの解消には至っていないものと考えられます。

仙台駅前には再開発の期待が寄せられている物件がありますが、現時点でオフィスの新築計画等は発表されていないことから、今後も空室率の低下と賃料上昇の動きは継続するものと予想されます。

盛岡市では29年度後半に、医療系食事サービスの提供企業の拡張移転および生命保険会社のビル老朽化に伴う移転により、ある程度まとまった面積の空室が消化となったことから、東北主要都市の中では最も低い3.0%の空室率となっております。移転や増床の需要はあるものの、大型空室の希少性は増しているため、タイトな需給状況は今後も続く見通しです。

当社の平成29年度のテナント入退去の状況につきましては、表2「平成28年4月以降の新規入居、増床、転出等状況推移表」の通り、2件の異動と小幅なものとなりました。28年9月に転出した19階フィリップモリス跡に山田アンドパートナーズが、28年6月に閉店した4階飲食テナント跡に中島敏明氏が、それぞれ29年6月に入居致しました。その一方で、転出や縮小の発生は無かったことから、期を通じて高い入居率を維持することが出来、30年3月末の入居率は99.94%となっております。

平成29年度の収支状況につきましては、売上高は831,410千円と前期比7,989千円の増加となりました。

これは、通期での平均入居率が99.56%と高い入居率を維持できたことから、テナント賃貸収入、共益費収入、エネルギー収入がいずれも増加となったことによるものであります。

不動産賃貸収入のうち、会議室収入は、28年度に開催された国体関連やLCSWS2016国際会議など大口利用の減少を各種の利用増や利用効率の向上により好調だった前期を上回る結果となりました。

売上原価が電気料や減価償却費の増加により28年度を上回ったため、売上総利益は372,826千円となりましたが、販売費および一般管理費において前期比7,066千円減少となったことから、営業利益は272,486千円と前期比12,996千円の増益となりました。

このため、金利負担の減少もあり、経常利益は273,652千円と前期比16,495千円、当期純利益につきましても189,673千円と前期比11,672千円の増益となりました。

表1 「東北主要都市及び当社の空室率推移表」

都市名	平成29年3月	平成29年6月	平成29年9月	平成29年12月	平成30年3月	前年同期比
仙台市	5.5%	4.5%	4.7%	3.9%	3.6%	△1.9ポイント
盛岡市	3.9%	4.0%	3.8%	3.5%	3.0%	△0.9ポイント
青森市	11.0%	10.9%	10.5%	9.3%	10.3%	△0.7ポイント
秋田市	14.0%	13.3%	12.8%	11.6%	11.3%	△2.7ポイント
山形市	7.1%	5.6%	6.8%	5.1%	4.8%	△2.3ポイント
郡山市	3.4%	3.9%	3.2%	4.5%	4.7%	+1.3ポイント
当社	2.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	△2.2ポイント

※資料・CBRE(株)ジャパンオフィスマーケットビュー

※各四半期の空室率算定基準・・・延床面積1,000坪以上で新耐震基準に準拠した  
賃貸オフィスビルを対象

表2 「平成28年4月以降の新規入居、増床、転出等状況推移表」

時期	テナント名	入居階・床面積	床面積比率	備考	入居率
平成28年4月	ソフトバンク(倉庫)	15階 △20.15㎡	△0.15%	解約	99.84%
平成28年4月	高橋衛歯科医院(倉庫)	15階 20.15㎡	0.15%	新規入居	100.00%
平成28年6月	ビー・エム・エス	4階 △159.54㎡	△1.26%	閉店	98.73%
平成28年9月	フィリップモリス	19階 △127.15㎡	△1.00%	本社に統合	97.73%
平成28年10月	パソナ	11階 △66.00㎡	△0.52%	13階同社に集約	97.20%
平成28年11月	岩谷産業	11階 66.00㎡	0.52%	新規入居	97.73%
平成29年3月	岩手労働局(倉庫)	19階 △7.65㎡	△0.06%	解約	97.67%
平成29年6月	山田アンドパートナーズ	19階 127.15㎡	1.01%	新規入居	98.68%
平成29年6月	中島敏明 (ジューグリート)	4階 159.54㎡	1.26%	新規入居	99.94%

※賃貸可能床面積：12,637.74㎡



イ 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は、28,596千円であります。

主なものは、BASローカルユニット更新工事22,522千円、照明制御盤更新工事4,924千円等であります。

ウ 財産及び損益の状況の推移

財産及び損益の状況の推移は、次のとおりです。

区分 \ 期間	平成26年度 (第24期)	平成27年度 (第25期)	平成28年度 (第26期)	平成29年度 (第27期)
売上高 (千円)	830,091	823,468	823,421	831,410
経常利益 (千円)	229,401	252,400	257,157	273,652
当期純利益 (千円)	131,515	168,303	178,002	189,673
一株当り 当期純利益 (円)	2,529.14	3,236.59	3,423.11	3,647.57
総資産 (千円)	4,396,076	4,394,550	4,324,267	4,509,103
純資産 (千円)	3,468,236	3,623,540	3,788,542	3,965,216

# 貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	969,635,710	流動負債	166,443,404
現金及び預金	958,759,586	未払金	40,482,923
貯蔵品	575,529	未払費用	3,227,276
未収入金	1,772,106	前受金	53,040,540
前払費用	3,918,762	預り金	1,128,177
繰延税金資産	4,609,727	未払法人税等	51,562,900
		仮受金	82,488
		未払消費税等	16,919,100
固定資産	3,539,467,479	固定負債	377,443,724
有形固定資産	3,204,275,744	預り敷金	370,726,124
建物	3,178,149,463	役員退職慰労引当金	3,990,000
構築物	2,103,217	退職給付引当金	2,727,600
機械装置	699,701		
工具器具備品	22,125,363	負債合計	543,887,128
建設仮勘定	1,198,000		
無形固定資産	620,134	(純資産の部)	
ソフトウェア	620,134	株主資本	3,965,216,061
投資その他の資産	334,571,601	資本金	2,600,000,000
投資有価証券	325,189,502	利益剰余金	1,365,216,061
出資金	50,000	利益準備金	7,800,000
長期前払費用	5,762,734	その他利益剰余金	1,357,416,061
繰延税金資産	3,485,268	別途積立金	1,160,000,000
破産更生債権等	2,213,059	繰越利益剰余金	197,416,061
貸倒引当金	△2,128,962		
		純資産合計	3,965,216,061
資産合計	4,509,103,189	負債及び純資産合計	4,509,103,189

# 損 益 計 算 書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
売 上 高		831,410,587
売 上 原 価		458,583,944
売 上 総 利 益		372,826,643
販売費及び一般管理費		100,339,839
営 業 利 益		272,486,804
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	1,217,137	
雑 収 入	235,487	1,452,624
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	251,595	
雑 損 失	35,016	286,611
経 常 利 益		273,652,817
税引前当期純利益		273,652,817
法人税、住民税及び事業税	83,636,921	
法人税等調整額	341,906	83,978,827
当 期 純 利 益		189,673,990

# 株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：円)

株主資本			
資本金	前期末残高		2,600,000,000
	当期変動額	新株の発行	0
	当期末残高		2,600,000,000
資本剰余金			
資本準備金	前期末残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
その他資本剰余金	前期末残高及び当期末残高		0
資本剰余金合計	前期末残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
利益剰余金			
利益準備金	前期末残高		6,500,000
	当期変動額	剰余金の配当に伴う積立て	1,300,000
	当期末残高		7,800,000
その他利益剰余金			
別途積立金	前期末残高		990,000,000
	当期変動額	平成28年度剰余金処分	170,000,000
	当期末残高		1,160,000,000
繰越利益剰余金	前期末残高		192,042,071
	当期変動額	平成28年度剰余金処分 剰余金の配当 準備金の積立て 当期純利益	△ 170,000,000 △ 13,000,000 △ 1,300,000 189,673,990
	当期末残高		197,416,061
利益剰余金合計	前期末残高		1,188,542,071
	当期変動額		176,673,990
	当期末残高		1,365,216,061
自己株式	前期末残高		0
	当期変動額	自己株式の処分	0
	当期末残高		0
株主資本合計	前期末残高		3,788,542,071
	当期変動額		176,673,990
	当期末残高		3,965,216,061
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	前期末残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		0
純資産合計	前期末残高		3,788,542,071
	当期変動額		176,673,990
	当期末残高		3,965,216,061

# 個 別 注 記 表

## I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法

### 2 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

定額法によっております。

#### (2) 無形固定資産

定額法によっております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### 3 引当金の計上基準

#### (1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、破産更生債権等については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### (2) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

#### (3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、内規に基づく期末要支給額から中小企業退職金共済負担分及び特定退職金共済制度負担分を控除した残額の100%の金額を計上しております。

### 4 消費税及び地方消費税の処理方法

税抜き方式によっております。

## II 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

4,642,168千円

## III 株主資本等変動計算書に関する注記

1 当事業年度の末日における発行済株式の数

52,000株

## 2 剰余金の配当に関する事項

### (1) 配当金支払額

平成29年6月29日、定時株主総会決議

① 株式の種類	普通株式
② 配当金の総額	13,000千円
③ 1株当たり配当額	250円
④ 基準日	平成29年3月31日
⑤ 効力発生日	平成29年7月3日

### (2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成30年6月29日開催の第27回定時株主総会の議案として、株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

① 株式の種類	普通株式
② 配当金の総額	13,000千円
③ 配当の原資	利益剰余金
④ 1株当たり配当額	250円
⑤ 基準日	平成30年3月31日
⑥ 効力発生日	平成30年7月4日

平成30年6月29日開催の第27回定時株主総会において、上記の議案は可決された。

(平成30年6月29日加筆)

## IV 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

### 1 繰延税金資産（流動）

未払事業税	2,788千円
未払地方法人特別税	1,176千円
未払賞与	<u>645千円</u>
繰延税金資産（流動）合計	4,609千円

### 2 繰延税金資産（固定）

一括償却資産	223千円
減価償却超過額	607千円
貸倒引当金	638千円
役員退職慰労引当金	1,197千円
退職給付引当金	<u>818千円</u>
繰延税金資産（固定）合計	3,485千円

## V 金融商品に関する注記

### 1 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用について預金及び安全資産である国債並びに政府保証債に限定するとともに、資金調達は、開業当初時の銀行等金融機関からの借入のみとなっております。

### 2 金融商品の時価等に関する事項

平成30年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額（※1）	時価（※1）	差額
(1) 現金及び預金	958,759	958,759	—
(2) 未収入金	1,772	1,772	—
(3) 投資有価証券 満期保有目的の債券	325,189	330,860	5,670
(4) 破産更生債権等 貸倒引当金（※2）	2,213 △2,128		
	84	84	—
(5) 未払金	(40,482)	(40,482)	—
(6) 預り敷金	(370,726)	(370,726)	—

（※1）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（※2）破産更生債権等に個別に計上している貸倒引当金を控除しております。

### （注1）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

#### (1) 現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (2) 未収入金、並びに(5)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (3) 投資有価証券

投資有価証券は国債及び政府保証債であり、時価については、取引金融機関から提示された価格によっております。

また、投資有価証券はすべて満期保有目的であり、種類ごとの貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は次のとおりであります。

なお、当事業年度中に売却した満期保有目的の債券はありません。

(単位：千円)

	種 類	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	国 債	225,189	230,760	5,570
	政府保証債	100,000	100,100	100
	小 計	325,189	330,860	5,670
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	国 債	—	—	—
	政府保証債	—	—	—
	小 計	—	—	—
合 計		325,189	330,860	5,670

## (4) 破産更生債権等

破産更生債権等については、担保及び回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は決算日における貸借対照表価額から現在の貸倒見積高を控除した金額と近似しているため、当該帳簿価額によっております。

## (5) 預り敷金

預り敷金の時価については、当期末における賃料相場により算定しております。

## (注2) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	958,759	—	—	—
投資有価証券	—	175,000	50,000	100,000
合 計	958,759	175,000	50,000	100,000

## VI 賃貸等不動産に関する注記

## 1 賃貸等不動産の状況に関する事項

当社は、賃貸用のオフィスビルを区分所有しております。なお、その一部については当社が使用しているため、賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産としております。平成30年3月期における当該賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産に関する 賃貸損益は372,826千円（賃貸収入は売上高831,410千円、賃貸費用は売上原価458,583千円）であります。減損損失はありません。



2 賃貸等不動産の時価に関する事項

当該賃貸等不動産として使用される部分を含む不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は、次のとおりであります。

(単位：千円)

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
3,285,577	△105,324	3,180,252	4,043,941

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額であります。

(注2) 当期末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額であります。

VII 一株当たり情報に関する注記

1 一株当たり純資産額	76,254円15銭
2 一株当たり当期純利益	3,647円57銭

VIII その他の注記

1 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2 退職給付に関する注記

(1) 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度を設けております。なお、中小企業退職金共済及び特定退職金共済制度に加入しており、退職一時金の一部に充当しております。

(2) 退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	2,817千円
退職給付費用	1,589千円
退職給付の支払額	△90千円
制度への拠出額	<u>△1,589千円</u>
期末における退職給付引当金	<u>2,727千円</u>

# 附 属 明 細 書

## 1 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	建 物	3,282,444,430	28,596,980	—	132,891,947	3,178,149,463	4,358,981,969	7,537,131,432
	構 築 物	3,132,840	—	—	1,029,623	2,103,217	47,634,789	49,738,006
	機 械 装 置	1,085,734	—	—	386,033	699,701	104,184,136	104,883,837
	工具器具備品	28,777,521	—	—	6,652,158	22,125,363	131,367,165	153,492,528
	建設仮勘定	1,797,000	—	599,000	—	1,198,000	—	1,198,000
	計	3,317,237,525	28,596,980	599,000	140,959,761	3,204,275,744	4,642,168,059	7,846,443,803
無形 固定 資産	ソフトウェア	964,934	—	—	344,800	620,134		
	計	964,934	—	—	344,800	620,134		

(注) 当期増加額の主なものは以下のとおりであります。

建 物	BASローカルユニット更新工事 (第3工区)	22,522千円
	照明制御盤更新工事	4,924千円

## 2 引当金の明細

(単位：円)

科 目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
貸倒引当金	2,128,962	—	—	2,128,962
役員退職慰労引当金	4,090,000	700,000	800,000	3,990,000

(注) 退職給付引当金について、退職給付に関する注記を個別注記表に記載していることから、計算書類の附属明細書における引当金の明細への記載を省略しております。

### 3 販売費及び一般管理費の明細

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要
役 員 報 酬	13,420,000	
給 料 手 当	42,833,822	
退 職 給 付 費 用	1,589,000	
研 修 費	222,042	
法 定 福 利 費	8,871,521	
福 利 厚 生 費	1,829,282	
旅 費 交 通 費	1,890,358	
通 信 費	534,592	
広 告 宣 伝 費	1,302,228	
接 待 交 際 費	883,964	
会 議 費	190,659	
水 道 光 熱 費	2,529,055	
消 耗 品 費	1,204,524	
租 税 公 課	16,910,720	
図 書 新 聞 費	243,018	
支 払 手 数 料	3,623,400	
諸 会 費	159,960	
寄 付 金	110,000	
賃 借 料	1,046,980	
備 品 費	16,300	
諸 雑 費	228,414	
役員退職慰労引当金繰入	700,000	
計	100,339,839	

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 平成30年度事業計画の基本方針

平成30年度は、28年度から30年度までを計画期間とする「第三次中期経営計画」の最終年度として、これまでの実績の下に、引き続き、健全経営に努めるとともに、中長期的な視点を持ちながら、「第四次中期経営計画」を策定してまいります。

また、「第三次中期経営計画」に掲げる6つの基本方針①会社の持続的発展を支える人材育成②安定的な収益確保③株主への利益還元の見直し④第二次中長期修繕計画の確実な執行⑤マリオスの付加価値の向上⑥公民連携に基づく新たな事業展開を中心に会社経営に努めてまいります。

前段の3つの方針につきましては、社内的に業務執行体制の充実や所掌業務の明確化と内外情報の共有、研修機会の拡大、就労条件の改善などにより推進いたします。また、後段の3つの方針につきましては、区分所有者との合意形成や盛岡市をはじめとする関係機関との連携が大切であることを認識しながら推進してまいります。

#### (2) 平成30年度重点事業計画

##### ア 経営基盤の強化

テナントにおける高い入居率の維持・向上に努め、今後のテナント転出・集約リスクに備えて、岩手県、盛岡市及び関係各方面からの企業立地情報、入居見込先情報等の提供をいただくとともに、不動産仲介業者等とのネットワークの拡充を図り、積極的なテナントやイベントの情報収集に努めます。空室発生時には、その期間の最大限の短縮を図るため、転出日程を前提に、転出手続きと同時並行して見込み先との交渉などを迅速に進めます。

新規入居、契約更新における賃料設定については、不動産市場における賃料の下げ止まり傾向を踏まえ、お客様と真摯な交渉に努めます。

また、盛岡観光コンベンション協会など、関係機関との連携に努め、会議室の利用促進を図るほか、マリオス館内の専有部、共用部の有効活用により、テナント、市民のみなさまへのサービスの向上と収益の増加を図ります。

当社の経営基盤を支える人材を育成するため、社員との面談に基づくキャリアプランの充実や適材適所の人事、役員社員の計画的な研修機会の確保とともに

に、働き方改革に取り組むほか、盛岡市や他の公益法人、第3セクターなどの給与、諸手当などの就労条件も参考としながら、必要な処遇改善を図ります。また、「内部統制システムの基本方針」に基づき、適正な会社業務の執行に努めます。

さらには、岩手県、盛岡市の玄関口・拠点としての役割を担う盛岡駅西口、マリオスそして当社の将来を見据え、盛岡市をはじめ関係機関と連携しながら、新たな事業展開の検討など、持続的な発展が図られるよう努めます。

#### イ ビルの適正な維持管理

建設から20年を経過したビルであることから、日常的な建物・設備の維持管理と「第二次中長期修繕計画」に基づく修繕費用財源の確保や計画的な工事発注に努めるとともに、「第三次中長期修繕計画」を策定してまいります。

また、複合ビルとして防火・防災消防計画や事業継続計画（BCP）の実効性を高めるため、ビル全体の自衛消防隊と入居者による防火・防災訓練の実施により自衛意識の高揚を図り、安全安心で快適なビル環境を提供します。

大型修繕につきましては、BAS（Building Automation System）ローカルユニットコントロール更新工事や外壁他シール打替え工事の継続など、区分所有者と合意形成を図りながら着実に実施します。

#### ウ 盛岡駅周辺の「賑わいの創出」とサービスの向上

盛岡駅周辺の「賑わいの創出」のため、マリオスロード地区協議会事業の「サマーフェスティバル」や「ハートフルクリスマス」等に参画するとともに、若手の発想を生かした「盛岡駅周辺の活性化プロジェクトMMM（もっと盛り上がる盛岡）」について、盛岡ターミナルビルと連携し、今後の在り方の検討を含めて活動に取り組みます。

また、テナント入居者やマリオス来館者等へのサービス向上のため、新たにデジタルサイネージを設置し、情報発信の充実に努めるとともに、マリオス納涼祭りの開催のほか、3階エントランス、4階アトリウム、6階屋上庭園、20階展望室の有効活用を図ります。

以上、平成30年度重点事業を確実に実行し、シンボルタワーとしてのマリオスの総合評価をさらに高め、県都盛岡の発展に寄与します。

## (3) 収支予算の概要

## 平成30年度収支計画

単位:円

区 分	平成29年度 実績額(a)	平成30年度 収支計画(b)	比較増減 (b)-(a)
売 上 高	831,410,587	775,460,000	△ 55,950,587
不動産賃貸収入	830,593,026	774,552,000	△ 56,041,026
テナント賃貸収入	747,466,101	694,111,000	△ 53,355,101
貸会議室収入	60,950,983	57,019,000	△ 3,931,983
ビル管理収入	22,175,942	23,422,000	1,246,058
情報事業収入	817,561	908,000	90,439
売 上 原 価	458,583,944	488,984,000	30,400,056
不動産賃貸費用	456,885,827	487,152,000	30,266,173
情報事業費用	1,698,117	1,832,000	133,883
売 上 総 利 益	372,826,643	286,476,000	△ 86,350,643
販売費及び一般管理費	100,339,839	104,686,000	4,346,161
営 業 利 益	272,486,804	181,790,000	△ 90,696,804
営 業 外 収 益	1,452,624	1,623,000	170,376
受取利息・配当金	1,217,137	1,623,000	405,863
雑 収 入	235,487	—	△ 235,487
営 業 外 費 用	286,611	—	△ 286,611
支 払 利 息	251,595	—	△ 251,595
雑 損 失	35,016	—	△ 35,016
経 常 利 益	273,652,817	183,413,000	△ 90,239,817
特 別 利 益	—	—	—
特 別 損 失	—	—	—
固定資産除却損	—	—	—
税引前当期純利益	273,652,817	183,413,000	△ 90,239,817
法人税、住民税及び事業税	83,636,921	55,023,000	△ 28,613,921
法人税等調整額	341,906	—	△ 341,906
当期純利益	189,673,990	128,390,000	△ 61,283,990

※平成30年度収支計画における法人税、住民税及び事業税は実効税率30%で計算。

平成30年度資金計画

単位:円

区 分	平成29年度決算額	平成30年度計画	備 考
前期繰越金(現金・預金)	693,532,422	958,759,586	
資 金 調 達	82,392,264	—	
借 入 金	—	—	
預 り 敷 金	7,392,264	—	
投資有価証券償還	75,000,000	—	
資 金 運 用	250,976,807	200,477,000	
法人税・住民税	83,978,827	77,350,000	
借入金返済	26,000,000	—	
投資有価証券運用	100,000,000	—	
設 備 投 資	27,997,980	72,486,000	
敷 金 返 還	—	37,641,000	
配 当 金	13,000,000	13,000,000	
税引前当期純利益	273,652,817	183,413,000	
減価償却費	141,304,561	142,971,000	
固定資産除却損	—	—	
小 計 1	414,957,378	326,384,000	
当期における資産増加額	7,914,910	—	
当期における負債増加額	26,769,239	—	
小 計 2	△ 18,854,329	—	
次 期 繰 越 金	958,759,586	1,084,666,586	

# 公益財団法人 盛岡地域地場産業振興センター

## 1 総括事項

(1) 名称 公益財団法人 盛岡地域地場産業振興センター

(2) 設立年月日 昭和59年8月31日

(3) 資本金又は基本財産 金 27,370,000円

(4) 市の出資額 金 10,555,000円

(5) 役員の氏名  
(理事)

理事長	谷藤 裕明
理事	田村 正彦
理事	柳村 典秀
理事	深谷 政光
理事	民部田 幾夫
理事	鈴木 重男
理事	熊谷 泉
理事	谷村 邦久
理事	沼田 秀彦
理事	高橋 富一
理事	阿部 正喜
理事	平井 滋
理事	佐々木 勇
理事	吉田 尹
理事	佐々木 俊幸
監事	高橋 昌造
監事	兼平 賀章
会長	岩清水 晃
評議員	小笠原 章
評議員	小野 信太郎
評議員	勝又 吉治
評議員	白澤 國雄
評議員	北舘 充史
評議員	田山 和文
評議員	宮田 克明

(監事)

(評議員)

(平成30年4月1日現在)

(6) 事業の概要

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは昭和61年の開業以来、盛岡広域圏内の地場産品紹介普及啓発事業や体験学習事業、展示資料室運営事業、人材育成事業といった公益目的事業と、施設賃貸事業・販売促進事業といった収益事業、交流促進事業等のその他の事業のほか、観光との融合を図りながら地場産業界の振興を目的とした事業を行っている。

ア 公益目的事業

イ 収益事業

ウ その他の事業

エ 管理運営事業



## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### (1) 事業実績

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統の中で育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、平成29年度も積極的に盛岡広域8市町と連携し、公益目的事業の核となる地場産品紹介普及啓発、体験学習、地場産品の資料展示や人材育成事業による後継者の育成など公益事業を行いました。

また、センターの運営安定を図るための収益事業としては南部鉄器協同組合や自動販売機業者及び一般の方々へ施設の賃貸を行ったほか、地域外で生産されている集客性の高い商品の販売も積極的に実施しました。

その他、行政等の支援事業を活用し、盛岡広域内で製作活動をしている工芸品事業者の情報を収集し、紹介した「岩手山麓・手づくりの里」マップを製作配布したほか、首都圏での盛岡広域の工芸品展示会を開催し、紹介宣伝を行い地場産業の普及に努め、公益事業との連携を図りました。

### (2) 決算の状況

#### ア 正味財産増減計算書

平成29年度は、展示即売室売上が173,474千円（対前年度比100.2%）、体験学習売上が20,522千円（同95.8%）、展示資料室入場料売上が161千円（同62.6%）となり、総売上が194,158千円（同99.7%）となりました。

経常収益は、即売室売上の仕入商品売上割合の低下、体験学習売上の減少及び委託事業にかかる委託料収益の減少等により、事業収益が7,059千円減の104,095千円となったほか、受取補助金等が2,276千円減の45,349千円となったことなどから、9,840千円減の計149,448千円となりました。

経常費用は、有人夜間警備の廃止による経費節減を行ったほか、展示即売室の売上減少に伴う事業原価の減少や、委託料収益の減少に伴う人件費等委託事業費の減少、除雪費及び光熱水費の増加等により、2,203千円減の計158,057千円となりました。

これにより、当期経常増減額は△8,608千円となり、法人税、住民税及び事業税72千円を合わせた当期一般正味財産増減額は7,637千円減の△8,680千円、正味財産期末残高は587,402千円となりました。

#### イ 貸借対照表

平成29年度は、資産の部において、未収金及びたな卸資産の減少等により流動資産は2,074千円減の28,315千円となりました。また、リース資産ほか固定資産の減価償却等から、固定資産は9,052千円減の594,252千円となり、資産合計は11,127千円減の622,568千円となりました。

負債の部は、預り金の増加等により流動負債は294千円増の19,405千円となりました。また、固定負債はリース資産の長期未払金の減少により2,741千円減の15,760千円となり、負債合計は2,446千円減の35,166千円となりました。

正味財産の部は、8,680千円減の587,402千円となり、負債及び正味財産合計は622,568千円となりました。

**正味財産増減計算書**  
平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常増減の部</b>		
<b>1 経常収益</b>		
基本財産運用益	2,737	
特定資産運用益	151	
事業収益	104,095,995	
受取補助金等	45,349,735	
雑収益	271	
経常収益計	149,448,889	
<b>2 経常費用</b>		
事業費	151,732,189	
管理費	6,325,243	
経常費用計	158,057,432	
<b>当期経常増減額</b>		△ 8,608,543
<b>II 経常外増減の部</b>		
<b>1 経常外収益</b>		
経常外収益計	0	
<b>2 経常外費用</b>		
経常外費用計	0	
<b>当期経常外増減額</b>		0
法人税・住民税及び事業税		72,000
<b>当期一般正味財産増減額</b>		△ 8,680,543
一般正味財産期首残高		568,712,732
一般正味財産期末残高		560,032,189
指定正味財産期末残高		27,370,000
正味財産期末残高		587,402,189

**貸借対照表**  
平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金	14,655,153	
未収金	7,878,575	
その他	5,781,957	
流動資産合計		28,315,685
2 固定資産		
基本財産		
定期預金	27,370,000	
基本財産合計	27,370,000	
特定資産		
修繕積立金	2,235,776	
特定資産合計	2,235,776	
その他の固定資産		
土地	429,472,895	
建物	118,404,330	
構築物	5,006	
車両運搬具	1	
その他	16,764,754	
その他の固定資産合計	564,646,986	
固定資産合計		594,252,762
資産合計		622,568,447
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	15,212,854	
その他	4,192,424	
流動負債合計		19,405,278
2 固定負債		
長期未払金	15,760,980	
固定負債合計		15,760,980
負債合計		35,166,258
<b>III 正味財産の部</b>		
正味財産	587,402,189	
(うち出捐金)	27,370,000	
(うち当期正味財産増減額)	△ 8,680,543	
負債及び正味財産合計		622,568,447

**財 産 目 録**  
平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	14,655,153	
未収金	7,878,575	
その他	5,781,957	
流動資産合計		28,315,685
2 固定資産		
基本財産		
定期預金	27,370,000	
基本財産合計	27,370,000	
特定資産		
修繕積立金	2,235,776	
特定資産合計	2,235,776	
その他の固定資産		
土地	429,472,895	
建物	118,404,330	
構築物	5,006	
車両運搬具	1	
その他	16,764,754	
その他の固定資産合計	564,646,986	
固定資産合計		594,252,762
資産合計		622,568,447
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	15,212,854	
その他	4,192,424	
流動負債合計		19,405,278
2 固定負債		
長期未払金	15,760,980	
固定負債合計		15,760,980
負債合計		35,166,258
差引純資産		587,402,189

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 事業計画

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統のなかで育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、平成30年度も広域8市町との連携強化に努め盛岡地域の地場産業の振興を図り、地場産業の育成と強化などに取り組みます。特に広域内の若手工芸者やものづくり事業者等のネットワーク化を図り、盛岡手づくり村と一体となった組織を形成し、岩手山麓で製作される工芸品や食品の県内外での紹介宣伝、普及啓発を図るほか、地場産業の理解向上を目的として、地域内の小中学校、老人施設を対象に体験学習や地場産品の資料展示を活用したキャリア教育、生涯教育の場の提供、人材育成事業による後継者の育成など公益目的事業を実施します。

また、地域外商品の紹介、施設賃貸等に加え、出前による体験学習や宿泊施設への手づくり体験利用券活用促進、インバウンドへの手づくり教室の紹介宣伝など新たな収益事業についても取り組み、当センターの運営安定を図ります。さらに、地場産業の普及や啓発に関する事業を受託し、幅広く紹介宣伝することにより、公益目的事業への相乗的な効果に資する取組を進めるものとします。

#### ア 地場産業振興事業（公益目的事業）

盛岡広域圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及啓発を図る「地場産品紹介普及啓発事業」、工芸品の振興を図り後継者の確保を目的とする「体験学習事業」、盛岡地域地場産業への理解向上と将来の地場産業振興発展を目的とする「展示資料室運営事業」を公益目的事業として積極的に推進し、盛岡地域内の地場産業の振興を図ります。

#### イ 人材育成事業（公益目的事業）

盛岡地域の手づくり産業を担う技術後継者や経営後継者の育成を図り、地場産業の活性化と振興に努めます。また、盛岡広域で育まれてきた地場の産業の継続的な事業展開を目指し、講演会や研修会などの開催を通し、技術力の向上や交流の促進に努めます。

#### ウ 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合・自動販売機業者及び一般利用者へ施設の賃貸を行い、当センター運営に必要な収益の一部とします。

#### エ 販売促進事業（収益事業）

アロニアジャムやアロニアサプリメント、オリジナルアイス「なんじえら？」の販売を進めます。また、盛岡地域外の収益性の高い商品や、集客性の高い商品等の販売を行い収益の拡大を図り、センター運営にあてる収益の確保に努めます。

#### オ 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村が共用する施設について、維持管理費を負担し合いながら、施設の管理を行います。

#### カ 南部曲り家地場産品普及宣伝事業（その他の事業）

盛岡手づくり村の南部曲り家は、古くから馬産地である盛岡広域の伝統的な生活様式を現代に伝える貴重な建造物です。この南部曲り家で工芸品の製作実演や伝統行事などを行うほか、体験学習の会場としても活用し、地場産業の歴史や民工芸品を宣伝紹介し、地域文化への理解を得るとともに手づくり品の振興を図ります。

#### キ 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

盛岡広域の工芸品や食品を地域の文化とともに国内外に紹介し普及を図るため、地場産品としての認証をするなど品質やブランドの確立に努めます。

ク 交流促進事業（その他の事業）

盛岡広域市町との交流促進を図りながら共に季節毎の催事を企画、開催するほか、他団体主催のイベントの誘致や支援を行い地場産品の普及宣伝に努めます。また、岩手山麓で工芸品を製作している事業者による「ものづくり市」等の企画について検討するなど、新たな企画について調査・研究に取り組み、催事の充実を図ります。

ケ 管理運営事業

盛岡広域の地場産業振興の拠点性を高めるために、盛岡広域圏内8市町との連携を図り、振興センターが有する機能を活用した事業等の計画、実施並びに地域経済及び各施策に関する情報の共有、交換を行い広域経済の活性化を図るほか、周辺施設との連携に努め来村者の誘客と利便性の向上に努めます。

併せて、観光事業に取り組む関係機関などと連携を強化し、競合する施設の中から、選ばれ、喜ばれる、盛岡手づくり村を目指します。

## (2) 収支予算の概要

## 平成30年度収支予算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
I 経常収益				
1 基本財産運用益	10,000	10,000	0	
2 事業収益	107,440,000	103,753,000	3,687,000	
3 受取補助金等	45,378,000	45,273,000	105,000	
4 雑収益	3,000	8,000	△ 5,000	
経常収益計(A)	152,831,000	149,044,000	3,787,000	
II 経常費用				
1 事業費	154,217,000	148,790,000	5,427,000	
2 管理費	4,466,000	6,574,000	△ 2,108,000	
経常費用計(B)	158,683,000	155,364,000	3,319,000	
当期経常増減額(A)－(B)	△ 5,852,000	△ 6,320,000	468,000	
一般正味財産期首残高	562,392,000	568,712,000	△ 6,320,000	
一般正味財産期末残高	556,540,000	562,392,000	△ 5,852,000	
指定正味財産期末残高	27,370,000	27,370,000	0	
正味財産期末残高	583,910,000	589,762,000	△ 5,852,000	

# 公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会

## 1 総括事項

- (1) 名称 公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会
- (2) 設立年月日 平成6年8月1日
- (3) 資本金又は基本財産 金 304,900,000円
- (4) 市の出資額 金 150,500,000円
- (5) 役員の名
- |      |        |
|------|--------|
| 理事長  | 谷村邦久   |
| 専務理事 | 小原俊彦   |
| 理事   | 伊壺時雄   |
| 理事   | 太田代洋一郎 |
| 理事   | 熊澤道彦   |
| 理事   | 小崎博子   |
| 理事   | 佐藤達也   |
| 理事   | 西舘政美   |
| 理事   | 堀内紀孝   |
| 理事   | 間瀬信康   |
| 監事   | 浅沼晃    |
| 監事   | 宮田俊平   |
- (平成30年4月1日現在)

## (6) 事業の概要

当法人は、盛岡市及び岩手県の有する文化的・社会的・経済的特性を活かし、国内外からのコンベンション及び観光客に対する誘致並びに支援、観光資源の開発宣伝、観光文化施設の整備及び管理を行うことにより、観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化及び文化の向上に寄与することを目的とする。

- (ア) 観光並びにコンベンションに関する企画、調査及び開発事業
- (イ) 観光並びにコンベンション関係機関との連携及び調査事業
- (ウ) 観光並びにコンベンションの受入れ体制の整備及び誘致活動の推進事業
- (エ) 観光並びにコンベンションに関する情報の収集及び出版物等による宣伝事業
- (オ) 観光並びにコンベンションに関する意識の向上及び関係者の人材育成事業
- (カ) 観光土産品の推奨、改善指導及び販路の拡張事業
- (キ) 観光施設等の受託管理及び付帯事業に関する運営事業
- (ク) まちなか観光の推進と市民ボランティアによるおもてなし観光案内事業
- (ケ) 第三種旅行業に関する事業
- (コ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業



## 2 平成29年度事業実績及び決算の状況

### (1) 事業実績

国内外からの観光客及びコンベンションの誘致並びに支援、観光資源の開発宣伝、観光文化施設の整備・管理を行うことにより、観光振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域経済の活性化及び文化の向上を目指してまいりました。

平成29年度は、東北絆まつり2017仙台での観光PRや教育旅行誘致、増加する外国人観光客への対応、盛岡MICE助成金を活用したコンベンション誘致支援などに取り組み、次の事業を重点的に実施しました。

#### ① 教育旅行誘致事業

- ・ 盛岡及び広域への修学旅行生誘致のための岩手県修学旅行誘致説明会への参加や、北海道、仙台からの修学旅行誘致を継続して推進するために札幌市、函館市及び仙台市内の旅行エージェントを訪問し、小・中学校への個別訪問も行いました。

#### ② 外国人観光客誘致受入事業

- ・ 観光文化情報プラザ（プラザおでって2階）及びいわて・盛岡広域観光センター（盛岡駅構内南口）にて、外国人観光客のWi-Fi ニーズにこたえる光ステーション接続システムを継続設置し観光情報を提供しました。

#### ③ コンベンション事業

- ・ 各種コンベンション招致に向け、第27回国際MICEエキスポに出展したほか、首都圏の各学会・大会事務局を個別訪問し、盛岡MICE助成金など各種助成制度、支援内容、コンベンション施設等開催に必要な情報提供及び観光・物産・食など当地の魅力をPRし、誘致活動を行いました。
- ・ 岩手大学、岩手医科大学等の地元大学及びコンベンション施設等の関係団体・機関を対象に、開催予定の会議、大会等に係るアンケート調査を実施し、誘致・支援に活用するとともに、収集した情報をホームページ等により公開しました。
- ・ 日本コンGRESS・コンベンション・ビューローが開催するビューロー部会へ参加し、国の取組みを研修するとともに、全国各地のコンベンション推進機関と誘致・支援に必要な情報交換及び現地研修を行いました。

#### ④ 被災地復興支援誘客事業

- ・ チャグチャグ馬コ、盛岡さんさ踊り開催時に、盛岡駅前に臨時観光案内所を開設し、被災地等の観光情報を提供するとともに、これまで収集した復興支援に関する情報や県内主要観光イベント等の情報について、ホームページを通じて紹介し、盛岡地域及び沿岸地域への誘客を促進することにより復興支援を行いました。

#### ⑤ 施設運営事業

- ・ 「盛岡市観光文化交流センター（プラザおでって）」、「もりおか啄木・賢治青春館」などの指定管理者として、管理運営を行うとともにさまざまな自主事業を行い、市民や観光客へ盛岡の文化の発信、観光の振興に努めました。

## (2) 決算の状況

## 収 支 計 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	303,000	314,036	△ 11,036
② 特定資産運用益	0	533	△ 533
③ 受取会費	16,550,000	16,235,000	315,000
④ 事業収益	172,439,000	165,751,260	6,687,740
⑤ 受取補助金等	60,063,000	59,377,449	685,551
⑥ 受取負担金	12,288,000	12,288,000	0
⑦ 受取寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益	1,000	51,905	△ 50,905
経常収益計	261,644,000	254,018,183	7,625,817
(2) 経常費用			
① 事業費	247,359,000	240,231,233	7,127,767
② 管理費	13,981,000	14,668,690	△ 687,690
経常費用計	261,340,000	254,899,923	6,440,077
当期経常増減額	304,000	△ 881,740	1,185,740
2. 経常外増減の部			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	74,100	△ 74,100
当期経常外増減額	0	△ 74,100	74,100
他会計振替額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	222,000	882,100	△ 660,100
当期一般正味財産増減額	82,000	△ 1,837,940	1,919,940
一般正味財産期首残高	46,849,000	51,986,836	△ 5,137,836
一般正味財産期末残高	46,931,000	50,148,896	△ 3,217,896
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	293,000	304,615	△ 11,615
一般正味財産への振替額	293,000	304,615	△ 11,615
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	295,800,000	295,800,000	0
指定正味財産期末残高	295,800,000	295,800,000	0
III 正味財産期末残高	342,731,000	345,948,896	△ 3,217,896

※盛岡観光コンベンション協会正味財産増減計算書及び収支予算書より観光交流課において調製

## 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
① 基本財産運用益	314,036	933,130	△ 619,094
有価証券・定期預金・普通預金運用益	9,421	27,994	△ 18,573
基本財産運用収入振替額	304,615	905,136	△ 600,521
② 特定資産運用益	533	293	240
償還差額積立・減価償却積立預金運用益	533	293	240
③ 受取会費	16,235,000	16,535,000	△ 300,000
賛助会費	16,235,000	16,535,000	△ 300,000
④ 事業収益	165,751,260	171,208,289	△ 5,457,029
事業収益(観光事業・コンベンション事業)	3,632,990	3,215,360	417,630
指定管理事業収益(おでっぺ・青春館・歴史文化館)	153,220,993	155,156,969	△ 1,935,976
その他収益事業収益(旅行業, グッズ販売等)	7,378,797	11,317,480	△ 3,938,683
啄木新婚の家管理運営事業収益	1,518,480	1,518,480	0
⑤ 受取補助金等	59,377,449	53,065,000	6,312,449
事業運営補助金(盛岡市)	17,738,000	17,738,000	0
人件費補助金(盛岡市)	17,371,000	17,371,000	0
盛岡MICE補助金(盛岡市)	23,500,000	16,946,000	6,554,000
コンベンション誘致支援補助金(岩手県)	768,449	1,010,000	△ 241,551
⑥ 受取負担金	12,288,000	12,230,000	58,000
事業運営負担金・駅観光案内所運営負担金(各団体・自治体)	11,923,000	11,865,000	58,000
事業負担金(啄木講座事業・接遇研修事業)	365,000	365,000	0
⑦ 受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益	51,905	48,943	2,962
受取利息	872	1,535	△ 663
雑収益	51,033	47,408	3,625
<b>経常収益計</b>	<b>254,018,183</b>	<b>254,020,655</b>	<b>△ 2,472</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
① 事業費	240,231,233	232,645,519	7,585,714
役員報酬	1,869,360	1,881,760	△ 12,400
給料手当	64,992,240	62,626,409	2,365,831
臨時雇賃金	31,666,809	29,071,676	2,595,133
福利厚生費	14,449,684	14,301,618	148,066
会議費	81,739	184,743	△ 103,004
交際費	242,882	221,078	21,804
旅費交通費	1,352,722	1,497,844	△ 145,122
通信運搬費	2,278,832	2,557,111	△ 278,279

科 目	当年度	前年度	増 減
減価償却費	188,446	80,550	107,896
消耗什器備品費	34,956	196,440	△ 161,484
消耗品費	3,000,523	2,551,572	448,951
修繕費	1,510,172	696,748	813,424
印刷製本費	4,199,670	6,804,606	△ 2,604,936
燃料費	1,724,555	1,227,515	497,040
光熱水料費	14,814,360	13,385,484	1,428,876
賃借料	2,478,058	2,613,221	△ 135,163
保険料	107,827	131,154	△ 23,327
諸謝金	2,955,189	3,205,620	△ 250,431
租税公課	6,432,700	6,743,400	△ 310,700
支払負担金	2,092,590	1,932,684	159,906
支払助成金	24,408,000	17,634,000	6,774,000
委託費	53,662,779	53,519,984	142,795
支払手数料	304,216	395,411	△ 91,195
雑費	17,275	26,386	△ 9,111
仕入高	5,391,072	8,999,147	△ 3,608,075
期首たな卸資産	737,161	896,519	△ 159,358
期末たな卸資産	△ 762,584	△ 737,161	△ 25,423
② 管理費	14,668,690	15,212,198	△ 543,508
役員報酬	1,869,360	1,881,760	△ 12,400
給料手当	7,074,249	6,809,988	264,261
福利厚生費	1,468,050	1,343,274	124,776
会議費	14,544	6,846	7,698
交際費	210,404	282,469	△ 72,065
旅費交通費	13,680	8,760	4,920
通信運搬費	142,460	131,839	10,621
減価償却費	143,626	698,166	△ 554,540
消耗什器備品費	19,040	279,320	△ 260,280
消耗品費	250,127	606,231	△ 356,104
修繕費	648	5,942	△ 5,294
印刷製本費	335,072	204,300	130,772
燃料費	6,773	5,803	970
光熱水料費	0	0	0
賃借料	752,226	263,410	488,816
保険料	13,981	18,274	△ 4,293
諸謝金	815,400	777,600	37,800
租税公課	10,200	20,200	△ 10,000
支払負担金	1,258,000	1,175,000	83,000
支払寄付金	19,000	19,000	0
委託費	173,664	559,210	△ 385,546
支払手数料	78,086	114,806	△ 36,720

科 目	当年度	前年度	増 減
雑費	100	0	100
経常費用計	254,899,923	247,857,717	7,042,206
当期経常増減額	△ 881,740	6,162,938	△ 7,044,678
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	21,579	△ 21,579
雑損失	74,100	932,120	△ 858,020
経常外費用計	74,100	953,699	△ 879,599
当期経常外増減額	△ 74,100	△ 953,699	879,599
法人税, 住民税及び事業税	882,100	72,000	810,100
当期一般正味財産増減額	△ 1,837,940	5,137,239	△ 6,975,179
一般正味財産期首残高	51,986,836	46,849,597	5,137,239
一般正味財産期末残高	50,148,896	51,986,836	△ 1,837,940
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	304,615	905,136	△ 600,521
一般正味財産への振替額	304,615	905,136	△ 600,521
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	295,800,000	295,800,000	0
指定正味財産期末残高	295,800,000	295,800,000	0
III 正味財産期末残高	345,948,896	347,786,836	△ 1,837,940

# 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	245,543	303,908	△ 58,365
普通預金	43,896,514	37,826,164	6,070,350
定期預金	1,014,454	1,014,353	101
未収会費	170,000	250,000	△ 80,000
未収金	2,671,403	2,561,704	109,699
たな卸資産	762,584	737,161	25,423
貯蔵品	2,501,488	1,028,720	1,472,768
前払金	0	14,400	△ 14,400
流動資産合計	51,261,986	43,736,410	7,525,576
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	0	0	0
定期預金	152,992,300	152,992,300	0
投資有価証券	151,907,700	151,907,700	0
基本財産合計	304,900,000	304,900,000	0
(2) 特定資産			
償還差額補填積立資産	134,940	103,800	31,140
減価償却引当資産	5,576,731	5,337,743	238,988
特定資産合計	5,711,671	5,441,543	270,128
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	400,100	322,073	78,027
建物附属設備	182,110	210,045	△ 27,935
その他の有形固定資産	146,568	79,200	67,368
リース資産	0	0	0
ソフトウェア	0	0	0
電話加入権	469,666	469,666	0
保証金	3,000,000	3,000,000	0
長期前払費用	6,600	6,600	0
その他固定資産合計	4,205,045	4,087,585	117,460
固定資産合計	314,816,716	314,429,128	387,588
資産合計	366,078,702	358,165,538	7,913,164
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	15,444,841	6,462,796	8,982,045
前受金	60,000	0	60,000
賞与引当金	3,260,065	3,265,606	△ 5,541
未払消費税等	1,364,900	650,300	714,600
流動負債合計	20,129,806	10,378,702	9,751,104
2. 固定負債			
長期未払金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	20,129,806	10,378,702	9,751,104
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	230,000,000	230,000,000	0
民間補助金	65,800,000	65,800,000	0
指定正味財産合計	295,800,000	295,800,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 295,800,000 )	( 295,800,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 9,100,000 )	( 9,100,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 5,711,671 )	( 5,441,543 )	( 270,128 )
正味財産合計	345,948,896	347,786,836	△ 1,837,940
負債及び正味財産合計額	366,078,702	358,165,538	7,913,164

**財産目録**  
平成30年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物数等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手許保管	施設利用料及び物販等レジ的り銭	245,543
普通預金	岩手銀行本店 岩手銀行盛岡市役所出張所 岩手銀行盛岡市役所出張所 岩手銀行盛岡市役所出張所 岩手銀行中ノ橋支店 北日本銀行本店 東北銀行本店 盛岡信用金庫本店 ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	11,177,527 6,245,188 18,684 3,710,305 4,411,622 6,665,551 6,882,869 2,219,036 2,565,732
定期預金	岩手銀行盛岡市役所出張所	運転資金として	1,014,454
未収会費		賛助会員5件	170,000
未収金		事業収益、指定管理料収益、受取補助金等	2,671,403
たな卸資産	プラザおでって2階・青春館(郵券類、オリジナル観光グッズ、青春館喫茶仕入材料)	販売用商品、喫茶仕入材料	762,584
貯蔵品	プラザおでって2階・4階・青春館他(郵券類、コピー用紙、印刷物等)	郵券類、コピー用紙、印刷物等の未使用品	2,501,488
<b>流動資産合計</b>			<b>51,261,986</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
普通預金	岩手銀行本店 北日本銀行本店 東北銀行本店 盛岡信用金庫本店		0 0 0 0
定期預金	岩手銀行本店  北日本銀行本店 東北銀行本店 盛岡信用金庫本店	公益目的保有財産。運用益を公益目的事業の財源として使用している 同上 同上 同上	25,097,120 86,995,180 10,000,000 30,900,000
投資有価証券	大和証券(岩手銀行)(地方債)  東北銀行(国債)	うち、公益目的保有財産 100% 公益目的保有財産。運用益を公益目的事業の財源として使用している 同上	152,992,300 99,852,000 52,055,700
特定資産	償還差額補填積立預金 減価償却引当資産	東北銀行本店 岩手銀行盛岡市役所出張所	投資有価証券にかかる償還差額補填積立資産 車両運搬具、器具備品、建物附属設備、ソフトウェア等の減価償却引当金見合を引当資産として管理している
			134,940 5,576,731
<b>その他固定資産</b>			
車両運搬具	軽自動車1台(車番1439)	公益目的事業、収益事業、管理運営の用に供している うち、公益目的保有財産 70.0%	1 1
什器備品	印刷機、シュレッダー、ネットワークハードディスク、看板	公益目的事業、収益事業、管理運営の用に供している うち、公益目的保有財産 49.0%	400,100 174,903
建物附属設備	パーティション一式、風除設備	収益事業の用に供している	182,110
一括償還資産	パソコン1台(法定調書専用)、施設ポールスタンドサイン一式	公益目的事業、管理運営の用に供している うち、公益目的保有財産 19.0%	146,568 12,800
電話加入権	電話3回線(019-606-6688、621-8800、653-4417)	公益目的事業、収益事業、管理運営の用に供している うち、公益目的保有財産 67.1%	469,666 315,146
保証金	第三種旅行業保証金	収益事業の用に供している	3,000,000
長期前払費用	リサイクル預託金(軽自動車1台・車番1439)	車両運搬具のリサイクル料金	6,600
<b>固定資産合計</b>			<b>314,816,716</b>
<b>資産合計</b>		うち、公益目的保有財産額計	<b>366,078,702</b> 305,402,850
<b>(流動負債)</b>			
未払金	事業等に対する未払額	事業・管理費に供する経費の未払額	15,444,841
前受金	30年度分賛助会費の前受金	賛助会員2件	60,000
賞与引当金	職員17名分に対する賞与引当金	H30.6月支給見込額のうち当期に帰属する金額	3,260,065
未払消費税等	消費税等に対する未払額	消費税等の未払額	1,364,900
<b>流動負債合計</b>			<b>20,129,806</b>
<b>(固定負債)</b>			
長期未払金	会計システム	リース資産に対するもの	0
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>
<b>負債合計</b>			<b>20,129,806</b>
<b>正味財産</b>			<b>345,948,896</b>

### 3 平成30年度事業計画及び収支予算の概要

#### (1) 事業計画

国内外からの観光客及びコンベンションの誘致並びに支援，観光資源の開発宣伝，観光文化施設の整備・管理を行うことにより，観光振興及び交流人口の拡大を図り，もって地域経済の活性化及び文化の向上を目指します。

平成30年度は，全国から30万人の人出予想される6月の「東北絆まつり2018盛岡」を絶好の機会として，盛岡市の知名度向上や更なる誘客に繋げるとともに，引き続き外国人観光客への対応の充実やコンベンション誘致促進，多様な自主企画事業の展開などに取り組むこととします。

なお，今後県内で予定されている花巻空港の定期国際便化への動き，三陸防災復興博（仮称）やラグビーワールドカップ2019開催，ILC誘致に向けた国際化など社会経済環境の変化に連携・対応した事業の展開を検討することとします。

- ① 教育旅行及び外国人観光客の誘致促進のため，誘致説明会や学校関係者，旅行会社を訪問するなど誘致活動を展開するとともに，受け入れ態勢の充実に努めます。
- ② 各種コンベンション招致に向け，首都圏等に所在するコンベンション等の主催団体や受入れ地元関係者等への積極的な働きかけを行い，各種支援助成制度を活用し，一層の誘致促進に努めます。
- ③ 観光客の利便性向上に向けた，関係機関・団体等と連携した観光案内機能の充実や広域連携等の推進に努めます。
- ④ 「盛岡市観光文化交流センター」，「もりおか啄木・賢治青春館」などの指定管理施設について，自主事業を積極的に展開するとともに管理費の削減を図るなど，観光・文化の振興と施設の効率的な運営に努めます。



## (2) 収支予算の概要

## 平成30年度当初予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	30年度当初予算(A)	前年度当初予算(B)	増減(A)-(B)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	284,000	303,000	△ 19,000
有価証券・定期預金・普通預金運用益	9,000	10,000	△ 1,000
基本財産運用収入振替額	275,000	293,000	△ 18,000
②特定資産運用益	0	0	0
償還差額積立・減価償却積立預金運用益	0	0	0
③受取会費	16,535,000	16,550,000	△ 15,000
賛助会費	16,535,000	16,550,000	△ 15,000
④事業収益	170,981,000	172,439,000	△ 1,458,000
事業収益(観光・コンベンション事業)	4,319,000	3,795,000	524,000
指定管理事業収益(おでつて・青春館・歴史)	154,853,000	156,172,000	△ 1,319,000
収益事業収益(旅行業・グッズ販売等)	10,291,000	10,954,000	△ 663,000
啄木新婚の家管理運営事業収益	1,518,000	1,518,000	0
⑤受取補助金等	61,805,000	60,063,000	1,742,000
事業運営補助金・人件費補助金(盛岡市)	35,615,000	35,109,000	506,000
事業補助金(岩手県・盛岡市)	26,190,000	24,954,000	1,236,000
⑥受取負担金	12,338,000	12,288,000	50,000
いわて・盛岡広域観光センター運営負担金 (各自治体・関係団体)	10,973,000	10,923,000	50,000
事業負担金(盛岡商議所・文京区・各団体)	1,365,000	1,365,000	0
⑦受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑧雑収益	0	1,000	△ 1,000
受取利息	0	1,000	△ 1,000
雑収益	0	0	0
経常収益計	261,943,000	261,644,000	299,000
(2) 経常費用			
①事業費	247,102,000	247,359,000	△ 257,000
役員報酬	1,878,000	1,878,000	0
給料手当	64,211,000	68,930,000	△ 4,719,000
臨時雇賃金	32,782,000	28,768,000	4,014,000
福利厚生費	15,672,000	15,653,000	19,000
会議費	119,000	212,000	△ 93,000
交際費	332,000	279,000	53,000
旅費交通費	1,680,000	1,646,000	34,000

科目	30年度当初予算(A)	前年度当初予算(B)	増減(A)-(B)
通信運搬費	2,973,000	2,714,000	259,000
減価償却費	135,000	89,000	46,000
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	3,076,000	2,974,000	102,000
修繕費	676,000	624,000	52,000
印刷製本費	5,502,000	6,349,000	△ 847,000
燃料費	1,681,000	1,279,000	402,000
光熱水料費	14,225,000	13,793,000	432,000
賃借料	2,485,000	2,567,000	△ 82,000
保険料	133,000	121,000	12,000
諸謝金	3,107,000	3,661,000	△ 554,000
租税公課	6,022,000	6,320,000	△ 298,000
支払負担金	2,547,000	2,452,000	95,000
支払助成金	25,718,000	24,758,000	960,000
委託費	54,188,000	53,779,000	409,000
支払手数料	623,000	428,000	195,000
雑費	65,000	44,000	21,000
仕入高	7,272,000	8,041,000	△ 769,000
②管理費	14,497,000	13,981,000	516,000
役員報酬	1,878,000	1,878,000	0
給料手当	5,735,000	6,419,000	△ 684,000
臨時雇賃金	1,019,000	0	1,019,000
福利厚生費	1,687,000	1,441,000	246,000
会議費	11,000	10,000	1,000
交際費	236,000	240,000	△ 4,000
旅費交通費	12,000	12,000	0
通信運搬費	56,000	234,000	△ 178,000
減価償却費	80,000	73,000	7,000
消耗什器備品費	110,000	10,000	100,000
消耗品費	61,000	210,000	△ 149,000
修繕費	30,000	20,000	10,000
印刷製本費	333,000	114,000	219,000
燃料費	7,000	7,000	0
賃借料	950,000	822,000	128,000
保険料	18,000	16,000	2,000
諸謝金	778,000	778,000	0
租税公課	21,000	10,000	11,000
支払負担金	1,236,000	1,345,000	△ 109,000
支払寄付金	19,000	19,000	0
委託費	65,000	197,000	△ 132,000
支払手数料	145,000	116,000	29,000

科 目	30年度当初予算(A)	前年度当初予算(B)	増減(A)-(B)
雑費	10,000	10,000	0
経常費用計	261,599,000	261,340,000	259,000
当期経常増減額	344,000	304,000	40,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
住民税、法人税及び事業税	152,000	222,000	△ 70,000
当期一般正味財産増減額	192,000	82,000	110,000
一般正味財産期首残高	51,987,000	46,849,000	5,138,000
一般正味財産期末残高	52,179,000	46,931,000	5,248,000
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	275,000	293,000	△ 18,000
一般正味財産への振替額	275,000	293,000	△ 18,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	295,800,000	295,800,000	0
指定正味財産期末残高	295,800,000	295,800,000	0
III 正味財産期末残高	347,979,000	342,731,000	5,248,000